

1974年（リウマチ・アレルギーグループ）

総 説

No. 1 11月 浅井克晏：

関節炎の治療——日常生活の指導。

現代医療 6：1321-1325, 1974

1975年（リウマチ・アレルギーグループ）

原 著

- No. 1 4月 Inamura T., Asai K. :
A basic study on the paralyzed muscle, caused by C.N.S. damage, with
implanted electrical stimulation capsule.
日本温泉気候物理医学会雑誌, 38 : 33, 1975
- No. 2 6月 桜井徹志, 長沢俊郎, 柁島悌藏, 小野沢康輔, 柏木平八郎, 野村武夫, 石橋克礼,
天竺光雄 :
Congenital afibrinogenemia の血小板フィブリノーゲンに関する研究.
臨床免疫 7 : 679-685, 1965
- No. 3 6月 橋爪美律子, 加納克己, 浅井克晏 :
定期健康診断の未受診者に関する考察.
公衆衛生 39 : 403-409, 1975

総 説

- No. 1 12月 柏木平八郎, 桜井徹志 :
RA の鑑別検査.
臨床医 1 : 1654-1657, 1975

1976年（リウマチ・アレルギーグループ）

原 著

- No. 1 1月 柏木平八郎, 桜井徹志, 河野一郎, 依田安弘, 長沢俊郎, 工藤秀機, 川田健一, 小野沢康輔, 中島隆, 阿部帥, 野村武夫:
血液疾患に合併したグラム陰性菌による肺炎と敗血症.
内科 37:144-149, 1976
- No. 2 1月 桜井徹志, 工藤秀機, 依田安弘, 長沢俊郎, 川田健一, 中島隆, 柏木平八郎, 野村武夫, 吉岡重威:
G-6-PD 欠乏症の1家系.
臨床血液 17:88-92, 1976
- No. 3 3月 浅井克晏, 黒田善雄, 木下茂徳, 佐藤親雄, 戸田安士, 山田耕司:
障害学生への受入れと教育的配慮.
第13回全国大学保健管理研究集会報告書. pp. 35-40, 1976
- No. 4 3月 浅井克晏, 滝田齊, 加納克己:
筑波研究学園都市住民の保健衛生に関する基礎調査.
筑波の環境研究 1:116-128, 1976
- No. 5 4月 加納克己, 古橋登美, 浅井克晏:
大学入学後の体重増減現象に関する考察.
保健の科学 18:229-231, 1976
- No. 6 6月 Nagasawa T., Kono I., Sakurai T., and Kashiwagi H.:
Fibrinogen/fibrin degradation products in serum of patients with idiopathic thrombocytopenic purpura: Elevated levels during severe thrombocytopenic phase of the disease.
Thrombos Haemostas 35:628-634, 1976
- No. 7 11月 浅井克晏:
リハビリテーションに対する温泉の意義
日本温泉気候物理医学会雑誌 40:26-27, 1976

総 説

- No. 1 5月 柏木平八郎:
薬物によるショック——アナフィラキシーショック.
臨床医 2:615-617, 1976
- No. 2 6月 柏木平八郎, 桜井徹志:
アレルギー疾患を合併するものに対する投薬の注意.
臨床薬理 7:237-246, 1976
- No. 3 7月 柏木平八郎:
膠原病各疾患間の鑑別診断: 腎症状.
治療 58:1347-1350, 1976
- No. 4 7月 浅井克晏:
膠原病の生活指導について.
治療 58:1429-1431, 1976

著 書

No. 1 9月 浅井克晏：

高気圧による障害

新内科学大系第59巻B pp 206-216, 中山書店, 東京, 1976

学会発表 (シンポジウム, 特別講演を含む)

No. 1 5月 浅井克晏：

リハビリテーションに対する温泉の意義

第14回日本温泉気候物理医学会総合シンポジウム (宮城), 5月, 1976

No. 2 6月 柏木平八郎, 桜井徹志, 浅川英男：

Sjögren 症候群の抗リンパ球抗体に関する研究.

第20回日本リウマチ学会総会 (東京), 6月, 1976

No. 3 6月 桜井徹志, 柏木平八郎：

SLE における尿中遊離L鎖定量の臨床的意義.

第20回日本リウマチ学会総会 (東京), 6月, 1976

No. 4 7月 柏木平八郎, 桜井徹志, 浅川英男：

Sjögren 症候群におけるリンパ球抗原に対する抗体について.

第4回日本臨床免疫学会総会 (岡山), 7月, 1976

1977年（リウマチ・アレルギーグループ）

総 説

- No. 1 10月 浅井克晏：
慢性関節リウマチのリハビリテーション。
臨床と研究 54：3165-3168, 1977

著 書

- No. 1 3月 浅井克晏：
気圧変化に基づく疾患。
現代診断・検査法大系第12部門2B pp.40-58, 中山書店, 東京, 1977
- No. 2 4月 浅井克晏：
Felty 症候群
今日の治療指針1977年版, p. 408. 医学書院, 東京, 1977

学会発表（シンポジウム, 特別講演を含む）

- No. 1 5月 山根一秀, 河野一郎, 桜井徹志, 柏木平八郎：
循環抗凝固因子を合併した SLE の1例。
第274回日本内科学会関東地方会（東京）, 5月, 1977
- No. 2 6月 桜井徹志, 山根一秀, 河野一郎, 柏木平八郎：
いわゆる MCTD に Sjögren 症候群を合併した1例。
第5回日本臨床免疫学会総会（東京）, 6月, 1977
- No. 3 10月 加納克己, 小林和夫, 浅井克晏：
大学生の食事形態と身体症状に関する調査研究。
第24回日本学校保健学会（新潟）, 10月, 1977
- No. 4 10月 浅井克晏：
血圧測定の意義と可否。
第5回全国大学保健管理研究集会（福岡）, 10月, 1977
- No. 5 11月 中村治雄, 河野一郎, 山根一秀, 桜井徹志, 柏木平八郎：
胃・十二指腸潰瘍を合併した Osler 病の1例。
第279回日本内科学会関東地方会（東京）, 11月, 1977

班研究報告

- No. 1 3月 柏木平八郎, 桜井徹志, 山根一秀, 河野一郎：
膠原病における活動性指標の検討：SLE における尿中 free light chain 定量の診断的意義。
厚生省特定疾患膠原病治療調査研究班昭和51年度業績集, 1977, pp. 18-20

その他（放送, 座談会, 講演会などで学術的なもの）

- No. 1 11月 浅井克晏：
膠原病患者の生活指導について——慢性関節リウマチを中心に——
土浦医師会学術講演会（土浦）, 11月10日, 1977

1978年（リウマチ・アレルギーグループ）

原 著

- No. 1 3月 浅井克晏：
血圧測定の意義と可否。
第15回全国大学保健管理研究集会報告書 p.102-104, 1978
- No. 2 8月 Yoda Y., Kashiwagi H., Komiya M., Adachi Y., Nomura T.:
Septicemia due to *Aeromonas Hydrophila* in patients with acute leukemia:
clinical and bacteriological features and a possible beneficial effect on
hematological remission.
Acta Haem Jap 41: 719-726, 1978

総 説

- No. 1 4月 浅井克晏：
リウマチ性心臓疾患。
保健の科学 20: 257-260, 1978

著 書

- No. 1 1月 柏木平八郎：
進行性全身性硬化症。
1978 今日の治療指針（石山俊次，日野原重明，阿部正和編）
p. 431, 医学書院，東京，1978

学会発表（シンポジウム，特別講演を含む）

- No. 1 6月 山根一秀，河野一郎，桜井徹志，柏木平八郎：
単球——リンパ球ロゼットに関する研究。
第22回日本リウマチ学会総会（東京），6月，1978
- No. 2 6月 河野一郎，山根一秀，桜井徹志，柏木平八郎：
慢性関節リウマチ活動性の血液レオロジー的研究。
第6回日本臨床免疫学会総会（東京），6月，1978
- No. 3 6月 河野一郎，大島宣雄：
慢性関節リウマチにおける血液レオロジー。
第1回日本バイオレオロジー学会（東京），6月，1978
- No. 4 7月 柏木平八郎，林茂：
病歴の教育的役割（ワークショップ）。
第10回日本医学教育学会大会（東京），7月，1978
- No. 5 9月 宮崎三弘，鈴木博之，河野一郎，山根一秀，桜井徹志，柏木平八郎，井島宏：
Livedo reticularis で発症した足趾の可逆性動脈閉塞の1例。
第286回日本内科学会関東地方会（前橋），9月，1978
- No. 6 11月 藤田敏郎，浅井克晏：
循環器健診の基準化——高血圧者の管理について——
第16回全国大学保健管理研究集会（茨城），11月，1978

No. 7 12月 中沢正樹, 河野一郎, 桃島悌蔵, 山根一秀, 桜井徹志, 柏木平八郎:

反復する敗血症と治療抵抗性の尿路感染症を合併した多発筋炎の1例.

第289回日本内科学会関東地方会(東京), 12月, 1978

班研究報告

No. 1 3月 柏木平八郎, 河野一郎, 山根一秀, 桜井徹志, 大島宣雄:

膠原病における活動性指標の検討: RAにおける血液 viscosity 測定の臨床的意義.

厚生省特定疾患膠原病治療調査研究班 昭和52年度研究業績集, 1978, pp. 34-36

No. 2 3月 柏木平八郎, 桜井徹志, 小山哲夫, 河野一郎, 山根一秀, 田村昇:

ACD 加保存血漿よりの Clq 分離の試み.

厚生省特定疾患膠原病治療調査研究班 昭和52年度研究業績集, pp. 88-89

1979年（リウマチ・アレルギーグループ）

原 著

- No. 1 5月 中村治雄, 河野一郎, 宮本二郎, 山根一秀, 桜井徹志, 福富久之, 柏木平八郎:
胃・十二指腸潰瘍を合併した Osler 病の1例.
日内会誌 68: 537-541, 1979
- No. 2 6月 河野一郎, 山根一秀, 桜井徹志, 柏木平八郎, 大島宣雄:
慢性関節リウマチにおける血液レオロジー的研究.
リウマチ 19: 196-202, 1979
- No. 3 9月 Yamane K., Kono I., Kabashima T., Sakurai T., and Kashiwagi H.:
Suppressive effect of high concentrations of human monocytes on lymphocyte
response to PHA.
Jpn J Allergol 28: 689, 1979
- No. 4 11月 稲垣克彦, 浅井克晏:
福島県吉野谷温泉の湯治客の実態.
日本温泉気候物理医学会雑誌 43: 56-58, 1979

総 説

- No. 1 11月 桜井徹志, 河野一郎, 梶島悌蔵, 山根一秀, 柏木平八郎:
血中可溶性免疫複合体.
臨床検査 23: 1237-1240, 1979
- No. 2 12月 柏木平八郎:
慢性関節リウマチの鑑別診断.
総合臨床 28: 2232-2236, 1979

学会発表（シンポジウム, 特別講演を含む）

- No. 1 5月 稲垣克彦, 浅井克晏:
福島県吉野谷温泉の湯治客の実態.
第44回日本温泉気候物理医学会総会シンポジウム(神奈川), 5月, 1979
- No. 2 5月 梶島悌蔵, 河野一郎, 山根一秀, 桜井徹志, 柏木平八郎:
抗 DNA 抗体測定法としての millipore filter radioimmunoassay の検討.
第23回日本リウマチ学会総会(東京), 5月31日~6月1日, 1979
- No. 3 5月 桜井徹志, 河野一郎, 梶島悌蔵, 山根一秀, 柏木平八郎:
Clq deviation test による免疫複合体の測定——抗 RNP 抗体価および SLE 臨床経過との相関について.
同上学会
- No. 4 6月 河野一郎, 梶島悌蔵, 山根一秀, 桜井徹志, 柏木平八郎:
膠原病, とくに PSS における血漿第 XIII 因子測定.
同上学会
- No. 5 6月 山根一秀, 河野一郎, 梶島悌蔵, 桜井徹志, 柏木平八郎:
PHA リンパ球幼若化反応に及ぼす単球の影響.
第7回日本臨床免疫学会総会(札幌), 6月, 1979

- No. 6 6月 桜井徹志, 河野一郎, 梶島悌蔵, 山根一秀, 柏木平八郎, 中山秀英:
Clq deviation test (Clq-DT) による各種膠原病の血中 Immune Complex の動態
に関する研究.
同上学会, 6月, 1979
- No. 7 6月 河野一郎, 梶島悌蔵, 山根一秀, 桜井徹志, 柏木平八郎, 大島宣雄:
Raynaud 現象の血液レオロジー的研究.
同上学会, 6月, 1979
- No. 8 6月 梶島悌蔵, 河野一郎, 山根一秀, 桜井徹志, 柏木平八郎, 三井清文:
興味ある肺の空洞病変を伴った SLE の1例.
同上学会, 6月, 1979
- No. 9 6月 中山秀英, 桜井徹志, 小出輝, 大野丞二, 田村昇:
腎疾患における血中 Immune Complex と補体系について——Clq deviation test
(Clq-DT) を用いて.
同上学会, 6月, 1979
- No. 10 8月 中山秀英, 小出輝, 大野丞二, 桜井徹志, 田村昇:
Clq deviation test による各種腎疾患における血中免疫複合体と補体系について.
補体シンポジウム, 別府, 1979
- No. 11 8月 浅井克晏:
保健管理センターと個人の秘密.
第1回茨城県学校保健学会(茨城), 8月, 1979
- No. 12 9月 山根一秀, 河野一郎, 梶島悌蔵, 桜井徹志, 柏木平八郎:
SLE におけるリンパ球幼若化反応に及ぼす単球の影響.
第29回日本アレルギー学会総会, 9月, 1979
- No. 13 10月 佐野元規, 河野一郎, 梶島悌蔵, 山根一秀, 桜井徹志, 柏木平八郎:
広範な腸管壊死を合併した SLE の1例.
第296回内科学会関東地方会(東京), 10月, 1979
- No. 14 10月 柏木平八郎:
特別講演 難病全身性エリテマトーデスとその類縁疾患.
第1回茨城医学会内科分科会(水戸), 10月, 1979
- No. 15 11月 松本和美, 浅井克晏:
Exertional hemoglobinuria の2例.
第297回日本内科学会関東地方会(東京), 11月, 1979
- No. 16 12月 長谷川潔, 富里政秀, 大草敏史, 山岡昌之, 中野冬彦, 宮崎竜之輔, 光永慶吉,
坂本保己, 柏木平八郎:
塩酸オクスプレノロールにより高熱, 白血球増加, および肝機能障害を呈した1例.
第298回内科学会関東地方会(東京), 12月, 1979

班研究報告

- No. 1 3月 柏木平八郎, 河野一郎, 梶島悌蔵, 山根一秀, 桜井徹志:
SLE における活動性指標の検討: 血中 Immune Complex と血漿 viscosity につ
いて.
厚生省特定疾患膠原病治療調査研究班, 昭和53年度研究業績集, 1979, pp. 16-18

No. 2 3月 田村昇, 山口和克, 成内秀雄, 桜井徹志:

プロピオニバクテリウム接種による肉芽腫形成とリンパ球機能の変化.

文部省特定研究「難病」班, 難病の発症機構に関する基礎的研究,

昭和53年度業績集, 1979, pp. 336-336

1980年（リウマチ・アレルギーグループ）

原 著

- No. 1 5月 緒方蓉子, 平木美奈子, 加納克巳, 浅井克晏 :
学生健診の尿蛋白の6年間について.
保健の科学 22 : 364-368, 1980
- No. 2 7月 Hasegawa K., Sakamoto Y., Mitsunaga K., and **Kashiwagi H.** :
Drug fever due to oxprenolol.
Brit Med J 281 : 27-28, 1980
- No. 3 9月 桜井徹志, 河野一郎, 梶島悌蔵, 山根一秀, 柏木平八郎 :
SLE 治療経過における血中免疫複合体測定の臨床的意義——Clq deviation test を
用いて——
リウマチ 20 : 247-252, 1980
- No. 4 11月 山根一秀, 河野一郎, 梶島悌蔵, 桜井徹志, 柏木平八郎 :
単球——リンパ球ロゼット形成に関する検討——とくに慢性関節リウマチにおける
ロゼット陽性率について.
医学のあゆみ 115 : 328-330, 1980
- No. 5 11月 桜井徹志, 河野一郎, 梶島悌蔵, 山根一秀, 柏木平八郎 :
ナプロキセンの慢性関節リウマチにおける臨床評価.
臨牀と研究 57 : 3737-3740, 1980

総 説

- No. 1 2月 柏木平八郎 :
アメリカの内科レジデント教育制度.
医学教育 11 : 47-51, 1980
- No. 2 3月 柏木平八郎 :
シェーグレン病.
総合臨床 29 : 1199-1201, 1980
- No. 3 4月 浅井克晏 :
自然気胸.
保健の科学 22 : 232-235, 1980
- No. 4 11月 柏木平八郎 :
難病全身性エリテマトーデスとその類縁疾患.
茨城県臨床医学雑誌 16 : 42, 1980

著 書

- No. 1 5月 柏木平八郎 :
全身性エリテマトーデス.
難病の指針（秦資宣編）pp. 10-14, 茨城県医師会, 水戸, 1980
- No. 2 5月 柏木平八郎 :
多発筋炎, 皮膚筋炎.
同上, pp. 24-27

- No. 3 5月 柏木平八郎：
悪性関節リウマチ。
難病の指針（秦資宣編）pp. 54-57, 茨城県医師会, 水戸, 1980
- No. 4 5月 柏木平八郎：
結節性動脈周囲炎。
同上, pp. 37-40
- No. 5 5月 柏木平八郎：
シェーグレン症候群。
同上, pp. 32-36
- No. 6 5月 柏木平八郎：
ベーチェット病。
同上, pp. 162-165
- No. 7 6月 柏木平八郎：
Sjögren 症候群。
内科・下（笹本浩・阿部正和編）pp. 1015-1016, 金原出版, 東京, 1980
- No. 8 6月 柏木平八郎：
アミロイドーシス。
同上 pp. 1016-1018
- No. 9 6月 柏木平八郎, 山根一秀：
ベーチェット病。
同上 pp. 1018-1020
- No. 10 6月 柏木平八郎, 桜井徹志：
後天性免疫性溶血性貧血。
内科・下（笹本浩, 阿部正和編）pp. 1020-1021, 金原出版, 東京, 1980
- No. 11 6月 柏木平八郎：
特発性血小板減少性紫斑病。
同上 pp. 1021-1022
- No. 12 6月 柏木平八郎：
重症筋無力症。
同上 pp. 1022-1024
- No. 13 6月 浅井克晏：
生命と医学(訳)。
ラールス(今西錦司, 河盛好蔵監修) pp. 133-269, 角川書店, 東京, 1980
- 学会発表（シンポジウム, 特別講演を含む）
- No. 1 5月 柏木平八郎, 河野一郎, 花島悌蔵, 山根一秀, 桜井徹志：
母親および3名の同胞にみられた仮性痛風。
第24回日本リウマチ学会総会（鹿児島）, 5月, 1980
- No. 2 5月 桜井徹志, 河野一郎, 花島悌蔵, 山根一秀, 柏木平八郎：
血中免疫複合体と各種自己抗体との関連性について。
同上学会, 5月, 1980

- No. 3 5月 山根一秀, 河野一郎, 梶島悌蔵, 桜井徹志, 柏木平八郎:
慢性関節リウマチにおける活性化単球に関する研究.
同上学会, 5月, 1980
- No. 4 6月 河野一郎, 梶島悌蔵, 山根一秀, 桜井徹志, 柏木平八郎, 大島宣雄:
Raynaud 現象の血液レオロジー的研究第2報.
第8回日本臨床免疫学会総会(東京), 6月, 1980
- No. 5 6月 須磨崎亮, 柴崎正修, 柏木平八郎:
低 Ig A 血症を伴った小腸リンパ節過形成症の1同胞例.
第17回日本小児科学会茨城地方会(桜村), 6月, 1980
- No. 6 11月 浅井克晏, 野田汎史, 緒方蓉子:
循環器系集団検診における効率のよい問診(予診)検査項目.
第18回全国大学保健管理研究集会(大阪), 11月, 1980

班研究報告

- No. 1 3月 柏木平八郎, 山根一秀, 河野一郎, 梶島悌蔵, 桜井徹志:
慢性関節リウマチの金療法に伴う単球機能の変化.
厚生省特定疾患膠原病治療調査研究班 昭和54年度業績集, 1980, pp. 101-103
- No. 2 3月 柏木平八郎, 河野一郎, 梶島悌蔵, 山根一秀, 桜井徹志:
強皮症に合併した心伝導障害の治療経験.
同上業績集, 1980, pp. 158-159
- No. 3 3月 柏木平八郎, 梶島悌蔵, 河野一郎, 山根一秀, 桜井徹志:
強皮症の疑い例についての検討.
同上業績集, 1980, pp. 160-162

その他(放送, 座談会, 講演会などで学術的なもの)

- No. 1 11月 柏木平八郎:
アメリカにおける内科レジデントカリキュラム.
ドクターサロン, 24:1270-1271, 1970

1981年（リウマチ・アレルギーグループ）

原 著

- No. 1 1月 河野恵子, 能勢晴美, 本村幸子, 河野一郎, 梶島悌蔵:
乾燥角結膜炎の予後と血清学的所見に関する臨床的研究.
眼科臨床医報 75: 44-49, 1981
- No. 2 3月 梶島悌蔵:
Granulocyte specific antinuclear factor の研究.
リウマチ 21: 22-29, 1981
- No. 3 4月 Kono I., Kabashima T., Yamane K., Sakurai T., Kashiwagi H., Fukao K., Okamura T.:
Extensive intestinal infarction complicating systemic lupus erythematosus.
Jap J Med 20: 119-121, 1981
- No. 4 4月 松本和美, 浅井克晏, 江原洋, 田谷利光:
Exertional haemoglobinuria の2例と剣道選手29名の検討.
内科 47: 690-692, 1981
- No. 5 11月 Yamane K., Kono I., Kabashima T., Sakuurai T., Kashiwagi H.:
Enhanced glucose consumption by activated monocytes in rheumatoid arthritis.
Ryumachi 21(Suppl): 75-80, 1981
- No. 6 11月 鬼塚正孝, 更科広実, 小野陸, 轟健, 高瀬靖広, 名越和夫, 岡村隆夫, 岩崎洋治, 河野一郎, 桜井徹志:
腸穿孔と腸狭窄を合併した SLE の1例.
日消外会誌 14: 1639-1644, 1981
- No. 7 12月 梶島悌蔵, 河野一郎, 山根一秀, 桜井徹志, 柏木平八郎:
全身性エリテマトーデスに合併した空洞形成性肺病変—Nocardia asteroides と Bacillus cereus の重複感染例および trimethoprim-sulfamethoxazole が著効を奏した症例.
日本臨床免疫学会会誌 4: 345-352, 1981

総 説

- No. 1 6月 柏木平八郎:
Wegener 肉芽腫.
綜合臨牀 30: 1783-1786, 1981
- No. 2 7月 浅井克晏:
慢性関節リウマチの臨床.
東洋医学 2: 17-21, 1981
- No. 3 11月 浅井克晏:
フランスの温泉について.
日本温泉気候物理医学会雑誌 45: 25-26, 1981

著 書

- No. 1 2月 浅井克晏：
(1982) 物理的原因による疾患一気圧の変化。
内科学書全訂新版（中尾喜久他監著），第3巻，
中山書店，東京，1982，pp 1039-1042

- No. 2 5月 柏木平八郎：
口腔内乾燥（含口渇）。
主要徴候からみた検査の進め方（松田重三編），
新興医学出版，東京，1981，pp 199-202

学会発表（シンポジウム，特別講演を含む）

- No. 1 3月 佐久間満里子，青木泰子，鈴木正之，河野一郎，梶島悌蔵，山根一秀，桜井徹志，
柏木平八郎：
Mixed connective tissue disease の2例。
第105回茨城県内科集談会（水戸）
- No. 2 5月 上遠野栄一，河野一郎，梶島悌蔵，山根一秀，桜井徹志，柏木平八郎：
広範性皮下軟部組織石灰沈着症を合併した全身性エリテマトーデスの1症例。
第310回内科学会関東地方会（千葉）
- No. 3 5月 山根一秀，下里隆一，河野一郎，梶島悌蔵，桜井徹志，柏木平八郎：
慢性関節リウマチにおける単球の subsets に関する研究。
第25回日本リウマチ学会総会（神戸）
- No. 4 5月 梶島悌蔵，河野一郎，山根一秀，桜井徹志，柏木平八郎：
MJ 抗体（非ヒストン核蛋白抗体）に関する研究。
同上学会
- No. 5 5月 河野一郎，梶島悌蔵，山根一秀，桜井徹志，柏木平八郎：
Cryoprecipitate 中の fibronectin の検討。
同上学会
- No. 6 5月 桜井徹志，河野一郎，梶島悌蔵，山根一秀，柏木平八郎，藤田禎三：
免疫複合体可溶化作用に関する研究：SLE および RA を中心として。
同上学会
- No. 7 5月 柏木平八郎，河野一郎，梶島悌蔵，山根一秀，桜井徹志：
慢性関節リウマチにおける photon absorption method による骨塩含量の検討。
同上学会
- No. 8 6月 河野一郎，梶島悌蔵，山根一秀，桜井徹志，柏木平八郎：
膠原病患者の血中 fibronectin の検討。
第9回日本臨床免疫学会総会（東京）
- No. 9 6月 永瀬宗重，河野一郎，梶島悌蔵，山根一秀，桜井徹志，柏木平八郎：
Raynaud 現象出現時に心肺症状を呈する患者における内臓血流の検討。
同上学会
- No. 10 6月 梶島悌蔵，河野一郎，山根一秀，桜井徹志，柏木平八郎：
免疫電気向流法による自己抗体の検出とその有用性の検討。
同上学会

- No. 11 6月 福田潔, 河野一郎, 梶島悌蔵, 山根一秀, 桜井徹志, 柏木平八郎・
汎血球減少と巨大肝腫を呈した全身性エリテマトーデスの1例.
同上学会
- No. 12 6月 浅井克晏:
世界の温泉と療養地事情—フランスの温泉について.
第46回日本温泉気候物理医学会総会, 教育講演 (岩手), 6月, 1981
- No. 13 7月 奥田諭吉, 河野一郎, 梶島悌蔵, 山根一秀, 桜井徹志, 柏木平八郎:
多発性巨大皮下結節を合併した痛風の1例.
第312回内科学会関東地方会 (東京)
- No. 14 7月 柏木平八郎:
内科卒後教育—筑波大における内科ジュニアレジデントの場合 (パネルディスカッション: 卒後2年間の内科系臨床研修, 追加発言).
第13回日本医学教育学会大会 (筑波大)
- No. 15 9月 桜井徹志, 河野一郎, 梶島悌蔵, 山根一秀, 柏木平八郎, 藤田禎三:
SLE 患者血清の免疫複合体可溶化作用に関する研究.
第18回補体シンポジウム (大津市)
- No. 16 9月 松木康彦, 高野信孝, 河野一郎, 梶島悌蔵, 山根一秀, 桜井徹志, 柏木平八郎:
Staph. aureus による敗血症の治癒と共に血中 fibronectin 値が正常化した SLE—
多発性筋炎重複症候群の1例.
第313回内科学会関東地方会 (東京)
- No. 17 11月 二宮治彦, 謝花充, 河野一郎, 梶島悌蔵, 山根一秀, 桜井徹志, 柏木平八郎:
免疫異常が著しく, ステロイドが著効を奏した好酸球性筋膜炎 (Shulman 症候群)
の1例.
第315回内科学会関東地方会 (東京)

班研究報告

- No. 1 3月 柏木平八郎, 梶島悌蔵, 河野一郎, 山根一秀, 桜井徹志:
全身性エリテマトーデスに合併した空洞形成性肺病変の2治験例.
厚生省特定疾患, 膠原病治療調査研究班,
昭和55年度研究業績集, 1981, pp 32-35
- No. 2 3月 柏木平八郎, 河野一郎, 梶島悌蔵, 山根一秀, 桜井徹志:
慢性関節リウマチにおける骨粗しょう症の検討.
同上業績集, pp 165-168
- No. 3 3月 浅井克晏, 野田汎史, 緒方蓉子:
循環器系集団検診における効率のよい問診 (予診) 検査項目.
第18回全国大学保健管理研究集会報告書, 1981, pp 80-85

その他 (放送, 座談会, 講演会などで学術的なもの)

- No. 1 3月 柏木平八郎:
全身性エリテマトーデスのパルス療法.
日本短波放送 (3月23日)

No. 2 4月 柏木平八郎：
膠原病の臨床。

土浦医師会主催第 157 回学術講演会

追 補

原 著

1978年 8月 Sakurai J., Kashiwagi H., Yoshioka S., Nomura T. :
A new glucose-6-phosphate dehydrogenase variant—clinical and biochemical
study—

Acta Haematol Jap. 688-698, 1978

1982年（リウマチ・アレルギーグループ）

原 著

- No. 1 2月 梶島悌蔵, 河野一郎, 山根一秀, 桜井徹志, 柏木平八郎 :
抗MJ抗体—臨床的意義と対応抗原の物理化学的検討—.
臨床免疫 14 : 133-140, 1982
- No. 2 4月 Sakurai T., Fujita T., Kono I., Kabashima T., Yamane K., Tamura N., Kashiwagi H. :
Complement-mediated solubilization of immune complexes in systemic lupus erythematosus.
Clin Exp Immunol 48 : 37-42, 1982
- No. 3 4月 河野一郎, 梶島悌蔵, 山根一秀, 桜井徹志, 柏木平八郎, 大島宣雄 :
温度低下に伴う血漿粘性の変化とレイノー現象.
リウマチ 22 : 125-128, 1982
- No. 4 4月 野田汎史, 緒方蓉子, 浅井克晏 :
大学における循環器集団検診について—筑波方式—.
保健の科学 24 : 278-284, 1982
- No. 5 8月 竹島徹, 桜井徹志, 畠山六郎, 秋貞雅祥 :
PSSの食道病変—食道内圧と食道シンチグラムによる検討.
日平滑筋誌 18 : 146-148, 1982
- No. 6 8月 渡辺毅, 山添悦子, 加納克己, 浅井克晏 :
—総合大学における学生の喫煙行動に関する調査研究.
公衆衛生 46 : 572-575, 1982
- No. 7 10月 塩川優一, 本間光夫, 景山孝正, 青木虎吉, 高橋昭三, 腰野富久, 鈴木輝彦, 柏木平八郎, 権田信之, 星野孝, 飯塚晴夫, 内田詔爾, 津布久雅男, 吉村隆, 小島碩夫, 井上幸雄, 勝正孝, 浅葉義一, 松葉健, 工藤尚, 吉松俊一, 菅原幸子, 和田伊津子 :
慢性関節リウマチに対する Amfenac sodium (AHR-5850) の長期投与試験成績.
基礎と臨床 16 : 6538-6548, 1982
- No. 8 12月 Nakao Y., Mukai R., Kabashima T., Ohshima Y., Hamaguchi H., Kashiwagi H., Okada N. :
A novel antibody which precipitates 7.5 S RNA is isolated from a patient with autoimmune disease.
Biochem Biophys Res Comm 109 : 1332-1338, 1982

総 説

- No. 1 3月 柏木平八郎 :
Leukocytoclastic Vasculitis.
診断と治療 70 : 721-723, 1982
- No. 2 4月 浅井克晏 :
高熱.
総合臨床 31 : 1140-1143, 1982

- No. 3 5月 柏木平八郎：
顆粒球輸血。
最新医学 37：914-917, 1982
- No. 4 7月 柏木平八郎, 梶島悌蔵, 河野一郎, 山根一秀, 桜井徹志：
Overlap 症候群と MCTD。
現代医療 14：1311-1315, 1982
- No. 5 9月 柏木平八郎：
強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎。
医薬ジャーナル 18：1589-1592, 1982
- No. 6 11月 河野一郎, 桜井徹志, 梶島悌蔵, 山根一秀, 柏木平八郎：
フィブロンネクチンと補体。
免疫と疾患 4：605-608, 1982
- No. 7 12月 柏木平八郎：
全身性エリテマト-デスの中樞神経障害—その臨床像, 診断および治療—。
診断と治療 70：2416-2420, 1982
- No. 8 12月 柏木平八郎：
自己免疫性疾患の臨床。
茨城県医師会報 No. 349：1-11, 1982

著 書

- No. 1 2月 浅井克晏：
物理的原因による疾患—気圧の変化。
内科学書全改訂新版第3巻（中尾喜久, 他監著）,
中山書店, 東京, 1982, pp. 1039-1042
- No. 2 7月 柏木平八郎：
基本的臨床免疫学。
アレルギー性疾患・膠原病と看護, 成人看護学各論3（柏木平八郎,
高橋美智編）。金原出版, 東京, 1982, pp. 371-376
- No. 3 7月 柏木平八郎：
主要症状とその病態生理。
同上, pp. 377-383
- No. 4 7月 柏木平八郎：
患者のみかた。
同上, pp. 385-386
- No. 5 7月 柏木平八郎：
主な検査。
同上, pp. 387-391
- No. 6 7月 柏木平八郎：
主な治療。
同上, pp. 393-395
- No. 7 7月 柏木平八郎：
主な疾患の理解。
同上, pp. 397-406

No. 8 8月 柏木平八郎:

肺アレルギー; 皮膚アレルギー; 食品アレルギー; 薬物アレルギー; 自己免疫疾患; 免疫反応; 自己免疫疾患の臨床, 国試ガイドラインによる内科のまとめ.

アレルギー性疾患, 膠原病・自己免疫疾患, 感染症
(藤森一平, 安倍達, 柏木平八郎編), 南山堂, 東京,
1982, pp. 8-15; pp. 19-37; pp. 50-69

学会発表 (シンポジウム, 特別講演を含む)

No. 1 3月 内藤寛, 山根一秀, 河野一郎, 梶島悌蔵, 桜井徹志, 柏木平八郎:

Pulse 療法が著効を奏した強直性脊椎炎の1例.

第318回内科学会関東地方会 (東京), 3月, 1982

No. 2 2月 柏木平八郎, 河野一郎, 梶島悌蔵, 山根一秀, 桜井徹志:

全身性エリテマトーデスにおける免疫複合体の可溶化現象の臨床的意義.

第79回日本内科学会講演会 (東京), 4月, 1982

No. 3 5月 河野一郎, 梶島悌蔵, 山根一秀, 桜井徹志, 柏木平八郎:

Fibronectin と Clq との結合性.

第26回日本リウマチ学会総会 (岡山), 5月, 1982

No. 4 5月 梶島悌蔵, 河野一郎, 山根一秀, 桜井徹志, 柏木平八郎:

単球の免疫複合体処理能.

第26回日本リウマチ学会総会 (岡山), 5月, 1982

No. 5 6月 久賀圭祐, 梶島悌蔵, 河野一郎, 山根一秀, 桜井徹志, 柏木平八郎:

Sulfamethoxazole-Trimethoprim 合剤が奏効した SLE の空洞性肺病変.

第320回内科学会関東地方会 (東京), 6月, 1982

No. 6 6月 桜井徹志, 長沢俊郎, 河野一郎, 梶島悌蔵, 山根一秀, 柏木平八郎:

Amegakaryocytic thrombocytopenia を呈し, プレドニゾン大量療法で回復した SLE の1例.

第10回日本臨床免疫学会総会 (大阪), 6月, 1982

No. 7 6月 梶島悌蔵, 大越教夫, 河野一郎, 山根一秀, 桜井徹志, 柏木平八郎:

精神症状および同名半盲を呈した SLE の1例.

第10回日本臨床免疫学会総会 (大阪), 6月, 1982

No. 8 9月 富沢巧治, 山口高史, 河野一郎, 梶島悌蔵, 山根一秀, 桜井徹志, 柏木平八郎:

Celiacomesenteric trunk および inferior mesenteric artery の血栓症を合併し, 血行再建により救命し得た SLE の1例.

第322回内科学会関東地方会 (東京), 9月, 1982

No. 9 11月 野田汎史, 浅井克晏:

若年性境界域高血圧症に対する食塩負荷試験について.

第20回全国大学保健管理研究集会 (東京), 11月, 1982

No. 10 11月 浅井克晏:

大学保健管理センターとマイコン.

第20回全国大学保健管理研究集会 (東京), 11月, 1982

No. 11 11月 河野一郎:

スポーツ教育と医科学 (シンポジウム).

第2回日本スポーツ教育学会大会 (筑波), 11月, 1982

班研究報告

No. 1 3月 柏木平八郎, 桜井徹志:

全身性エリテマトーデスの新しい活動性指標: 血清の免疫複合体溶解能と臨床的活動性の相関.

厚生省特定疾患膠原病治療研究班.

昭和56年度研究業績, 1982, pp. 23-25

No. 2 3月 本間光夫, 恒松徳五郎, 水島裕, 古屋暁一, 柏崎禎夫, 柏木平八郎, 市川陽一, 中山昇二, 藤森一平, 佐久田健四郎, 宮脇昌二, 西海正彦, 藤井俊宥, 伊藤拓, 大島久二:
ループス腎炎に対するパルス療法の対照試験.

厚生省特定疾患膠原病治療調査研究班,

昭和56年度研究業績, 1982, pp. 277-283

No. 3 3月 本間光夫, 恒松徳五郎, 水島裕, 古屋暁一, 柏崎禎夫, 宮田亮, 柏木平八郎, 阿部重人, 谷本潔昭, 市川陽一, 長沢俊彦, 中山昇二, 吉沢久嘉, 鳥飼勝隆, 佐久田健四郎, 宮脇昌二, 山口雅也, 杉之下俊彦, 渡辺睦道, 砂原勝己, 鈴木康夫:

SLEにみられる無菌性骨壊死の成因 (SLE-ステロイド剤副作用調査報告書),

厚生省特定疾患, 膠原病治療調査研究班,

昭和56年度業績, 1982, pp. 292-300

No. 4 3月 本間光夫, 恒松徳五郎, 水島裕, 古屋暁一, 柏崎禎夫, 宮田亮, 柏木平八郎, 阿部重人, 谷本潔昭, 市川陽一, 長沢俊彦, 中山昇二, 藤森一平, 西山茂夫, 吉沢久嘉, 鳥飼勝隆, 佐久田健四郎, 橋本武則, 宮脇昌二, 山口雅也, 安達正則, 西海正彦, 杉之下俊彦, 永山洋一, 川合眞一:

SLEの臨床経過と治療.

厚生省特定疾患, 膠原病治療調査研究班,

昭和56年度業績, 1982, pp. 301-313

1983年（リウマチ・アレルギーグループ）

原 著

- No.1 4月 Yamane K., Ninomiya H., Shabana M., Kono I., Kabashima T., Sakurai T., Kashiwagi H. :
Eosinophilic fasciitis with prominent immunologic abnormalities.
Jap J Med 22 : 134-136, 1983
- No.2 5月 Kono I., Sakurai T., Kabashima T., Yamane K., Kashiwagi H. :
Fibronectin binds to Clq : Possible mechanisms for their co-precipitation in cryoglobulins from patients with systemic lupus erythematosus.
Clin Exp Immunol 52 : 305-310, 1983
- No.3 5月 王質彬, 長沢俊郎, 桜井徹志, 小宮正文 :
Lupus erythematosus (LE) 細胞封入体の deoxyribonucleic acid (DNA) 量の測定研究.
日内会誌 72-547-552, 1983
- No.4 5月 内藤寛, 山根一秀, 河野一郎, 花島悌蔵, 桜井徹志, 柏木平八郎 :
Methylprednisolone による pulse 療法が著効を奏した強直性脊椎炎の1例.
臨床免疫 15 : 409-412, 1983
- No.5 7月 下里隆一, 山根一秀, 柏木平八郎 :
単球機能に関する研究—リンパ球芽球化反応に対するヒト単球の抑制—.
アレルギー 32 : 399-412, 1983
- No.6 7月 山根一秀, 下里隆一, 河野一郎, 花島悌蔵, 桜井徹志, 柏木平八郎 :
ヒト抑制性単球の密度差による分画.
医学のあゆみ 126 : 163-164, 1983
- No.7 8月 永瀬宗重, 小林正貴, 平井信二, 大場正二, 東條静夫, 山口高史, 柏木平八郎 :
PSS-SLE-RA の overlap 症候群.
腎と透析 15 : 285-291, 1983
- No.8 10月 上遠野栄一, 花島悌蔵, 河野一郎, 山根一秀, 桜井徹志, 柏木平八郎 :
全身性エリテマトーデスに汎発性皮下軟部組織石灰沈着症を合併した1症例.
日内会誌 72 : 1063-1067, 1983

総 説

- No.1 7月 柏木平八郎 :
合併症の分類—その分類と診断.
現代医療 15 : 1353-1356, 1983
- No.2 9月 柏木平八郎, 花島悌蔵, 河野一郎, 山根一秀, 桜井徹志 :
免疫複合体とマクロファージ.
Immunohaematology—免疫と血液 5 : 300-305, 1983
- No.3 10月 柏木平八郎 :
全身性エリテマトーデスのパルス療法.
カレントセラピー 1 : 84-87, 1983

著 書

- No.1 3月 柏木平八郎：
全身性エリテマトーデス。
1983今日の治療指針（石山俊次，日野原重明，阿部正和編）
pp. 530-531，医学書院，東京，1983
- No.2 4月 日野原重明，阿部正和，植村研一，柏木平八郎：
卒前教育における臨床医学。
日野原重明座談集，医療と医学教育の新しい展開
（日野原重明編），pp. 299-342，医学書院，東京，1983
- No.3 9月 柏木平八郎：
ウェゲナー肉芽腫症。
難病の指針1983（難病の指針編集委員会編），
pp. 41-43，茨城県医師会，水戸，1983
- No.4 12月 柏木平八郎：
自己免疫疾患の臨床。
日本医師会医学講座，昭和57年度（日本医師会編），
pp. 18-23，金原出版，東京，1983
- 学会発表（シンポジウム，特別講演を含む）
- No.1 4月 野田汎史，浅井克晏：
大学における循環器健診と健康管理。
日本体力医学会創立34周年記念シンポジウム（大阪），4月，1983
- No.2 4月 柏木平八郎，花島悌蔵，河野一郎，山根一秀，桜井徹志：
単球による可溶性免疫複合体処理能。
第80回日本内科学会講演会（大阪），4月，1983
- No.3 5月 奥田諭吉，桜井徹志，河野一郎，花島悌蔵，山根一秀，柏木平八郎：
巨細胞動脈炎に甲状腺機能亢進症と糖尿病を合併した1例。
第328回日本内科学会関東地方会（東京），5月，1983
- No.4 6月 山根一秀，河野一郎，花島悌蔵，桜井徹志，柏木平八郎：
デオキシグアノシンによる単球抑制作用の調節。
第27回日本リウマチ学会総会（京都），6月，1983
- No.5 6月 西角文夫，桜井徹志，河野一郎，花島徹志，山根一秀，柏木平八郎：
膠原病における cryoprecipitates：温度条件および性状の検討。
第27回日本リウマチ学会総会（京都），6月，1983
- No.6 6月 桜井徹志，河野一郎，花島悌蔵，山根一秀，柏木平八郎，竹島徹，秋貞雅祥：
強皮症の食道病変の診断—食道シンチグラムを用いて—。
第27回日本リウマチ学会総会（京都），6月，1983
- No.7 6月 河野一郎，花島悌蔵，山根一秀，桜井徹志，柏木平八郎：
フィブネクチンの Clq を介する免疫複合体への結合。
第27回日本リウマチ学会総会（京都），6月，1983

- No.8 6月 広田耕子, 桜井徹志, 河野一郎, 栴島悌蔵, 山根一秀, 柏木平八郎:
SLE に尿崩症を伴った1例.
第11回日本臨床免疫学会総会 (京都), 6月, 1983
- No.9 6月 河野一郎, 栴島悌蔵, 渡辺宏, 大塚盛男, 山根一秀, 桜井徹志, 柏木平八郎:
単球・マクロファージによるフィブロネクチンの産生.
第11回日本臨床免疫学会総会 (京都), 6月, 1983
- No.10 10月 野田汎史, 浅井克晏:
若年境界域高血圧患者管理における心エコー図法の意義.
第21回全国大学保健管理研究集会 (金沢), 10月, 1983
- No.11 11月 野田汎史, 浅井克晏:
大学生の境界域高血圧症の管理について.
第30回日本学校保健学会 (筑波), 11月, 1983
- No.12 12月 松村高幸, 栴島悌蔵, 河野一郎, 山根一秀, 桜井徹志, 山口巖, 柏木平八郎:
D-ペニシラミン投与後, 汎血球減少, 筋炎, 完全房室ブロックなど多彩な症状を呈した強皮症の1例.
第334回日本内科学会関東地方会 (武蔵野), 12月, 1983

班研究報告

- No.1 3月 柏木平八郎, 栴島悌蔵, 河野一郎, 山根一秀, 桜井徹志:
単球による可溶性免疫複合体処理能.
厚生省特定疾患自己免疫疾患調査研究班,
昭和57年度業績, pp. 122-124, 1983
- No.2 2月 野田汎史, 浅井克晏:
若年性境界域高血圧症に対する食塩負荷試験について.
第20回全国大学保健管理研究集会報告書, pp. 150-151, 1983
- No.3 3月 浅井克晏:
大学保健管理センターとマイコン.
第20回全国大学保健管理研究集会報告書, pp. 154-155, 1983

1984年 (リウマチ・アレルギーグループ)

原 著

- No. 1 1月 奥田諭吉, 桜井徹志, 河野一郎, 梶島悌蔵, 山根一秀, 柏木平八郎:
多発性巨大皮下結節を合併した痛風.
内科 53:177-179, 1984
- No. 2 2月 野田汎史, 浅井克晏:
「若年性境界域高血圧症に対する食塩負荷試験について」
保健の科学 26:133-135, 1984
- No. 3 3月 Okada N., Mukai R., Harada F., Kabashima T., Nakao Y., Yamane K., Ohshima Y., Sakamoto K., Itoh M., Kashiwagi, H., Hamaguchi H.:
Isolation of a novel antibody, which precipitates ribonucleoprotein complex containing threonine tRNA from a patient with polymyositis.
Eur J Biochem 139:425-429, 1984
- No. 4 5月 Sakurai T., Kono I., Kabashima T., Yamane K., Kashiwagi H.:
Amegakaryocytic thrombocytopenia associated with systemic lupus erythematosus successfully treated by a high-dose prednisolone therapy.
Jap J Med 23:135-136, 1984
- No. 5 6月 Sakurai T., Fukuda K., Kono I., Kabashima T., Yamane K., Kashiwagi H.:
Rapidly progressive pancytopenia, hepatomegaly and abnormal lung uptake of colloid in systemic lupus erythematosus: Possible saturation of reticuloendothelial system with blood elements.
Henry Ford Hosp Med J 32:142-145, 1984
- No. 6 7月 柏木平八郎:
診断へのアプローチ—臨床検査を中心として XVII. Raynaud 現象を主訴として来院した23歳, 看護婦.
内科 54:162-166, 1984
- No. 7 7月 桜井徹志, 河野一郎, 梶島悌蔵, 山根一秀, 柏木平八郎:
慢性関節リウマチに対するナプロキセン高用量療法に関する研究.
臨床と研究 61:2361-2363, 1984
- No. 8 8月 村山耕子, 桜井徹志, 河野一郎, 梶島悌蔵, 山根一秀, 柏木平八郎:
尿崩症を合併した全身性エリテマトーデスの一例—その成因についての考察—.
日臨免誌 7:224-227, 1984
- No. 9 11月 奥田諭吉, 桜井徹志, 河野一郎, 梶島悌蔵, 山根一秀, 柏木平八郎:
左鎖骨下動脈狭窄を伴った巨細胞動脈炎の一例, 大動脈炎症候群との鑑別を中心に.
日内会誌 73:1686-1690, 1984
- No. 10 11月 野田汎史, 浅井克晏:
アメリカンフットボール選手の循環器管理の意義に関する研究.
臨床スポーツ医学 1:671-675, 1984

- No. 11 12月 河野一郎, 梶島悌蔵, 渡辺宏, 山根一秀, 桜井徹志, 柏木平八郎:
結合組織疾患患者単球のフィブロネクチン産生能.
医学のあゆみ 131: 605-606, 1984

総 説

- No. 1 3月 柏木平八郎, 梶島悌蔵, 河野一郎, 山根一秀, 桜井徹志:
SLE の診断の免疫学的意義.
臨床免疫 16: 169-177, 1984
- No. 2 4月 柏木平八郎:
MCTD (mixed connective tissue disease, 混合性結合組織病).
内科 53: 736, 1984
- No. 3 7月 柏木平八郎:
問診・診察のすすめ方. 膠原病・リウマチ性疾患.
医事新報ジュニア版 234: 12-13, 1984
- No. 4 10月 河野一郎:
フィブロネクチンの現況と展望—臨床の立場から.
最新医学 39: 1987, 1984
- No. 5 10月 河野一郎, 梶島悌蔵, 山根一秀, 桜井徹志, 柏木平八郎:
フィブロネクチンの網内系機構における役割.
最新医学 39: 2038-2041, 1984
- No. 6 10月 河野一郎, 梶島悌蔵, 山根一秀, 桜井徹志, 柏木平八郎:
膠原病とフィブロネクチン.
最新医学 39: 2080-2083, 1984
- No. 7 10月 浅井克晏:
リウマチ疾患のための Uniform Database.
総合臨床 33: 2277-2278, 1984
- No. 8 10月 浅井克晏:
金療法.
皮膚科の臨床 26: 665-670, 1984

著 書

- No. 1 3月 柏木平八郎:
多発筋炎 (皮膚筋炎), 1984 今日の治療指針
(石山俊次, 日野原重明, 阿部正和編), p 508, 医学書院, 東京, 1984
- No. 2 7月 柏木平八郎:
血管性紫斑病: 1. Schönlein-Henoch 紫斑病, 2. 遺伝性出血性末梢血管拡張症,
3. 単純性紫斑病, 4. 老人性紫斑病.
今日の内科学 (宮本昭正, 水島裕編集代表),
pp.1368-1370, 医歯薬出版, 東京, 1984

No. 3 7月 柏木平八郎：

膠原病・アレルギー・免疫疾患総論：一免疫療法。

今日の内科学（宮本昭正，水島裕編集代表），
pp. 1754-1755，医歯薬出版，東京，1984

学会発表（シンポジウム，特別講演を含む）

No. 1 4月 柏木平八郎，河野一郎，桜井徹志，梶島悌蔵，山根一秀：

SLE における fibronectin と免疫複合体の関係について。

第81回日本内科学会講演会（福岡），4月，1984

No. 2 5月 西角文夫，桜井徹志，河野一郎，梶島悌蔵，山根一秀，柏木平八郎：

食細胞の免疫複合体結合能に関する研究。—Phytoerythrin と単クローン抗体を用いて。

第28回日本リウマチ学会総会（東京），5月，1984

No. 3 5月 山根一秀，河野一郎，梶島悌蔵，桜井徹志，柏木平八郎：

単球抑制作用の調節因子に関する研究。

第28回日本リウマチ学会総会（東京），5月，1984

No. 4 5月 桜井徹志，関口達彦，河野一郎，梶島悌蔵，山根一秀，柏木平八郎：

PSS の肺高血圧症に関する研究—ドップラー装置および超音波断層装置を用いて。

第28回日本リウマチ学会総会（東京），5月，1984

No. 5 5月 河野一郎，松本雄二郎，河野恵子，石橋康久，成島勝彦，梶島悌蔵，山根一秀，桜井徹志，柏木平八郎：

シェーグレン症候群の乾燥性角結膜炎に対するフィブロンネクチンの点眼効果。

第28回日本リウマチ学会総会（東京），5月，1984

No. 6 6月 久賀圭祐，河野一郎，梶島悌蔵，桜井徹志，山根一秀，柏木平八郎：

レイノー現象における手指皮膚温動態の検討：冷水負荷前後における観察。

第12回日本臨床免疫学会総会（東京），6月，1984

No. 7 6月 桜井徹志，長沢俊郎，河野一郎，梶島悌蔵，山根一秀，柏木平八郎：

LE 細胞中の LE 体の DNA 量に関する研究。

第12回日本臨床免疫学会総会（東京），6月，1984

No. 8 6月 河野一郎，梶島悌蔵，渡辺宏，大盛塚男，成島勝彦，山根一秀，桜井徹志，柏木平八郎：

強皮症患者における単球・マクロファージのフィブロンネクチン産生能。

第12回日本臨床免疫学会総会（東京），6月，1984

No. 9 9月 Kono I., Kabashima T., Watanabe H., Otsuka M., Yamane K., Sakurai T., Kashiwagi H., Tsunoda R., Kojima M.:

（シンポジウム） Production of fibronectin by monocytes and alveolar macrophages in patients with progressive systemic sclerosis. In symposium "The role of mononuclear phagocytes in disease."

10th International RES Congress (Ito), 9月，1984

No.10 9月 飯島茂子, 中村日出子, 河野一郎, 梶島悌蔵, 山根一秀, 桜井徹志, 柏木平八郎, 福田
広志:

Ludwig's angina (口底蜂窩織炎)を合併した SLE の1例.

第340回日本内科学会関東地方会 (千葉), 9月, 1984

No.11 10月 Sakurai T., Nagasawa T., Kono I., Kabashima T., Yamane K., Kashiwagi H.:
Reappraisal of LE cell phenomenon: analysis of the target cells by meas-
uring DNA content of the inclusion bodies.

17th International Congress of Internal
Medicine (Kyoto), 10月, 1984

No.12 10月 井上節子, 山根一秀, 河野一郎, 梶島悌蔵, 桜井徹志, 柏木平八郎:
詐熱の2症例.

第341回日本内科学会関東地方会 (東京), 10月, 1984

班研究報告

No. 1 3月 柏木平八郎, 山根一秀, 河野一郎, 梶島悌蔵, 桜井徹志:

リンパ球増殖性反応に対する単球の抑制作用.

厚生省特定疾患自己免疫疾患調査研究班,
昭和58年度業績集, pp.120-123, 1984

No. 2 3月 柏木平八郎, 梶島悌蔵, 桜井徹志, 山根一秀, 河野一郎:

単球による可溶性免疫複合体処理能.

厚生省特定疾患自己免疫調査研究班,
昭和58年度業績集, pp.124-128, 1984

No. 3 3月 野田汎史, 浅井克晏:

若年境界域高血圧患者管理における心エコー図法の意義.

第21回全国大学保健管理研究集会報告書, pp.160-163, 1984

1985年 (リウマチアレルギー)

原 著

- No. 1 4月 久賀圭祐, 河野一郎, 梶島悌蔵, 桜井徹志, 山根一秀, 柏木平八郎 :
レイノー現象の定量的評価の試み : 手指皮膚温の検討
日臨免誌 8 : 91-98, 1985
- No. 2 4月 Fujimoto T., Yoshinaga K., **Kono I.** :
Distribution of fibronectin on the migratory pathway of primordial germ cells in mice.
Anat. Rec. 211 : 271-278, 1985
- No. 3 4月 桜井徹志, 河野一郎, 梶島悌蔵, 山根一秀, 柏木平八郎 :
慢性関節リウマチ患者の血中免疫複合体に関する研究 : IgM リウマトイド因子, 病期, 機能障害度との関係について.
リウマチ 25 : 81-86, 1985
- No. 4 4月 松本雄二郎, 石橋康久, 河野恵子, 河野一郎 :
難治性角膜上皮疾患に対するフィブロネクチン点眼の臨床応用.
眼科臨床医報 79 : 622-626, 1985
- No. 5 6月 奥脇透, 河野一郎, 中川昭, 村上純, 岩井浩一, 江田昌佑 :
ラグビーにおける頭部打撲の現況.
臨床スポーツ医学 2 : 32-34, 1985
- No. 6 6月 **Kono I.**, Matsumoto Y., **Kono K.**, Ishibashi Y., Narushima K., **Kabashima T.**, Yamane K., Sakurai T., Kashiwagi H. :
Beneficial effect of topical fibronectin in patients with keratokconjunctivitis sicca of Sjögren's syndrome.
J. Rheumatol. 12 : 487-489, 1985
- No. 7 7月 松村高幸, 梶島悌蔵, 河野一郎, 山根一秀, 桜井徹志, 山口巖, 柏木平八郎 :
D-ペニシラミン投与後, 汎血球減少, 多発性筋炎, 完全房室ブロックなど多彩な症状を呈した強皮症の1例.
日内会誌 74 : 958-963, 1985
- No. 8 8月 Hayashi M., Akama T., **Kono I.**, **Kashiwagi H.** :
Activation of vitronectin (serum spreading factor) binding of heparin by denaturing agents.
J. Biochem 98 : 1135-1138, 1985
- No. 9 9月 野田汎史, 浅井克晏 :
心室性不整脈を伴う虚血性心疾患に対する Dilazep (Comelian) の治療効果.
基礎と臨床 19(9) : 357-365, 1985
- No. 10 11月 野田汎史, 浅井克晏 :
大学生の境界域高血圧症の管理に関する研究.
学校保健研究 27(11) : 529-535, 1985

総 説

- No. 1 2月 柏木平八郎, 成島勝彦:
慢性関節リウマチの免疫療法.
臨床免疫 17(Suppl 9) : 520-529, 1985
- No. 2 3月 林正男, 河野一郎, 赤間高雄, 渡辺宏:
フィブロネクチン — 基礎と臨床 —
呼吸 : 4 : 274-281, 1985
- No. 3 5月 柏木平八郎:
免疫学的疾患の検査.
medicina 22 : 802-805, 1985
- No. 4 5月 河野一郎, 奥脇透, 村上純, 江田昌佑:
ラグビーとスポーツ医学 — 頭部打撲を中心に —
臨床スポーツ医学 2 : 259-264, 1985
- No. 5 5月 浅井克晏:
留学生の健康管理.
大学と学生 5月号 p29-34.
- No. 6 7月 湯原孝典, 柏木平八郎:
ステロイド治療の副作用・合併症とその対策: 感染症.
Medical Practice 2 : 1079-1081, 1985
- No. 7 9月 河野一郎, 梶島悌蔵, 成島勝彦, 赤間高雄, 鈴木博史, 山根一秀, 柏木平八郎:
関節炎におけるフィブロネクチン.
臨床免疫 17 : 830-834, 1985
- No. 8 10月 浅井克晏:
リウマチ性疾患の治療「ステロイド」.
現代医療, 17(10) : 1878-1881, 1985
- No. 9 12月 柏木平八郎, 成島勝彦:
慢性関節リウマチのメトトレキサート療法.
Pharma Medica 3 (12) : 39-42, 1985

著 書

- No. 1 3月 柏木平八郎:
科学大辞典 (国際科学振興財団編) 編集委員会.
臨床医学系部門委員, 丸善, 東京, 1985
- No. 2 6月 浅井克晏:
(監訳の1人) カラー図説医学大事典.
朝倉書店, 東京, 1985
- No. 3 7月 柏木平八郎:
診察の仕方と所見の評価.
臨床診断学, 診察編 (阿部正和, 荒木淑郎, 大澤忠, 柏木平八郎, 河合忠, 高久文磨編), pp25-31, 第2版, 医学書院, 東京, 1985

No. 4 7月 柏木平八郎：

皮膚の診かたと所見の評価。

臨床診断学，診察編（阿部正和，荒木淑郎，大澤忠，**柏木平八郎**，
河合忠，高久文磨編）pp207-212，第2版，医学書院，東京，

1985

No. 5 7月 柏木平八郎：

診断への手がかり：発熱。

臨床診断学，診察編（阿部正和，荒木淑郎，大澤忠，**柏木平八郎**，
河合忠，高久文磨編），pp291-293，第2版，医学書院，東京，

1985

No. 6 **Kono I., Kabashima T., Watanabe H., Otsuka K., Yamane K., Sakurai T.,
Kashiwagi H., Tsunoda R., Kojima, M., :**

Production of fibronectin by monocytes and alveolar macrophages in patients
with progressive systemic sclerosis.

Progress in Leukocyte Biology Vol. 4 : Macrophage Biology
(Reichard, S., Kojima, M. ed.) pp881-886, Alan R. Liss, New

York, 1985

No. 7 10月 柏木平八郎：

Case 11 関節痛を訴える症例。

臨床実習演習，一般臨床編（堀原一，高久文磨，小林登編），

pp87-94，南江堂，東京，1985

No. 8 10月 柏木平八郎：

Case 32 口腔乾燥と耳下腺腫脹を合併した症例。

臨床実習演習，一般臨床編（堀原一，高久文磨，小林登編），

pp237-243，南江堂，東京，1985

学会発表（シンポジウム，特別講演を含む）

No. 1 3月 野上葉子，河野一郎，**梶島悌蔵**，山根一秀，桜井徹志，**柏木平八郎**：

急性肺炎を合併した mycoplasma 肺炎の一例。

第345回日本内科学会関東地方会（東京），3月，1985

No. 2 4月 **柏木平八郎**，河野一郎，渡辺宏，**梶島悌蔵**，山根一秀，桜井徹志：

強皮症患者における単球・マクロファージのフィブロネクチン産生能。

第82回日本内科学会講演会（名古屋），4月，1985

No. 3 5月 山根一秀，河野一郎，**梶島悌蔵**，桜井徹志，**柏木平八郎**：

ヒト単球によるロイコトリエン C₄ の産生。

第29回日本リウマチ学会総会（福岡），5月，1985

No. 4 5月 桜井徹志，河野一郎，**梶島悌蔵**，山根一秀，**柏木平八郎**，伊達宗宏，唐橋一浩，石田
勝己：

新しい皮膚粘弾性測定装置による強皮症の皮膚硬度測定研究。

第29回日本リウマチ学会総会（福岡），57，1985

- No. 5 5月 **Kono I., Kono K., Kabashima T., Yamane K., Sakurai T., Kashiwagi H. :**
Beneficial effect of topical fibronectin in patients with keratoconjunctivitis
sicca of Sjögren's syndrome.
XV th International Congress of Rheumatology (Sydney), 5
月, 1985
- No. 6 6月 成島勝彦, 河野一郎, 梶島悌蔵, 山根一秀, 桜井徹志, 柏木平八郎:
抗生剤投与を契機に間質性肺炎を併発したと考えられる S L E の症例.
第13回日本臨床免疫学会総会 (出雲), 6月, 1985
- No. 7 6月 梶島悌蔵, 河野一郎, 山根一秀, 桜井徹志, 柏木平八郎:
ヒト末梢血単球の補体結合免疫複合体処理機能.
第13回日本臨床免疫学会総会 (出雲), 6月, 1985
- No. 8 6月 河野一郎, 梶島悌蔵, 山根一秀, 桜井徹志, 柏木平八郎:
フィブロネクチンの免疫調節作用.
第13回日本臨床免疫学会総会 (出雲), 6月, 1985
- No. 9 7月 喜多尾浩代, 松田光生, 河野一郎, 芳賀脩光, 福島秀夫:
運動習性の免疫機能におよぼす影響.
第74回日本体力医学会関東地方会 (筑波), 7月, 1985
- No. 10 9月 湯原孝典, 松村高幸, 鈴木博史, 河野一郎, 梶島悌蔵, 山根一秀, 柏木平八郎:
パルス療法が奏効した leukocytoclastic vasculitis を伴った S L E の一例.
第349回日本内科学会関東地方会 (東京), 9月, 1985
- No. 11 9月 鈴木博史, Green I. :
S L E 患者B細胞の分裂能および myc expression.
第35回日本アレルギー学会総会 (前橋), 9月, 1985
- No. 12 9月 赤間高雄, 河野一郎, 柏木平八郎, 林正男:
ビトロネクチン (血清中細胞伸展因子) のヘパリン結合性.
第58回日本生化学会大会 (仙台), 9月, 1985
- No. 13 9月 河野一郎, 喜多尾浩代, 松田光生, 芳賀脩光, 柏木平八郎, 福島秀夫, 小関迪:
運動と免疫能.
第7回東日本スポーツ医学研究会 (筑波), 9月, 1985
- No. 14 9月 奥脇透, 河野一郎, 江田昌佑:
ラグビーにおける頭部打撲後の経過 — チームドクターの立場から —
第7回東日本スポーツ医学研究会 (筑波), 9月, 1985
- No. 15 10月 林正男, 赤間高雄, 河野一郎, 柏木平八郎:
ビトロネクチン (血清中細胞伸展因子) のヘパリン結合能活性化.
第56回日本動物学会 (東京), 10月, 1985
- No. 16 10月 喜多尾浩代, 松田光生, 河野一郎, 芳賀脩光, 福島秀夫, 小西智子:
鍛練者における減量の免疫機能に及ぼす影響.
第40回日本体力医学会大会 (鳥取), 10月, 1985

- No. 17 10月 江田昌佑, 中川昭, 村上純, 岩井浩一, 高森秀蔵, 伊与田康雄, **河野一郎** :
ラグビーにおける障害に関する研究(Ⅱ) — 頭部打撲後の経過について —
第36回日本体育学会大会 (岐阜), 10月, 1985
- No. 18 10月 喜多尾浩代, 松田光生, 芳賀脩光, 福島秀夫, **河野一郎**, 小西智子 :
肥満者における, 摂取エネルギー制限が免疫機能に及ぼす影響.
第7回日本臨床栄養学会総会 (東京), 10月, 1985
- No. 19 11月 栗原泰之, 松村高幸, 湯原孝典, **鈴木博史**, **河野一郎**, **梶島悌蔵**, **山根一秀**, **柏木平八郎** :
末梢関節痛を初発症状とし早期診断しえた強直性脊椎炎の一例
第351回日本内科学会関東地方会 (東京), 11月, 1985

班研究報告

- No. 1 3月 **柏木平八郎**, **河野一郎**, **梶島悌蔵**, **山根一秀**, **桜井徹志** :
シェーグレン症候群の乾燥性角結膜炎に対するフィブロネクチンの点眼療法
厚生省特定疾患自己免疫疾患調査研究班 昭和59年度研究業績
集, pp410-412, 1985
- No. 2 3月 **野田汎史**, **浅井克晏** :
大学生の心室性期外収縮の管理に関する研究 — 運動負荷試験による検討 —
第22回全国大学保健管理研究集会報告書 p234-235 .

その他(放送, 座談会, 講演会などで学術的なもの)

- No. 1 4月 **浅井克晏**, 大塚恭男, 松下嘉一, 代田文彦 :
胸痛の治療をめぐる.
現代東洋医学 6(2):64-75, 1985
- No. 2 6月 **柏木平八郎** :
消炎鎮痛剤の使い方.
石岡市医師会医学講演会 (石岡市), 6月29日, 1985
- No. 3 9月 伊藤久次, **浅井克晏** :
伊藤久次先生に聞く.
MEDIC 9月号, p13-19, 1985
- No. 4 10月 **山根一秀** :
リウマチの治療をめぐる.
日本リウマチ友の会茨城支部医療講演 (土浦) 10月10日, 1985
- No. 5 10月 **柏木平八郎** :
慢性関節リウマチの経口メトトレキサート療法について.
第16回近畿リウマチ研究会 (大阪), 10月12日, 1985
- No. 6 11月 **柏木平八郎** :
医学の焦点: フィブロネクチンと免疫反応.
日本短波放送, 11月25日, 1985

1986年（リウマチ・アレルギーグループ）

原 著

- No. 1 1月 飯島茂子, 中村日出子, 河野一郎, 桃島悌蔵, 山根一秀, 桜井徹志, 柏木平八郎, 福田廣志:
Ludwig's angina (口底蜂窩織炎) を合併した全身性エリトマトーデスの1例
日本口腔科学会誌 35:370-374, 1986
- No. 2 2月 Suzuki, H. Nakanishi K., Steinberg A., Green I. :
Induction of c-myc Expression Early in the Course of B-Cell Activation : Studies in Normal Humans and Patients with Systemic Lupus erythematosus
Int. Archs Allergy appl. Immun. 79:380-387, 1986
- No. 3 2月 Nagasawa, T., Sakurai, T., Kashiwagi, H., Abe, T. :
Cell-Mediated Amegakaryocytic Thrombocytopenia Associated With Systemic Lupus Erythematosus
Blood 67:479-483, 1986
- No. 4 3月 河野一郎, 喜多尾浩代, 松田光生, 柏木平八郎, 芳賀脩光, 福島秀夫, 小関迪:
運動習慣と免疫機能
臨床スポーツ医学 3:157-159, 1986
- No. 5 3月 河野一郎:
運動と免疫能
体力研究 62:61-64, 1986
- No. 6 4月 塩川優一, 五十嵐三都男, 林泰史, 柏木平八郎, 折茂肇, 蔵治言, 青木虎吉, 井上久, 市川陽一, 山田秀裕, 吉田正, 菅原幸子, 水島裕, 金子久美子, 山本真, 有富寛, 梶原功嗣, 藤森一平, 富井正邦, 菅野卓郎, 井上哲朗, 宮本繁仁, 藤田拓男:
慢性関節リウマチ患者にみられる骨粗鬆症に対するアルファカルシドール (1α -OH-D₃) の有用性
リウマチ 26:95-101, 1986
- No. 7 4月 Mimori, T. Okada, N., Mukai, R., Kashiwagi, H., Hardin, J., Steitz, J. :
Newly Identified Autoantibodies To Signal Recognition Particle In Rheumatic Diseases.
Arthritis Rheum 29:s22, 1986
- No. 8 4月 Matsumura, T., Yuhara, T., Yamane, K., Kono, I., Kabashima T., Kashiwagi H. :
D-Penicillamine-Induced Polymyositis Occurring in Patients with Rheumatoid Arthritis: A Report of Two Cases and Demonstration of a Positive Lymphocyte Stimulation Test to D-Penicillamine
Henry Ford Hosp Med J. 34:123-126, 1986
- No. 9 5月 Akama T., Yamada K. M., Seno N., Matsumoto I., Kono I., Kashiwagi H., Funaki T., Hayashi M. :
Immunological Characterization of Human Vitronectin and Its Binding to Glycosaminoglycans
J. Biochem. 100:1343-1351, 1986

No. 10 5月 **Matsui Y.**, Martin-Alosco S., Doenges E., Christenson L., Shapiro H. M., Yunis E. J., Page P. L., :

Effects of frequent and sustained plateletapheresis on peripheral blood mononuclear cell populations and lymphocyte functions of normal volunteer donors

Transfusion 26 : 446-452, 1986

No. 11 6月 **Yamane K.**, **Kono I.**, Kabashima T., Sakurai T., **Kashiwagi H.** :

Monocyte-Mediated Suppression of T Lymphocyte Blastogenesis and Its Reversal by Deoxyguanosine-Defects in Patients with Systemic Lupus erythematosus.

Int. Archs Allergy appl. Immun. 80 : 132-138, 1986

No. 12 8月 伊藤葉子, 湯原孝典, 河野一郎, 山根一秀, 柏木平八郎 :

マイコプラズマ肺炎に急性無症候性肺炎を伴った1例

呼吸 5 : 930-934, 1986

No. 13 8月 Kabashima, T., Sakurai T., **Yamane K.**, **Kono I.**, **Kashiwagi H.** :

Enhanced Fc Receptor Function of Monocytes from Patients with Clinically Active Systemic Lupus Erythematosus : Binding and Degradation of Soluble Immune Complexes in vitro

Jap J Med 25 : 263-269, 1986

No. 14 9月 柏木平八郎 :

不明熱の臨床

日内会誌 75 : 1214-1218, 1986

No. 15 11月 鈴木博史, 柏木平八郎 :

T細胞活性化機構におけるC-myc遺伝子の発現に関する研究

アレルギー 35 : 1113-1118, 1986

No. 16 12月 野田汎史, 浅井克晏 :

大学生の心室性期外収縮の管理に関する研究 (第一報)

Study on Ventricular Premature contractions in University Students

学校保健研究 28 : 577-583, 1986

総 説

No. 1 1月 浅井克晏 :

リウマチ性疾患と高齢化社会

臨床看護 12 : 25-29, 1986

No. 2 4月 柏木平八郎 :

「単クローン性IgA血症および角層下膿疱症を伴ったシェーグレン症候群の1例」に対する討議

リウマチ 26 : 107, 1986

No. 3 5月 柏木平八郎, 成島勝彦 :

自己免疫現象の検査法とその意義づけ

臨床医 12 : 37-41, 1986

- No. 4 6月 湯原孝典, 柏木平八郎:
処方計画法—抗炎症酵素製剤
総合臨床 35:183-184, 1986
- No. 5 8月 河野一郎:
フィブロネクチンの臨床応用
内科 58:374, 1986
- No. 6 8月 柏木平八郎:
不明熱—56例の分析に基づく効果的なアプローチ
臨床医 12:1214-1219, 1986
- No. 7 10 成島勝彦, 柏木平八郎:
慢性関節リウマチの免疫療法の適応と有用性
治療学 17:462-466, 1986
- No. 8 11月 河野一郎, 成島勝彦, 柏木平八郎:
フィブロネクチンの臨床応用
代謝 23:45-50, 1986
- No. 9 12月 柏木平八郎:
不明熱の臨床
日本医事新報 3270:10-12, 1986

著 書

- No. 1 2月 柏木平八郎:
レイノー病, レイノー症候群, 今日の治療指針 (日野原重明, 阿部正和編)
p.330, 医学書院, 東京, 1986
- No. 2 2月 柏木平八郎:
肢端紫藍症, 肢端紅痛症, 今日の治療指針 (日野原重明, 阿部正和編)
p.331, 医学書院, 東京, 1986
- No. 3 3月 柏木平八郎:
慢性関節リウマチ, 健康教育ガイドブック (茨城県医師会健康教育委員会編)
p.1-12, 茨城県医師会健康教育委員会, 茨城, 1986
- No. 4 3月 柏木平八郎:
膠原病・痛風, 健康教育ガイドブック (茨城県医師会健康教育委員会編)
p.1-9, 茨城県医師会健康教育委員会, 茨城, 1986
- No. 5 7月 浅井克晏:
ステロイド
最近の薬物療法 リウマチ 31-41, 現代医療社, 1986
- No. 6 10月 成島勝彦, 柏木平八郎:
慢性関節リウマチの経口メトトレキセート療法, リウマチ病Ⅷ
(七川歎次編), pp283-298, 永井書店, 大阪, 1986

No. 7 11月 Corredor V, **Matsui Y**, Yunis EJ :

Class II Antigens : T Cells. HLA Class II Antigens

(Edited by Solheim BG, Moller E, Ferrone S), pp.374-385, Springer-Verlag, New York, 1986

学会発表 (シンポジウム, 特別講演を含む)

No. 1 2月 喜多尾浩代, 松田光生, **河野一郎**, 芳賀脩光, 福島秀夫, 小橋主典 :

階級性スポーツ選手における減量の免疫機能におよぼす影響

第76回日本体力医学会関東地方会 86年 2月

No. 2 4月 湯原孝典, 二宮浩樹, 佐藤祐二, **山根一秀**, **鈴木博史**, **河野一郎**, **柏木平八郎** :

慢性関節リウマチに合併した高度蛋白尿-非ステロイド系消炎剤によると思われる一例

第120回茨城内科集談会 (水戸) 86年 4月22日

No. 3 4月 **柏木平八郎** :

不明熱の臨床-教育講演, 内科診療の進歩

第83回日本内科学会 (東京) 86年 4月 5日

No. 4 5月 加藤慎二郎, 湯原孝典, **河野一郎**, **鈴木博史**, **山根一秀**, **柏木平八郎**, 河合美枝子 :

心因性の一過性両下肢麻痺をくり返した全身性エリトマトーデスの1例

第355回内科学会関東地方会 (東京) 86年 5月10日

No. 5 5月 湯原孝典, **河野一郎**, 坂内通宏, **鈴木博史**, **山根一秀**, **柏木平八郎** :

偽リンパ腫により水腎症を呈したシェーグレン症候群の1例

第30回日本リウマチ学会 (横浜) 86年 5月30日

No. 6 5月 松村高幸, **河野一郎**, **柏木平八郎**, 黒崎喜久, 斉田幸久 :

関節疾患における超音波検査の有用性について

第30回日本リウマチ学会 (横浜) 86年 5月30日

No. 7 5月 **河野一郎**, 赤間高雄, 成島勝彦, **鈴木博史**, 梶島悌蔵, **山根一秀**, **柏木平八郎** :

関節液中フィブロネクチンの分析

第30回日本リウマチ学会 (横浜) 86年 5月30日

No. 8 5月 桜井徹志, 松村高幸, **柏木平八郎**, 伊達宗宏, 石田勝己 :

新しい皮膚粘弾性測定装置による強皮症の皮膚硬度測定研究 (第2報)

第30回日本リウマチ学会 (横浜) 86年 5月30日

No. 9 5月 **山根一秀**, **鈴木博史**, **河野一郎**, **柏木平八郎** :

全身性エリトマトーデス患者単球のロイコトリエンC₄産生能

第30回日本リウマチ学会 (横浜) 86年 5月30日

No. 10 6月 Mimori, T., Okada, N., Mukai, R., **Kashiwagi, H.**, Hardin, J., Steitz, J., :

Newly identified autoantibodies to signal recognition particle in rheumatic diseases.

50th Annual Meetins of Am Rheum Assn (New Orleans) June 3-7, '86

No. 11 6月 松村高幸, 村田美穂, 湯原孝典, **山根一秀**, **鈴木博史**, **河野一郎**, **柏木平八郎**, 内田義之 :

肺梗塞を初発症状とした大動脈炎症候群の一例

第356回内科学会関東地方会 (東京) 86年 6月14日

- No. 12 6月 成島勝彦, 柴野孝一, 河野一郎, 鈴木博史, 山根一秀, 柏木平八郎:
 寒冷凝集性の極めて速い続発性クリオグロブリン血症による難治性下腿潰瘍の一例
 第14回日本臨床免疫学会(東京) 86年6月19日
- No. 13 6月 河野一郎, 喜多尾浩代, 松田光生, 鈴木博史, 山根一秀, 柏木平八郎, 芳賀脩光, 福島秀夫, 小西智子, 小関迪:
 スポーツ選手における免疫機能と減量による変化
 第14回日本臨床免疫学会総会(東京) 86年6月19日
- No. 14 7月 河野一郎, 渡辺宏, 大塚盛雄, 成島勝彦, 赤間高雄, 鈴木博史, 山根一秀, 柏木平八郎:
 強皮症患者における単球・肺胞マクロファージのフィブロネクチン産生能
 第18回日本結合組織学会(東京) 86年7月11日
- No. 15 7月 成島勝彦, 河野一郎, 鈴木博史, 山根一秀, 柏木平八郎:
 Nutritional parameter としての血中フィブロネクチンの意義
 第18回日本結合組織学会(東京) 86年7月12日
- No. 16 7月 田川宗数, 内田美智子, 実川節子, 河野一郎, 柏木平八郎:
 慢性関節リウマチ患者関節液中の潜在型コラーゲン分解活性 定量時におけるトリプシン処理条件の検討
 第18回日本結合組織学会(東京) 86年7月12日
- No. 17 7月 赤間高雄, 松本勲武, 瀬野信子, 河野一郎, 柏木平八郎:
 ビトロネクチンのグリコサミノグリカン結合性
 第18回日本結合組織学会(東京) 86年7月12日
- No. 18 7月 萩原敏之, 福田廣志, 武田さき子, 根本一男, 河野一郎, 柏木平八郎, 武田泰典:
 シェーグレン症候群における口唇腺生検の診断的価値の再検討ー過去3年間40例についてー
 第24回日本口腔科学会北日本地方部会(岩手) 86年7月25日
- No. 19 8月 土井恵里子, 柴野孝一, 成島勝彦, 河野一郎, 柏木平八郎:
 Clq solid phase ELISA による免疫複合体測定法の再評価
 第23回補体シンポジウム(筑波) 86年8月6日
- No. 20 8月 奥脇透, 河野一郎, 土肥徳秀, 松田光生, 江田昌佑:
 思春期における四肢関節のスポーツ障害と柔軟性との関係について: ラグビー活動を通して
 第5回日本思春期学会総会(筑波) 86年8月20日
- No. 21 8月 野田汎史, 浅井克晏:
 女子学生(18-20才)の貧血について
 第5回日本思春期学会総会(茨城) 86年8月
- No. 22 9月 河野一郎, 喜多尾浩代, 松田光生, 成島勝彦, 柏木平八郎, 芳賀脩光, 福島秀夫, 小西智子, 小関迪:
 スポーツ選手における減量の免疫機能におよぼす影響
 第8回東日本スポーツ医学研究会(東京) 86年9月6日

- No. 23 9月 河野一郎, 喜多尾浩代, 松田光生, 成島勝彦, 柏木平八郎, 芳賀脩光, 福島秀夫, 小西智子:
肥満とオプソニン蛋白, とくにフィブロネクチンの減量による変動について
第41回日本体力医学会総会 86年9月21日
- No. 24 9月 野田汎史, 浅井克晏, 佐藤恵美, 白木記子:
某アスレチッククラブ会員の循環系諸量及び体力の特徴 (第1報)
第41回日本体力医学会大会 (山梨) 86年9月
- No. 25 10月 成島勝彦, 河野一郎, 喜多尾浩代, 松田光生, 福島秀夫, 柏木平八郎:
減量による血中フィブロネクチンの変動
第8回日本臨床栄養学会総会 86年10月9日
- No. 26 10月 松村高幸, 湯原孝典, 大塚盛雄, 鈴木博史, 河野一郎, 山根一秀, 柏木平八郎:
クリプトコッカス髄膜炎を合併した全身性エリテマトーデスの症例
第8回茨城医学会総会 (水戸) 86年10月12日
- No. 27 10月 松村高幸, 柏木平八郎, 安枝浩, 油井泰雄, 信太隆夫:
気管支喘息患者におけるキヌアレルゲンのRASTによる検討
第36回日本アレルギー学会 (岐阜) 86年10月25日
- No. 28 10月 野田汎史, 浅井克晏:
大学生の境界域高血圧症における含硫アミノ酸タウリン投与の影響
一等尺性運動負荷による血行動態の検討—
第24回全国大学保健管理研究集会 (千葉) 86年10月
- No. 29 11月 竹村博之, 藤田恒夫, 松村高幸, 湯原孝典, 山根一秀, 鈴木博史, 河野一郎, 柏木平八郎:
パルス療法が著効を奏した多発性筋炎の再発例
第36回内科学会関東地方会 (土浦) 86年11月8日
- No. 30 11月 河野一郎, 川島敦夫, 山本巧, 江田昌佑:
ラグビーにおける障害に関する研究 (Ⅲ) —スクラムにおけるコラプシングについて—
第37回日本体育学会 (筑波) 86年11月26日
- No. 31 12月 松井良樹, 柏木平八郎, E. J. Yunis, C. A. Alper:
活性化T細胞表面HLA抗原増加に関与するHLA-AおよびB座位間で独立な制御機構
第16回日本免疫学会 (東京) 86年12月16日
- No. 32 12月 鈴木博史, I. Green, 河野一郎, 山根一秀, 柏木平八郎:
T細胞増殖過程におけるIL-2を介したC-myc遺伝子の発現調節
第16回日本免疫学会 (東京) 86年12月17日

班研究報告

- No. 1 3月 柏木平八郎, 山根一秀, 鈴木博史, 河野一郎:

SLE 患者単球の機能異常について,

厚生省特定疾患・自己免疫疾患調査研究班,

昭和60年度業績集, 1986, pp26-29

- No. 2 3月 柏木平八郎, 河野一郎, 河野恵子, 鈴木博史, 山根一秀:

シェーグレン症候群の乾燥性角結膜炎に対するフィブロンネクチンの点眼療法ならびに自己血清点眼療法の検討,

厚生省特定疾患・自己免疫疾患調査研究班,

昭和60年度業績集, 1986, pp176-178

- No. 3 3月 野田汎史, 浅井克晏:

若年境界域高血圧の管理について

第23回全国大学保健管理研究集会報告書 202-205, 1986

その他 (放送, 座談会, 講演会などで学術的なもの)

- No. 1 6月 山根一秀:

リウマチの治療をめぐる

SSK 流つくば 3:5-8, 1986

- No. 2 10月 河野一郎:

運動による免疫能力の向上と栄養の関係 (講演)

学校福祉協会主催 10月27日国立教育会館

- No. 3 11月 柏木平八郎:

抗生物質の使い方 (講演)

日本医師会・厚生省主催 社会保険指導者講習会

11月19日 日立市医師会館

- No. 4 11月 柏木平八郎:

抗生乾質の使い方 (講演)

日本医師会・厚生省主催 社会保険指導者講習会

11月26日 水戸市医師会館

- No. 5 11月 浅井克晏:

保健管理センターにて

茨城県立病院医学雑誌 4:125-127, 1986

- No. 6 12月 柏木平八郎:

抗生物質の使い方 (講演)

日本医師会・厚生省主催 社会保険指導者講習会

12月3日 真壁郡市医師会館

No. 7 12月 河野一郎：

第10回アジア大会日本選手団メディカルチェック結果と医務活動

第10回アジア大会報告集 1986年 日本体育協会

No. 8 12月 河野一郎：

薬物調査について

第10回アジア大会報告集 1986年, 日本体育協会

1987年（リウマチ・アレルギーグループ）

原 著

- No 1 成島勝彦, 桃島悌蔵, 渡辺 宏, 鈴木博史, 河野一郎, 山根一秀, 柏木平八郎:
 抗生剤投与を契機に間質性肺炎を併発した全身性エリテマトーデスの1例
 日本臨床免疫学会会誌 10(1):105-111, 1987
- No 2 **Matsui, Y.**
 Increased density of class I major histocompatibility complex antigens and decreased density of T-cell differentiation antigens in the early stages of T-cell activation
 Human Immunol 18(2):123-133, 1987
- No 3 野田汎史, 河原裕子, 浅井克晏:
 境界域～軽症高血圧症患者に対する食事指導に関する研究
 学校保健研究 29(2):79-82, 1987
- No 4 河野一郎, 河野恵子, 成島勝彦, 赤間高雄, 鈴木博史, 山根一秀, 柏木平八郎:
 シェーグレン症候群の難治性乾燥性角結膜炎に対する自己血清由来フィブロネクチンおよび自己血清の点眼療法
 リウマチ 26(5):339-343, 1987
- No 5 Okada, N., Mimori, T., Mukai, R., **Kashiwagi, H.**, John, A. Hardin:
 Characterization of human autoantibodies that selectively precipitate the 7SL RNA component of the signal recognition particle
 J Immunol 138(10):3219-3223, 1987
- No 6 河野一郎, 松田光生, 成島勝彦, 柏木平八郎, 芳賀脩光, 福島秀夫, 小西智子, 小関 迪:
 スポーツ選手における減量の免疫機能に及ぼす影響
 臨床スポーツ医学 4:190-193, 1987
- No 7 喜多尾浩代, 松田光生, 河野一郎, 芳賀脩光, 福島秀夫:
 習慣的な運動が免疫機能に及ぼす影響
 体力科学 36(4):217-220, 1987
- No 8 西条一止, 吉川恵士, 宮本俊和, 浅井克晏, 松多邦雄, 竹内二士夫, 坂井友実, 磯部八郎, 宮本昭正:
 高周波パルス電磁界のこりに対する治療効果
 医科器械学 57(8):367-372, 1987
- No 9 野田汎史, 佐藤恵美, 白木記子, 浅井克晏:
 アスレチッククラブ会員の循環系諸量および体力の特徴 (第1報)
 アスレチッククラブにおけるスポーツ医学の役割
 臨床スポーツ医学 4(8):899-905, 1987
- 総 説
- No 1 柏木平八郎:
 特集 内科最近の動き アレルギー・膠原病・免疫異常
 内科 59(1):48-52, 1987

- No 2 柏木平八郎：
発熱
医学と薬学 17(3)：533-536, 1987
- No 3 赤間高雄, 柏木平八郎：
Hypereosinophilic Syndrome
Current Therapy 5(3)：138-140, 1987
- No 4 石橋康久, 松本雄二郎, 河野恵子, 河野一郎：
角膜上皮性疾患に対するフィブロネクチンの応用
日本の眼科 58(3)：245-247, 1987
- No 5 柏木平八郎：
抗生物質の使い方
茨城県医師会報 401：70-77, 1987
- No 6 松村高幸, 柏木平八郎：
Still 病 (症候群)
日本臨床 45・春季臨時増刊号：1095, 1987
- No 7 柴野孝一, 柏木平八郎：
発熱
日本医事新報「ジュニア版」 262：12-13, 1987
- No 8 松村高幸, 柏木平八郎：
成人発症スチル病
Medicina 24(8)：1402-1403, 1987
- No 9 柏木平八郎：
不明熱の診断
Medical Technology 15(11)：1061-1062, 1987
- No 10 柏木平八郎：
高尿酸血症
日本医師会雑誌 98(10)：208-210, 1987
- No 11 河野一郎, 河野恵子, 成島勝彦, 赤間高雄, 鈴木博史, 松井良樹, 山根一秀, 柏木平八郎：
シェーグレン症候群の治療—特に乾燥性角結膜炎について
Medical Way 4(12)：89-94, 1987
- No 12 柏木平八郎：
疑えば 治せる” 薬剤熱診断に役立つ臨床特徴
日経メディカル：55-58, 1987
- No 13 野田汎史, 浅井克晏：
女子学生の貧血…循環器学的アプローチ…
思春期学 5(4)：583-590, 1987

著 書

- No 1 山根一秀, 柏木平八郎:
背部痛, 腰痛
新訂第三版 内科学書
吉利 和他監修 (分担執筆) 中山書店, 東京, 別巻42-43, 1987
- No 2 柏木平八郎:
その他のリウマチ性疾患, a. 変形性関節症 (骨関節炎), b. 肥大性骨関節症, c. 再発性多発軟骨炎, d. 血栓性血小板減少性紫斑病, e. クリオグロブリン血症, f. Weber-Christian 病, g. 結節性紅斑, 結晶誘発性関節炎 (痛風・偽痛風)
第5版 新臨床内科学
阿部正和他編 (分担執筆) 医学書院, 東京, 914-919, 1987
- No 3 浅井克晏:
物理的原因による疾患 気圧の変化
新訂第三版 内科学書4,
荒井正昭他編 (分担執筆) 中山書店, 東京, 1729-1730, 1987

学会発表 (シンポジウム, 特別講演, 教育講演を含む)

- No 1 山根一秀, 鈴木博史, 河野一郎, 松井良樹, 柏木平八郎:
全身性エリテマトーデス患者末梢血単球におけるロイコトリエンB₄の生成能の低下
第84回日本内科学会講演会 (東京), 4月3日, 1987
日本内科学会雑誌, 76(2), 328, 1987
- No 2 柴野孝一, 前田裕史, 松村高幸, 山根一秀, 鈴木博史, 河野一郎, 松井良樹, 柏木平八郎:
重篤な胆汁うっ滞型肝障害を呈し, パルス療法が著効を奏したSLEの1例
第364回日本内科学会関東地方会 (東京), 5月9日, 1987
- No 3 湯原孝典, 松村高幸, 鈴木博史, 河野一郎, 松井良樹, 山根一秀, 柏木平八郎:
肺癌を併発した多発性筋炎・強皮症重複症候群の一部検例
第31回日本リウマチ学会 (東京), 5月27日, 1987
リウマチ, 27(6), 581, 1987
- No 4 山根一秀, 松村高幸, 鈴木博史, 河野一郎, 松井良樹, 柏木平八郎:
ヒト末梢血単球と多核白血球によるロイコトリエンB₄の生成
第31回日本リウマチ学会 (東京), 5月27日, 1987
リウマチ, 27(6), 570, 1987
- No 5 成島勝彦, 赤間高雄, 松村高幸, 湯原孝典, 鈴木博史, 河野一郎, 松井良樹, 山根一秀, 柏木平八郎:
慢性関節リウマチにおけるmethotrexate間欠少量経口投与の成績
第31回日本リウマチ学会 (東京), 5月27日, 1987
リウマチ, 27(6), 616, 1987

- No 6 松村高幸, 湯原孝典, 成島勝彦, 赤間高雄, 鈴木博史, 河野一郎, 松井良樹, 山根一秀, 柏木平八郎:
無菌性髄膜炎と皮膚血管炎を合併した混合性結合組織病2症例における検討
第31回日本リウマチ学会 (東京), 5月27日, 1987
リウマチ, 27(6), 584, 1987
- No 7 鈴木博史, 河野一郎, 松井良樹, 山根一秀, 柏木平八郎:
血管内皮細胞における IL-1 β および PDGF- β (c-sis) 遺伝子の発現調節に関する研究
第31回日本リウマチ学会 (東京), 5月27日, 1987
リウマチ, 27(6), 581, 1987
- No 8 河野一郎, 赤間高雄, 成島勝彦, 松村高幸, 湯原孝典, 松井良樹, 鈴木博史, 山根一秀, 柏木平八郎:
細胞外マトリックス成分と単球機能: フィブロネクチンの貧食能促進効果
第31回日本リウマチ学会 (東京), 5月27日, 1987
リウマチ, 27(6), 569, 1987
- No 9 本多彰, 松村高幸, 山縣邦弘, 湯原孝典, 河野一郎, 山根一秀, 鈴木博史, 松井良樹, 柏木平八郎:
高圧酸素療法が有効と思われた全身性エリテマトーデス合併 Pneumatosis intestinalis の症例
第365回日本内科学会関東地方会 (東京), 6月13日, 1987
日本内科学会雑誌, 77(7), 1123, 1988
- No 10 松井良樹, 柏木平八郎, Peter L. Page:
長期, 頻回の血小板アフェレーシスのリンパ球機能試験とサブセットに与える影響
第15回日本臨床免疫学会 (札幌), 7月1日, 1987
- No 11 赤間高雄, 河野一郎, 成島勝彦, 萩原敏之, 鈴木博史, 松井良樹, 山根一秀, 柏木平八郎:
フィブロネクチンと好中球
第15回日本臨床免疫学会 (札幌), 7月1日, 1987
- No 12 河野一郎, 喜多尾浩代, 松田光生, 成島勝彦, 芳賀脩光, 福島秀夫, 小関 迪, 柏木平八郎:
中年肥満者の免疫機能と減量による変化
第15回日本臨床免疫学会 (札幌), 7月1日, 1987
- No 13 松村高幸, 大塚盛男, 湯原孝典, 鈴木博史, 河野一郎, 松井良樹, 山根一秀, 柏木平八郎, 篠田孝子:
全身性エリテマトーデスに合併したクリプトコッカス感染症の1例
第15回日本臨床免疫学会 (札幌), 7月1日, 1987
- No 14 成島勝彦, 松村高幸, 湯原孝典, 鈴木博史, 河野一郎, 松井良樹, 山根一秀, 柏木平八郎:
強皮症 (PSS) の激しい関節症状にメトトレキセート (MTX) 療法が効果を奏した1例
第19回日本結合組織学会 (熊本), 7月2日, 1987

- No 15 山本 巧, 河野一郎, 川島淳夫, 江田昌佑 :
ラグビーにおける障害に関する研究 (IV)
—スクラム形成時のコラプシングについて—
日本体育学会 (京都), 9月13日, 1987
- No 16 坂内通宏, 竹村博之, 松村高幸, 湯原孝典, 鈴木博史, 河野一郎, 松井良樹, 山根一秀, 柏木平八郎 :
慢性関節リウマチに合併した化膿性関節炎—早期診断で完全治癒した症例
第368回日本内科学会関東地方会 (東京), 10月3日, 1987
- No 17 林 正男, 八藤後武美, 柏木平八郎, 泉 雅子 :
ビトロネクチンのヘパリン結合性と新しい精製法
第58回日本動物学会 (富山), 10月7日, 1987
- No 18 河野一郎, 松田光生, 永井 純, 西山智子, 柏木平八郎, 関岡康雄, 池上春夫 :
運動負荷による血液粘性の変化
日本体力医学会 (沖縄), 10月7日, 1987
- No 19 西山智子, 松田光生, 山口 巖, 永井 純, 河野一郎, 関岡康雄, 池上春夫 :
長距離走者の5000mタイムトライアルにおける不整脈の検討
日本体力医学会 (沖縄), 10月9日, 1987
- No 20 八藤後武美, 泉 雅子, 柏木平八郎, 林 正男 :
ヘパリン親和性カラムによるヒト血漿ビトロネクチンの簡易精製法の確立
第60回日本生化学会 (金沢), 10月12日, 1987
- No 21 河野一郎, 柏木平八郎, 松田光生, 永井 純, 西山智子, 関岡康雄, 池上春夫 :
中長距離走者の5000m走によるリンパ球機能の変化
東日本スポーツ (東京), 10月17日, 1987
- No 22 奥脇 透, 河野一郎, 坂内通宏, 赤間高雄, 福村 徹, 江田昌佑 :
ラグビー選手の大学入学時におけるメディカルチェックの有用性
東日本スポーツ (東京), 10月17日, 1987
- No 23 野田汎史, 浅井克晏, 佐藤恵美, 白木記子, 安達幸生 :
アスレティッククラブ会員の循環系諸量及び体力の特徴 (第2報)
…心肺機能に対する1年間の運動処方の効果…
日本体育医学会 (沖縄), 10月, 1987
- No 24 武藤 弘, 福田 潔, 野田汎史, 浅井克晏 :
学生定期健康診断における胸部X線検査の検討
第25回大学保健管理研究集会 (長崎), 10月, 1987
[第25回全国大学保健管理研究集会一般研究発表抄録集p.23]
- No 25 竹村博之, 坂内通宏, 松村高幸, 湯原孝典, 赤間高雄, 成島勝彦, 柴野孝一, 鈴木博史, 河野一郎, 松井良樹, 山根一秀, 柏木平八郎 :
慢性関節リウマチにおける経口金製剤 (オーラノフィン) の使用経験
第122回茨城内科集談会 (水戸), 11月1日, 1987

- No 26 **鈴木博史, 河野一郎, 松井良樹, 山根一秀, 柏木平八郎:**
Interferon- γ による培養血管内皮細胞の c-sis (PDGF-B 鎖) 遺伝子の発現抑制と細胞増殖との関係
第17回日本免疫学会 (金沢), 11月19日, 1987
- No 27 **青木泰子, 辻 明良, 麻原教憲, 五島瑳智子:**
Methotrexate の宿主感染防御能に及ぼす実験的考察
第36回日本感染症学会 東日本地方会総会
第34回日本化学療法学会 東日本支部総会
合同学会 (東京), 11月, 1987
- No 28 **麻原教憲, 辻 明良, 大野 章, 北矢 進, 青木泰子, 五島瑳智子:**
実験的糖尿病マウスにおける易感染性の検討
第36回日本感染症学会 東日本地方会総会
第34回日本化学療法学会 東日本支部総会
合同学会 (東京), 11月, 1987

班研究報告

- No 1 **野田汎史, 浅井克晏:**
大学生の境界域高血圧症における含硫アミノ酸タウリン投与の影響
…等尺性運動負荷による心行動態の検討…
第24回全国大学保健管理研究集会報告書
昭和61年度 P 92. 昭和62年 3月発行
- No 2 **小松美穂子, 田村やよい, 野田汎史, 武藤 弘, 浅井克晏:**
女子学生の食生活に関する研究 (第2報) …食生活に対する意識の経年変化と健康状態…
筑波大学医療技術短期大学部研究報告 8:69-80, 3月, 1987
- No 3 **坂内通宏, 竹村博之, 松村高幸, 湯原孝典, 柏木平八郎, 宮川俊平:**
全身性エリテマトーデス患者の大腿骨頭壊死診断における MRI の意義
厚生省特定疾患・自己免疫疾患調査研究班, (東京), 12月1日, 1987
- No 4 **鈴木博史, 柴野孝一, 柏木平八郎:**
血管内皮細胞における IL-1, PDGF (c-sis) 遺伝子の発現調節: 結合組織疾患の研究への応用の可能性
厚生省特定疾患・自己免疫疾患調査研究班, (東京), 12月2日, 1987

その他 (放送, 座談会, 講演会などで学術的なもの)

- No 1 **柏木平八郎:**
RA 治療の最近の動向
鹿島郡医師会 (鹿島), 1月21日, 1987
- No 2 **柏木平八郎:**
AIDS — その疫学, 臨床像および対策
茨城県医師会 (水戸), 3月14日, 1987

- No 3 柏木平八郎：
AIDS の臨床
勝田市医師会（勝田），3月19日，1987
- No 4 柏木平八郎：
医学講座 不明熱
ラジオたんぱ放送，6月5日，1987
- No 5 柏木平八郎：
エイズ予防対策について
茨城県衛生部（水戸），6月19日，1987
- No 6 柏木平八郎：
文明と流行病：中世から現代までを考える
内外情勢調査会茨城県南支部（土浦）6月例会，6月24日，1987
- No 7 柏木平八郎：
AIDS の臨床
茨城県看護協会（水戸），7月20日，1987
- No 8 柏木平八郎：
AIDS について
盲学校理療科担当教員講習会（東京），7月27日，1987
- No 9 浅井克晏：
（討議）興味ある心筋シンチグラフィー所見を呈した多発性筋炎の1例（富田誠人，
松山栄一）
リウマチ 27(2)：112，7月，1987
- No 10 柏木平八郎：
リウマチ学における新しい話題
鹿島郡医師会（鹿島），10月20日，1987
- No 11 柏木平八郎：
学校保健とエイズ
茨城県教育委員会（水戸），10月28日，1987
- No 12 柏木平八郎：
エイズのはなし
双峰 お茶の水医科同窓会茨城県支部会報，10月29日，1987
- No 13 山根一秀：
慢性関節リウマチの診断と治療
県西総合病院，11月20日，1987
- No 14 河野一郎：
スポーツと薬物
スポーツドクター養成講習会西ブロック（長崎），11月28日，1987
- No 15 河野一郎：
スポーツによる内科的障害
スポーツドクター養成講習会東ブロック（山形），12月，1987

1988年（リウマチ・アレルギーグループ）

原 著

- No 1 松村高幸, 湯原孝典, 赤間高雄, 成島勝彦, 柴野孝一, 坂内通宏, 竹村博之, 加藤慎二郎, 鈴木博史, 河野一郎, 松井良樹, 山根一秀, 柏木平八郎:
慢性関節リウマチに対するチアプロフェン酸とスリダグの単純交叉比較試験成績
臨床と研究 65(2):665-669,1988
- No 2 青木泰子, 深山牧子, 稲松孝思, 上條仁子, 安達桂子:
Methicillin-resistant *Staphylococcus aureus* (MRSA)による老人病棟内環境の汚染状況
日本環境感染学会雑誌 3(2):29-34,1988
- No 3 野田汎史, 浅井克晏:
若年境界域高血圧症の管理に関する研究
ーソルトペーパー法による塩分チェックシステムー
学校保健研究 30(3):131-154,1988
- No 4 Kazuhide Yamana, Takayuki Matsumura, Hiroshi Suzuki, Ichiro Kono, Heihachiro Kashiwagi:
Release of leukotriene C₄ from human monocytes: defects in patients with systemic lupus erythematosus.
Jpn. J. Allergol. 37(5):301-308,1988
- No 5 Takemi Yatohgo, Masako Izumi, Heihachiro Kashiwagi, Masao Hayashi:
Novel purification of vitronectin from human plasma by heparin affinity chromatography
Cell Structure and Function 13:281-292,1988
- No 6 山根一秀, 松村高幸, 鈴木博史, 河野一郎, 松井良樹, 深尾 立, 柏木平八郎:
全身性エリテマトーデス患者末梢血単球によるロイコトリエン C₄遊離能と貪食能の検討
医学のあゆみ 145(6):457-458,1988
- No 7 野田汎史, 佐藤恵美, 白木記子, 安達幸生, 浅井克晏:
アスレティッククラブ会員の呼吸循環系諸量 (第2報)
ー1年間のトレーニングが呼吸機能に与える影響ー
臨床スポーツ医学 5(5):547-551,1988
- No 8 湯原孝典, 松村高幸, 坂内通宏, 竹村博之, 鈴木博史, 河野一郎, 松井良樹, 山根一秀, 柏木平八郎:
肺癌を併発した多発性筋炎・強皮症重複症候群の1剖検例
日本内科学会雑誌 77(5):102-103,1988
- No 9 野田汎史, 佐藤恵美, 白木記子, 安達幸生, 浅井克晏:
アスレティッククラブ会員の呼吸循環系諸量 (第3報)
ー1年間のトレーニングが体脂肪に及ぼす影響ー
臨床スポーツ医学 5(6):669-673,1988

- No 10 竹村博之, 坂内通宏, 加藤慎二郎, 松村高幸, 湯原孝典, 赤間高雄, 成島勝彦, 柴野孝一,
鈴木博史, 河野一郎, 松井良樹, 山根一秀, 柏木平八郎:
慢性関節リウマチにおける経口金製剤 (オーラノフィン) の使用経験
新薬と臨床 37(7):1253-1257,1988
- No 11 Ichiro Kono, Hiroyo Kitao, Mituo Matsuda, Syukou Haga, Hideo Fukushima,
Heihachiro Kashiwagi:
Weight reduction in athletes may adversely affect the phagocytic function of monocytes
The Physician and Sportsmedicine 16(7):56-65,1988
- No 12 奥脇 透, 河野一郎, 坂内通宏, 赤間高雄, 福林 徹, 江田昌佑:
ラグビー選手の大学入学期におけるメディカルチェックの有用性
臨床スポーツ医学 5(別冊):180-182,1988
- 総 説**
- No 1 斎田幸久, 柏木平八郎:
特集-膠原病の画像診断 X線診断-消化管
臨床画像別刷 Clinical Imagiology:34-41,1988
- No 2 河野一郎, 松田光生, 柏木平八郎:
免疫学からみたスポーツ
最新医学 43(2):395-402,1988
- No 3 山根一秀, 柏木平八郎:
特大号/主要疾患の外来診療
慢性関節リウマチ
診断と治療 76(3):855-860,1988
- No 4 柏木平八郎, 遠藤幸男:
医学講座対談集 第4集 21. 不明熱
日本医師会雑誌 99(6):184-189,1988
- No 5 柏木平八郎:
VI. 救命救急 1. 主要症状 19. 高熱
総合臨床 37:1440-1441,1988
- No 6 柏木平八郎:
不明熱とその診療
臨床と研究 65(8):2581-2584,1988
- No 7 坂内通宏, 柏木平八郎:
薬剤熱の原因と治療
医薬ジャーナル 24(8):1665-1669,1988
- No 8 河野一郎:
スポーツと生体反応
免疫・血液
最新医学 43(10):2155-2158,1988

- No 9 河野一郎：
 スポーツ医学の新しいテーマと問題点
 スポーツにおけるメディカルチェックと健康管理の問題点
 最新医学 43(10)：2164-2169,1988
- No 10 河野一郎：
 特集／スポーツにおける薬物使用とドーピング
 アンフェタミン、エフェドリン、カフェイン
 臨床スポーツ医学 5(10)：1115-1118,1988
- No 11 河野一郎：
 特集／スポーツにおける薬物使用とドーピング
 気管支喘息薬，感冒薬
 臨床スポーツ医学 5(10)：1129-1131,1988
- No 12 河野一郎：
 特集／スポーツにおける薬物使用とドーピング
 わが国スポーツ界の現状
 臨床スポーツ医学 5(10)：1105-1110,1988
- No 13 赤間高雄，河野一郎：
 ビトロネクチンの構造と機能
 臨床検査 32(10)：1146-1147,1988
- No 14 赤間高雄，萩原敏之，河野一郎：
 特集 2 細胞間接着因子
 好中球・単球とフィブロネクチン
 Immunohaematology 10(4)：425-429,1988
- No 15 湯原孝典，柏木平八郎：
 消炎酵素薬
 Medical Practice 臨時増刊号：564-569,1988

著 書

- No 1 柏木平八郎：
 発熱
 新病態生理学読本 からだの科学 増刊 5 (吉 利和 編)
 日本評論社，東京，2-5，1988

学会発表

- No 1 綾辺健彦，飯塚正，坂内通宏，湯原孝典，松村高幸，鈴木博史，河野一郎，松井良樹，
 山根一秀，柏木平八郎：
 直腸粘膜生検陰性で腎生検にてアミロイドーシスの合併を診断した慢性関節リウマチ
 症例
 第123回茨城県内科集談会（土浦），2月20日，1988

- No 2 青木泰子, 深山牧子, 稲松孝思, 上條仁子, 畠山 勤, 佐々木宗男, 安達桂子:
メチリン・セフェム耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA) の院内感染における感染経路
の検討
第3回日本環境感染学会総会 (東京), 2月, 1988
日本環境感染学会雑誌 3(2): 29-34, 1988
- No 3 青木泰子, 辻 明良, 麻原教憲, 五島嶸智子:
免疫抑制剤シクロスポリン A(CsA)の宿主感染防御能におよぼす実験的考察
第62回日本環境感染学会総会 (名古屋), 4月, 1988
- No 4 坂内通宏, 船山康則, 竹村博之, 松村高幸, 湯原孝典, 赤間高雄, 大塚盛男, 松井良樹,
山根一秀, 柏木平八郎:
急速な呼吸不全を呈し大量ステロイド療法で救命し得た金塩起因性間質性肺炎の1例
第373回日本内科学会関東地方会 (東京), 5月14日, 1988
- No 5 鈴木博史, 河野一郎, 松井良樹, 山根一秀, 柏木平八郎:
慢性関節リウマチ患者血清の血管内皮細胞における IL-1 β 遺伝子の発現増強作用,
および好中球結合能の誘導作用について
第32回リウマチ学会 (仙台), 6月6日, 1988
- No 6 赤間高雄, 河野一郎, 鈴木博史, 松井良樹, 山根一秀, 柏木平八郎:
慢性関節リウマチ患者における関節液ヒトロネクチンの生化学的特徴
第32回リウマチ学会 (仙台), 6月6日, 1988
- No 7 松村高幸, 湯原孝典, 鈴木博史, 河野一郎, 松井良樹, 山根一秀, 柏木平八郎:
悪性腫瘍合併筋炎の臨床的検討
第32回リウマチ学会 (仙台), 6月7日, 1988
- No 8 成島勝彦, 松村高幸, 湯原孝典, 河野一郎, 鈴木博史, 松井良樹, 山根一秀,
柏木平八郎:
免疫沈降法により 7 SL-RNA が確認された慢性関節リウマチ (RA) と多発性筋炎
(PM) の重複症候群の一例
第32回リウマチ学会 (仙台), 6月7日, 1988
- No 9 湯原孝典, 松村高幸, 坂内通宏, 竹村博之, 鈴木博史, 河野一郎, 松井良樹, 山根一秀,
柏木平八郎:
感染症を併発した全身性エリテマトーデスの子後について
第32回リウマチ学会 (仙台), 6月7日, 1988
- No 10 山根一秀, 鈴木博史, 河野一郎, 松井良樹, 柏木平八郎:
全身性エリテマトーデス患者末梢血単球・多核白血球によるロイコトリエン B₄遊離
能の低下
第32回リウマチ学会 (仙台), 6月8日, 1988
- No 11 桜井徹志, 松井 正, 柏木平八郎, 石田勝己, 伊達宗宏:
新しい皮膚粘弾性測定装置による強皮症の皮膚硬度測定研究 (第3報)
—正常皮膚の加齢による変化を中心に—
第32回リウマチ学会 (仙台), 6月6日, 1988

- No 12 竹村博之, 坂内通宏, 鈴木雅美, 加藤慎二郎, 松村高幸, 湯原孝典, 鈴木博史, 河野一郎, 松井良樹, 山根一秀, 柏木平八郎:
手指・足趾の壊疽と腎血腫で発症し早期治療に成功した多発動脈炎の1症例
第16回日本臨床免疫学会 (大阪), 6月16日, 1988
- No 13 河野一郎, 鈴木博史, 松井良樹, 山根一秀, 柏木平八郎, 松田光生, 喜多尾浩代:
運動負荷による細胞性免疫機能の変化
第16回日本臨床免疫学会 (大阪), 6月18日, 1988
- No 14 夏田洋幹, 渡辺 栄, 坂内通宏, 竹村博之, 松村高幸, 湯原孝典, 鈴木博史, 河野一郎, 松井良樹, 山根一秀, 柏木平八郎:
D-ペニシラミン投与中に血小板減少を呈した強皮症の一例
第124回茨城県内科集談会 (水戸), 6月25日, 1988
- No 15 小川温子, 渡辺典子, 八藤後武美, 柏木平八郎, 林 正男, 松本勲武, 瀬野信子:
細胞接着性糖タンパク質ビトロネクチン
第11回糖質シンポジウム (岐阜), 7月25日, 1988
- No 16 T. Yatohgo, M. Izumi, H. Kitagaki-Ogawa, I. Matsumoto, N. Seno, H. Kashiwagi, M. Hayashi:
Simple purification and some characterization of vitronectin from several species of animal plasma.
Fourth International Congress of Cell Biolgy (Montreal, Canada), 8月15日, 1988
- No 17 Goutam P. Shome, Michihiro Sakauchi, Hiroyuki Takemura, Takayuki matsumura, Takamichi Yuhara, Hiroshi Suzuki, Ichiro Kono, Yoshiki Matsui, Kazuhide Yamane, Heihachiro Kashiwagi:
Ischemic heart disease in systemic lupus erythematosus:
a retrospective study of 68 SLE patients treated with corticosteroid
The 6th SEAPAL Congress of Rheumatology (Tokyo), 6th September, 1988
- No 18 福田 潔, 平木美奈子, 沢田作平, 小鮎ヒロ子, 武藤 弘, 浅井克晏, 井上雅樹, 長谷川鎮雄:
粉塵暴露下に従事する職員の特別健康診断
—主に精密肺機能検査を中心とした検討—
第26回全国大学保健管理研究会 (京都), 10月25日, 1988
- No 19 山本 巧, 河野一郎, 川島淳夫, 江田昌佑:
ラグビーにおける障害に関する研究 (V)
—スクラム時の姿勢とコラプシングについて—
日本体育学会第39回大会 (福島), 10月3日, 1988
- No 20 斉藤武利, 河野一郎, 勝村龍一, 宮永 豊, 江田昌佑, 川島淳夫:
ラグビーにおける障害に関する研究 (VI)
頭部外傷 (硬膜下血腫) の1例とその競技復帰について
日本体育学会第39回大会 (福島), 10月3日, 1988

- No 21 八藤後武美, 泉 雅子, 柏木平八郎, 小川温子, 松本勲武, 瀬野信子, 林 正男:
血漿ビトロネクチンの動物種間における相同性と多様性
I. 精製過程とタンパク質
第61回日本生化学会大会 (東京), 10月5日, 1988
- No 22 小川温子, 渡辺典子, 八藤後武美, 柏木平八郎, 林 正男, 松本勲武, 瀬野信子:
血漿ビトロネクチンの動物種間における相同性と多様性
II. 糖組成とレクチン反応性
第61回日本生化学会大会 (東京), 10月5日, 1988
- No 23 斉藤武利, 河野一郎, 勝村龍一, 宮永 豊, 江田昌佑, 川島淳夫:
ラグビーフットボールにおける安全対策に関する研究 [I]
一頭部打撲後の活動停止期間について—
第43回日本体力医学会大会 (京都), 10月13日, 1988
- No 24 遠藤優枝, 加藤慎二郎, 竹村博之, 田中真奈美, 鈴木博史, 河野一郎, 松井良樹,
山根一秀, 柏木平八郎:
県北での感染が考えられたつつが虫病の一例
第125回茨城内科集談会 (水戸), 10月16日, 1988
- No 25 河合伸念, 小泉準三, 鈴木利人, 山根一秀, 酒井紀恵:
精神症状が反復して出現した全身性エリテマトーデスの1臨床例
第125回茨城精神医学集談会 (水戸), 10月16日, 1988
- No 26 河野一郎:
スポーツ選手におけるメディカルチェックとフィードバック
第10回東日本スポーツ医学研究会 (東京), 10月29日, 1988
- No 27 河野一郎:
免疫学からみた運動
日本健康科学学会 第4会学術大会 (東京), 11月11日, 1988
- No 28 八藤後武美, 小川温子, 松本勲武, 瀬野信子, 柏木平八郎, 泉 雅子, 林 正男:
血漿ビトロネクチンの新精製法と動物種間の多様性
第41回日本細胞生物学会大会 (名古屋), 11月17日, 1988
- No 29 青木泰子:
臨床分離 MRSA の minocycline および ofloxacin 感受性の変化に関する検討
第37回日本感染症学会東日本地方会総会
第35回日本化学療法学会東日本支部総会 合同学会
(東京), 11月25-26日, 1988

班研究報告

- No 1 松井良樹, 柴野孝一, 柏木平八郎:
SLE における新しいリンパ球表面分化抗原の遺伝子多形性に関する研究
厚生省特定疾患・自己免疫疾患調査研究班
昭和62年度研究業績 pp.128-130, 1988

- No 2 林 正男, 泉 雅子, 柏木平八郎, 八藤後武美:
家畜由来の細胞接着性タンパク質の生理化学的研究
—血漿ビトロネクチン精製法の確立—
昭和62年度食肉に関する助成研究調査成果報告書 6 : 413-418, 1988
- No 3 武藤 弘, 福田 潔, 野田汎史, 浅井克晏, 長谷川鎮雄:
学生定期健康診断における胸部X線検査の検討
第25回全国大学保健管理研究会報告書 (Ⅱ) pp.125-127, 3月, 1988
- No 4 赤間高雄, 柏木平八郎:
関節液中の接着性タンパク質
昭和63年度文部省科研費、総合 (B) 課題番号63308019
「細胞接着因子と細胞機能調節」
「細胞接着因子」班班会議 (東京), 11月25日, 1988
- その他
- No 1 柏木平八郎:
テレビ医学研究講座 —症状からみた臨床検査 最近の進歩—
テレビ東京, 9月24日, 1988
- No 2 Heihachiro Kashiwagi:
Newly Recognized Antinuclear Antibodies and Their Clinical Significance in Diffuse
Connective Tissue Diseases.
Presented at the Grand Rounds for the Department of Medicine.
Henry Ford Hospital, Detroit, Michigan, U. S. A., Sep. 29, 1988
- No 3 浅井克晏:
フランス文学にあらわれたリウマチ性疾患
(訳: M. F. KAHN, L. BERANECK, M. DAUDIN)
リウマチ 28(5): 389-397, 1988
- No 4 浅井克晏:
茨城県温泉マップ (監修)
茨城県衛生部薬務課, 1988
- No 5 河野一郎:
スポーツと内科(1)スポーツによる生理的变化 III-B-1
公認スポーツドクター養成西ブロック講習会 (高知), 11月19日, 1988
- No 6 河野一郎:
オリンピック代表選手の健康管理
第8回臨床スポーツ医学懇話会 (東京), 11月23日, 1988
- No 7 目崎 登, 河野一郎, 川原 貴, 増島 篤, 村山正博:
本邦一流女子選手の月経現象に関する調査
女性スポーツ医学研究会学術集会 (東京), 12月3日, 1988

No 8 河野一郎：

トップアスリートのメディカル・チェック

女性スポーツ医学研究会学術集会（東京），12月3日，1988

No 9 河野一郎：

ソウルオリンピック報告とドーピング問題

第6会茨城県スポーツ医学研究会（水戸），12月10日，1988

1989年（リウマチ・アレルギーグループ）

原 著

- No 1 **Hiroshi Suzuki, Koichi Shibano, Masato Okane, Ichiro Kono, Yoshiki Matsui, Kazuhide Yamane, Heihachiro Kashiwagi :**
Interferon- γ modulates messenger RNA levels of c-sis (PDGF-B chain), PDGF-A chain, and IL-1 β genes in human vascular endothelial cells
Am J Pathol 134(1):35-43, 1989
- No 2 須田 一, 浅井克晏:
全身性硬化症の一例についての侵襲学的考察
茨城県立病院医学雑誌 7(1):9-13, 1989
- No 3 塩川優一, 宮本昭正, 廣瀬俊一, 菅原幸子, 藤 治言, 長屋郁郎, 小松原良雄, 廣畑和志, 延永 正, 鈴木重男, 小坂志郎, 阿部正隆, 吉田昌章, 岡崎太郎, 粕川禮司, 大原守弘, 狩野庄吾, 隅谷護人, 川村 肇, 柏木平八郎, 鈴木博史, 他59名:
慢性関節リウマチに対するE-0710の臨床評価
— インドメタシンを対照薬とした多施設二重盲検比較試験 —
診療と新薬 26(4):565-596, 1989
- No 4 赤間高雄, 萩原敏之, 河野一郎, 鈴木博史, 松井良樹, 山根一秀, 柏木平八郎:
膿瘍の好中球に存在するフィブロネクチンの証明
医学のあゆみ 149(3):163-164, 1989
- No 5 須田 一, 浅井克晏, 高木由紀, 福田芳郎:
急性心嚢炎, 腎炎の急性増悪を呈して死亡した慢性関節リウマチの症例
茨城県立病院医学雑誌 7(2):58-74, 1989
- No 6 赤間高雄, 萩原敏之, 河野一郎, 山根一秀, 柏木平八郎:
慢性関節リウマチ患者の関節液好中球と末梢血好中球におけるフィブロネクチンの存在
リウマチ科 1(5):678-685, 1989
- No 7 塩川優一, 廣瀬俊一, 菅原幸子, 長屋郁郎, 廣畑和志, 延永 正, 鈴木重男, 小坂志郎, 荒井三千雄, 片岡洋一, 力丸 暁, 三友紀男, 粕川禮司, 大原守弘, 狩野庄吾, 溝口義明, 森 正樹, 柏木平八郎, 鈴木博史, 山根一秀, 松井良樹, 河野一郎, 他103名:
慢性関節リウマチに対するE-0710の長期投与試験成績 — 多施設共同試験 —
薬理と治療 17(7):3245-3266, 1989
- No 8 Munekazu Tagawa, Junko Kobayashi, Takao Akama:
Characterization of trypsin-activatable latent collagenases and their inhibitors in rheumatoid arthritis synovial fluid
Clinica Chimica Acta 186:119-124, 1989
- No 9 須田 一, 浅井克晏, 平井 周, 福田芳郎:
レイノー症候を伴う肢端硬化症, ネフローゼ症候群, 近位筋障害, 急性呼吸不全を示した症例
茨城県立病院医学雑誌 7(3):106-125, 1989

- No 10 Goutam Pada Shome, Michihiro Sakauchi, **Kazuhide Yamane**, Hiroyuki Takemura, **Heihachiro Kashiwagi** :

Ischemic heart disease in systemic lupus erythematosus. A retrospective study of 65 patients treated with prednisolone

Jpn J Med 28(5) : 599-603, 1989

- No 11 須田 一, 浅井克晏, 平井 周, 福田芳郎 :

ネフローゼ症候群, 骨髄障害を示した慢性関節リウマチ症例

茨城県立病院医学雑誌 7(4) : 149-167, 1989

- No 12 Hiroshi Suzuki, Takao Akama, Masato Okane, Ichiro Kono, Yoshiaki Matsui, **Kazuhide Yamane**, **Heihachiro Kashiwagi** :

Interleukin-1-inhibitory IgG in sera from some patients with rheumatoid arthritis

Arthritis Rheum 32(12) : 1528-1538, 1989

- No 13 Toshiyuki Hagiwara, Ichiro Kono, Kazuo Nemoto, **Heihachiro Kashiwagi**, Kikuo Onozaki :

Recombinant interleukin-1 triggers the increase of circulating fibronectin level in rats

Int Arch Allergy Appl Immunol 89 : 376-380, 1989

- No 14 山根一秀, 加藤慎二郎, 坂内通宏 :

膠原病検査の最近の進歩

臨床病理 37(12) : 1311-1316, 1989

総 説

- No 1 山根一秀, 柏木平八郎 :

膠原病および膠原病類縁疾患とは何かーリウマチ性疾患の中での位置ー

リウマチ科 1(3) : 273-278, 1989

- No 2 柏木平八郎 :

症状から診断へ 不明熱

MEDIC 24(6) : 21-24, 1989

- No 3 青木泰子 :

症状からみた内科エマージェンシー 好中球減少時の発熱

medicina 26(7) : 1166-1167, 1989

- No 4 松村高幸, 柏木平八郎 :

多発性筋炎と皮膚筋炎との関係

リウマチ科 2 : 317-323, 1989

- No 5 青木泰子 :

外科における抗菌抗生物質の使い方

特殊状態における抗生物質の使い方

MRSA の予防と対策

外科 51(11) : 1241-1247, 1989

- No 6 柏木平八郎, 大久保昭行 :

司会のことば

臨床病理 37(12) : 1309-1310, 1989

No 7 坂内通宏, 柏木平八郎:

全身性エリテマトーデス

現代医療 21(12):3327-3332, 1989

No 8 柏木平八郎:

不明熱

看護技術 35(11):90, 1989

No 9 湯原孝典, 柏木平八郎:

X. 感染症 1. 発熱, 不明熱

総合臨床 増刊号 38:1570-1572, 1989

No 10 山根一秀:

診療の秘訣

手指・足趾の関節痛を主訴とする患者の診方

Modern Physician 9(3):368, 1989

No 11 山根一秀:

慢性関節リウマチの薬物療法

Modern Physician 9(4):533, 1989

著 書

No 1 柏木平八郎:

ベッドサイドの主な問題とその解決法

I. 全身症状 1. 発熱

臨床治療学—ペイシェント・マネージメント

(高久史麿, 尾形悦郎, 出月康夫, 柏木平八郎 編集)

医学書院, 東京, pp.138-140, 1989

No 2 柏木平八郎:

ベッドサイドの主な問題とその解決法

VIII. 膠原病および膠原病近縁疾患

1. 副腎皮質ステロイド薬 2. 非ステロイド性抗炎症薬

臨床治療学—ペイシェント・マネージメント

(高久史麿, 尾形悦郎, 出月康夫, 柏木平八郎 編集)

医学書院, 東京, pp.225-230, 1989

No 3 柏木平八郎:

リウマチ性疾患 (10) HLA-B27関連リウマチ性疾患

I. 強直性脊椎炎 II. Reiter 症候群 III. 乾癬性関節炎

IV. 炎症性腸疾患に伴う関節炎

免疫・アレルギー・リウマチ病学 (柏崎禎夫, 狩野庄吾 編集)

医学書院, 東京, pp.213-219, 1989

No 4 柏木平八郎:

不明熱

1989 今日の治療指針 (日野原重明, 阿部正和 監修)

医学書院, 東京, pp.171, 1989

No 5 柏木平八郎：

再発性多発軟骨炎

1989 今日の治療指針（日野原重明，阿部正和 監修）

医学書院，東京，pp.579，1989

No 6 竹村博之，柏木平八郎：

主訴から考えるリウマチ・膠原病

呼吸困難

図説内科診断治療講座12 リウマチ疾患（安倍 達 編集）

メジカルビュー社，東京，pp.48-53，1989

No 7 山根一秀：

慢性関節リウマチにおける非ステロイド性抗炎症剤の使い方

これだけは知っておきたい名医の処方（Modern Physician 編集部）

新興医学出版社，東京，pp.48，1989

No 8 山根一秀：

手指・足趾の関節痛を主訴とする患者の診方

これだけは知っておきたい診療の秘訣（Modern Physician 編集部）

新興医学出版社，東京，pp.23，1989

No 9 浅井克晏，伊藤隆二，大石三四郎，小鴨英夫，七田基弘，詫間晋平，三澤義一：

心身障害教育と福祉の情報事典

同文書院，東京，pp.829，1989

学会発表

No 1 三橋彰一，湯原孝典，加藤慎二郎，坂内通宏，竹村博之，鈴木博史，河野一郎，松井良樹，
山根一秀，柏木平八郎：

肺病変と腎病変を呈し早期ステロイド療法に成功した多発動脈炎の一例

第126回茨城内科集談会（水戸），2月，1989

No 2 青木泰子，柏木平八郎：

MRSA 院内感染における医療従事者鼻空前庭保有株の意義に関する検討

— ICU における臨床細菌学検査成績 —

第4回日本環境感染学会総会（大阪），2月，1989

環境感染 4(1)：73-74

No 3 山根一秀，加藤慎二郎，坂内通宏，竹村博之，柴野孝一，鈴木博史，河野一郎，松井良樹，
柏木平八郎：

長期寛解 SLE 症例の臨床的特徴

第86回日本内科学会講演会（京都），4月，1989

No 4 青木泰子，小野崎菊夫，辻 明良，五島瑳智子：

組み換え型インターロイキン1（IL-1）の細菌感染防御能におよぼす効果

— マウスにおける実験的考察 —

第63回日本感染症学会総会（盛岡），4月，1989

感染症学雑誌 63(9)：1069-1070

- No 5 綾辺健彦, 坂内通宏, 加藤慎二郎, 鈴木博史, 松井良樹, 山根一秀, 柏木平八郎:
進行性単関節炎を伴った, 皮膚限局型結節性多発性動脈炎 (CPN) の一例
第382回日本内科学会関東地方会 (東京), 5月, 1989
- No 6 鈴木博史, 赤間高雄, 河野一郎, 松井良樹, 山根一秀, 柏木平八郎:
慢性関節リウマチ (RA) 患者血清中に見出された特異的 IL-1 阻害因子の性状, およ
びその臨床的意義に関する研究
第33回日本リウマチ学会総会 (東京), 5月, 1989
- No 7 松井良樹, 柴野孝一, 鈴木博史, 河野一郎, 山根一秀, 柏木平八郎:
自己免疫疾患におけるリンパ球表面分化抗原の遺伝子多形性
第33回日本リウマチ学会総会 (東京), 5月, 1989
- No 8 加藤慎二郎, 河野一郎, 坂内通宏, 竹村博之, 赤間高雄, 鈴木博史, 松井良樹, 山根一秀,
柏木平八郎:
膠原病患者の投与薬剤に対する認識調査—性格テストを中心に
第33回日本リウマチ学会総会 (東京), 5月, 1989
- No 9 柴野孝一, 松井良樹, 鈴木博史, 河野一郎, 山根一秀, 柏木平八郎:
膠原病患者における新しいリンパ球表面分化抗原の遺伝子多形性
第17回日本臨床免疫学会総会 (広島), 6月, 1989
- No 10 河野一郎, 坂内通宏, 加藤慎二郎, 竹村博之, 鈴木博史, 松井良樹, 山根一秀,
柏木平八郎, 喜多尾浩代:
運動負荷による NK 細胞活性の変化
第17回日本臨床免疫学会総会 (広島), 6月, 1989
- No 11 赤間高雄, 萩原敏之, 加藤慎二郎, 坂内通宏, 竹村博之, 河野一郎, 鈴木博史, 松井良樹,
山根一秀, 柏木平八郎:
RA 関節液中のビトロネクチンはヘパリン結合性が活性化されている
第17回日本臨床免疫学会総会 (広島), 6月, 1989
- No 12 山口直人, 横田千鶴子, 中村日出子, 小山哲夫, 成田光陽, 坂内通宏, 山根一秀,
石田 裕:
D-penicillamine 療法中に MCNS の発症を認めた慢性関節リウマチの1例
第19回日本腎臓学会東部部会 (東京), 6月, 1989
- No 13 山根一秀:
病態と検査の最近のトピック 膠原病検査の最近の進歩
第46回日本臨床病理学会関東・甲信越支部例会
(シンポジウム) (筑波), 6月, 1989
- No 14 竹村博之, 成島勝彦, 仲本伸也, 大野洋一, 滝田 節, 田中耕太郎, 古杉 譲, 吉澤繁男,
水谷正一, 柏木平八郎:
金製剤により間質性肺炎を併発した慢性関節リウマチ (RA) の1例
第127回茨城内科集談会 (水戸), 7月, 1988

- No 15 吉田 正, 綾辺健彦, 加藤慎二郎, 坂内通宏, 赤間高雄, 鈴木博史, 松井良樹, 山根一秀,
柏木平八郎:

ステロイドパルス療法中にアナフィラキシー様反応を呈した自己免疫性溶血性貧血の
1 症例

第127回茨城内科集談会 (水戸), 7 月, 1988

- No 16 柏木平八郎:

成人 Still 病 — その臨床像と診断上の問題点

第38回日本感染症学会東日本地方会・第36回日本化学療法学会東日本支部総会
合同学会 (シンポジウム) (新潟), 10 月, 1989

- No 17 青木泰子, 柏木平八郎:

MRSA 感染症に対する抗菌薬療法の検討

I 敗血症での臨床的検討

第36回日本化学療法学会東日本支部総会 (新潟), 10 月, 1989

Chemotherapy 38(6):629

- No 18 和田義之, 綾辺健彦, 加藤慎二郎, 坂内通宏, 赤間高雄, 鈴木博史, 松井良樹, 山根一秀,
柏木平八郎:

多発性動脈狭窄を主徴としたベーチェット病の 1 例

第11回茨城医学会総会 (水戸), 10 月, 1989

- No 19 Nobuko Seno, Haruko Kitagaki-Ogawa, Takemi Yatohgo, Masako Izumi,

Heihachiro Kashiwagi, Isamu Matsumoto:

Diversities in cell-adhesive glycoprotein, vitronectins

Pan-Pacific Connective Tissue Societies Symposium
(Australia), November, 1989

- No 20 鈴木博史, 上村 潤, 綾辺健彦, 柏木平八郎:

慢性関節リウマチ (RA) 患者血清中に見出された IL-1抑制性 IgG の作用機序

第19回日本免疫学会総会・学術集会 (札幌), 11 月, 1989

- No 21 諸橋寛寿, 伊藤清子, 赤間高雄, 河野一郎, 田村 昇:

フィブロネクチンは NK 活性を亢進させる

第19回日本免疫学会総会・学術集会 (札幌), 11 月, 1989

研究報告

- No 1 松井良樹, 柴野孝一, 柏木平八郎:

SLE における新しいリンパ球表面分化抗原の遺伝子多形性に関する研究

厚生省特定疾患自己免疫疾患調査研究班昭和63年度研究業績 pp.35-37, 1989

その他

- No 1 河野一郎:

スポーツと薬物

昭和63年度スポーツドクター養成・冬期中央講習会 (東京), 1 月, 1989

No 2 河野一郎：

III. 運動と年齢 ②中高年期

東京都医師会第1回（昭和63年度）健康スポーツ医学講習会
（東京），2月，1989

No 3 柏木平八郎：

免疫調整剤

第3回日本整形外科学会認定リウマチ医資格取得のための研修会
（東京・大阪），2月，1989

No 4 柏木平八郎：

リウマチの初期診断と対処

下館市医師会研修会（下館），4月，1989

No 5 柏木平八郎：

全身エリテマトーデスの初期診断と対処

下館市医師会研修会（下館），6月，1989

No 6 柏木平八郎：

II. アレルギー・膠原病

3. 慢性関節リウマチ 新しい診断基準と薬物療法の最近の動向

日本内科学会生涯教育講演会Aセッション（東京），7月，1989

No 7 山根一秀：

膠原病診療のコツ

下館医師会講演会（下館），7月，1989

No 8 浅井克晏：

慢性病患者と医師との付き合い

茨城県立病院医学雑誌 7(3)：91-93，8月，1989

1990年（リウマチ・アレルギーグループ）

原 著

- No 1 Akihide Ohta, Masaya Yamaguchi, Tokugoro Tsunematsu, Reiji Kasukawa, Hiroshi Mizushima, **Heihachiro Kashiwagi**, Sadao Kashiwazaki, Kiyoaki Tanimoto, Yoshifuji Matsumoto, Masashi Akizuki and Toshiyuki Ota :
Adult Still's disease : a multicenter survey of Japanese patients.
J Rheumatol 17(8) : 1058-1063, 1990
- No 2 **Hiroshi Suzuki**, Jun Kamimura, Takehiko Ayabe and **Heihachiro Kashiwagi** :
Demonstration of neutralizing autoantibodies against IL-1 α in sera from patients with rheumatoid arthritis.
J Immunolo 145(7) : 2140-2146, 1990
- No 3 **Y. Matsui**, K. Shibano, **H. Kashiwagi**, K. Yamakawa-Kobayashi, H. Inoko, D. E. Staunton :
Restriction fragment length polymorphism of a lymphocyte surface antigen, Blast-1, in Japanese and Caucasians, and in patients with rheumatoid arthritis.
Tissue Antigens 35 : 203-205, 1990
- No 4 **Yoshiki Matsui**, Koichi Shibano, **Heihachiro Kashiwagi**, Kimiko Yamakawa-Kobayashi, Hidetoshi Inoko, Donald E. Staunton and David A. Thorley-Lawson :
Characterization of genomic polymorphism of an activation associated antigen, Blast-1.
Immunogenetics 31 : 188-190, 1990
- No 5 Haruko Kitagaki-Ogawa, Takemi Yatohgo, Masako Izumi, Masao Hayashi, **Heihachiro Kashiwagi**, Isamu Matsumoto and Nobuko Seno :
Diversities in animal vitronectins. Differences in molecular weight, immunoreactivity and carbohydrate chains.
Biochimica et Biophysica Acta 1033 : 49-56, 1990
- No 6 Toshiyuki Hagiwara, **Hiroshi Suzuki**, Ichiro Kono, **Heihachiro Kashiwagi**, Yukio Akiyama, and Kikuo Onozaki :
Regulation of fibronectin synthesis by interleukin-6 in rat hepatocytes.
Am J Path 136(1) : 39-47, 1990
- No 7 加畑隆通, 石橋康久, **本村幸子**, 赤間高雄, 八藤後武美, 河野一郎, **柏木平八郎**, 泉 雅子, 林 正男 :
角膜上皮疾患に対するビトロネクチン点眼の臨床応用の試み
眼科臨床医報 84(5) : 1050-1053, 1990
- No 8 加畑隆通, 石橋康久, **本村 幸子**, 赤間高雄, 八藤後武美, 河野一郎, **柏木平八郎**, 泉 雅子, 林 正男 :
ウサギ角膜上皮創傷治療過程に及ぼすビトロネクチンの影響
日本眼科学会雑誌 94(5) : 457-461, 1990

- No 9 湯原孝典, 坂内通宏, 竹村博之, 松村高幸, 山根一秀, 柏木平八郎:
感染症を合併した全身性エリテマトーデス: 予後予測因子の検討
日本臨床免疫学会会誌 13(1): 43-48, 1990
- No 10 青木泰子, 柏木平八郎:
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA) 院内感染における医療従事者鼻腔保有株の
意義に関する検討
感染症学雑誌 64(5): 549-556, 1990
- No 11 須田 一, 浅井克晏, 田中邦輔:
血漿アフェレーシスによって処理できなかった, 梅毒に対する生物学的偽陽性反応と
一連の病態
茨城県立病院医学雑誌 8(2): 61-69, 1990
- No 12 青木泰子, 柏木平八郎:
MRSA 感染症に対する抗菌薬物療法の検討 II. 各抗菌薬の殺菌力の比較とバンコマイ
シン (VCM) 全身投与に関する基礎的検討
感染症学雑誌 64(8): 1107-1108, 1990
- No 13 青木泰子, 依田安弘, 阿部 帥:
急性白血病寛解導入療法中の真菌感染症に対する5-Fluorocytosine (5-FC) 予防投与
の効果
臨床と微生物 17(3): 331-336, 1990
- 総 説
- No 1 柏木平八郎:
成人 Still 病—その臨床像と診断上の問題点
感染症学雑誌 64(3): 358-359, 1990
- No 2 青木泰子:
病状からみた内科エマージェンシー46. 好中球減少時の発熱
Medicina 27(10): 1822-1823, 1990
- No 3 加藤慎二郎, 柏木平八郎:
高齢発症 SLE の特徴
Pharma Medica 8(6): 33-35, 1990
- No 4 赤間高雄, 柏木平八郎:
抗リン脂質抗体症候群
月刊臨床と研究別冊 67(12): 79 (3901)-82 (3904), 1990
- No 5 柏木平八郎:
膠原病の治療と予後
Medicina 27(12): 2210-2211, 1990
- No 6 柏木平八郎:
膠原病を見落とさないための問診上の注意
Medicina 27(12): 2212-2214, 1990

- No 7 山根一秀：
多発性筋炎／皮膚筋炎
Medicina 27(12)：2236-2237, 1990
- No 8 廣瀬俊一，市川陽一，柏木平八郎：
鼎談－膠原病の免疫抑制療法－いつ投与にふみきるか
Medicina 27(12)：2296-2306, 1990
- No 9 柏木平八郎：
今月の主題・理解のための10題
Medicina 27(12)：2308-2310, 1990
- No 10 柏木平八郎：
全身性エリテマトーデス：診断と治療の進歩－ 治療
2.副腎皮質ステロイド療法のこつ
日本内科学会雑誌 79(10)：1371-1375, 1990
- No 11 柏木平八郎，宮脇伸之，内田 爾：
臨床所見をどう読むか－慢性関節リウマチの治療計画とDMARDs（鼎談）
Pharma Medica 8(10)：93-112, 1990
- No 12 鈴木博史：
尿中における可溶性サイトカインレセプターの排泄
臨床免疫 22(8)：1214-1218, 1990
- No 13 鈴木博史，柏木平八郎：
リウマチ性疾患と抗インターロイキン－1 自己抗体
リウマチ科 3(2)：199-204, 1990
- No 14 柏木平八郎：
副腎皮質ステロイド薬－離脱に伴う問題と離脱のタイミング
Medical Practice 7(6)：961-964, 1990
- No 15 柏木平八郎：
発熱（成人）
Modern Physician 10(5)：515-517, 1990
- No 16 柏木平八郎：
発熱
総合臨床 39：57(1073)-60(1076), 1990
- No 17 湯原孝典，柏木平八郎：
F U Oへのアプローチ
臨床解析 6(5)：535-539, 1990
- No 18 赤間高雄，柏木平八郎：
自己免疫疾患発症のメカニズム
Medicina 27(3)：452-455, 1990

- No 19 柏木平八郎：
第1回日本内科学会生涯教育講演（平成元年度）Ⅱ．アレルギー・膠原病
3．慢性関節リウマチの新しい診断基準と薬物療法の最近の動向
日本内科学会雑誌 79(3)：334-337, 1990
- No 20 柏木平八郎：
慢性関節リウマチの薬物療法—その現状と今後の動向—
日本医事新報 3467：12-15, 1990
- No 21 本間光夫，柏木平八郎，橋本信也，山口雅也：
膠原病経過の診方，考え方（座談会）
日本医師会雑誌 104(3)：327-343, 1990

著 書

- No 1 柏木平八郎：
全身性エリテマトーデス
1990 今日の治療方針（日野原重明，阿部正和 監修）
医学書院，東京，pp.548, 1990
- No 2 柏木平八郎：
リウマチ熱
1990 今日の治療方針（日野原重明，阿部正和 監修）
医学書院，東京，pp.162, 1990

学会発表

- No 1 小島眞樹，萩谷政明，夏田洋幹，綾邊健彦，加藤慎二郎，坂内通宏，赤間高雄，鈴木博史，松井良樹，山根一秀，柏木平八郎，大津 格，川西宣裕，千葉俊也，忠願寺義通，松崎靖司，田中直見，大菅俊明：
肝癌を伴った皮膚筋炎の1例
第129回茨城県内科集談会（水戸），2月，1990
茨城県臨床医学雑誌，26：23, 1990
- No 2 綾邊健彦，夏田洋幹，赤間高雄，鈴木博史，松井良樹，山根一秀，柏木平八郎：
多彩な免疫学的異常を伴い，免疫芽球性リンパ節症が疑われた，多クローン性高 γ グロブリン血症の治療経験
第1回日本リウマチ学会関東地方会（東京），2月，1990
- No 3 鈴木博史，上村 潤，赤間高雄，松井良樹，山根一秀，柏木平八郎：
新しい自己抗体抗IL-1 α 抗体の定量法の確立と，慢性関節リウマチにおける解析
第34回日本リウマチ学会総会（大阪），5月，1990
- No 4 山根一秀，Goutam Pada Shome，綾邊健彦，赤間高雄，鈴木博史，松井良樹，柏木平八郎，鈴木信宏，宮内 卓，柳沢政史，後藤勝年，眞崎知生：
強皮症患者血漿中エンドセリン-1の上昇
第34回日本リウマチ学会総会（大阪），5月，1990

- No 5 綾邊健彦, 鈴木博史, 赤間高雄, 松井良樹, 山根一秀, 柏木平八郎 :
全身性エリテマトーデス (SLE) 患者血清中の抗 IL-1 α 自己抗体と異なる IL-1抑制因子
第34回日本リウマチ学会総会 (大阪), 5月, 1990
- No 6 松井良樹, 柴野孝一, 赤間高雄, 鈴木博史, 山根一秀, 柏木平八郎 :
活性化リンパ球表面抗原, Blast-1の遺伝子多形成と SLE との関連性
第34回日本リウマチ学会総会 (大阪), 5月, 1990
- No 7 赤間高雄, 坂内通宏, 加藤慎二郎, 竹村博之, 鈴木博史, 松井良樹, 山根一秀, 柏木平八郎 :
関節中におけるビトロネクチン・Plasminogen Activator Inhibitor-1複合体の存在
第34回日本リウマチ学会総会 (大阪), 5月, 1990
- No 8 鈴木博史, 上村 潤, 赤間高雄, 松井良樹, 山根一秀, 柏木平八郎 :
新しい自己抗体抗 IL-1 α 抗体の定量法の確立と慢性関節リウマチにおける解析
第34回日本リウマチ学会総会 (大阪), 5月, 1990
- No 9 平山浩一, 山根一秀, 由賀真司, 夏田洋幹, 綾邊健彦, 加藤慎二郎, 坂内通宏, 赤間高雄, 鈴木博史, 松井良樹, 柏木平八郎 :
リウマチ性多発筋 (PMR)・側頭動脈炎 (TA) 重複3症例の臨床的特徴
第18回日本臨床免疫学会総会 (東京), 6月, 1990
- No 10 夏田洋幹, 山根一秀, 綾邊健彦, 加藤慎二郎, 坂内通宏, 赤間高雄, 鈴木博史, 松井良樹, 柏木平八郎, 鈴木信宏, 宮内 卓, 柳沢政史, 眞崎知生 :
血漿エンドセリン-1上昇を伴った PSS の1例
第18回日本臨床免疫学会総会 (東京), 6月, 1990
- No 11 吉田 正, 綾邊健彦, 加藤慎二郎, 坂内通宏, 赤間高雄, 鈴木博史, 松井良樹, 山根一秀, 柏木平八郎 :
ステロイドパルス療法中にアナフィラキシー様反応を呈した自己免疫性溶血性貧血の1症例
第127回茨城県内科集談会 (水戸), 7月, 1989
茨城県臨床医学雑誌 26:5, 1990
- No 12 竹村博之, 成島勝彦, 仲本信也, 大野洋一, 滝田 節, 田中耕太郎, 小杉 譲, 吉澤繁男, 水谷正一, 柏木平八郎 :
金製剤により間質性肺炎を併発した慢性関節リウマチ (RA) の1例
第127回茨城県内科集談会 (水戸), 7月, 1989
茨城県臨床医学雑誌 26:1, 1990
- No 13 和田善之, 綾邊健彦, 加藤慎二郎, 坂内通宏, 赤間高雄, 鈴木博史, 松井良樹, 山根一秀, 柏木平八郎 :
多発性動脈閉鎖を主徴としたベーチェット病の1例
第127回茨城県内科集談会 (水戸), 7月, 1989
茨城県臨床医学雑誌 26:14, 1990

- No 14 竹村博之, 仲本信也, 大野洋一, 滝田 節, 成島勝彦, 田中耕太郎, 吉澤繁男, 西 雅明,
柏木平八郎:

腸管囊腫様気腫症を来した全身性エリテマトーデスの2症例

第127回茨城県内科集談会(水戸), 7月, 1989

茨城県臨床医学雑誌 26:23, 1990

- No 15 鈴木浩明, 夏田洋幹, 綾邊健彦, 赤間高雄, 鈴木博史, 松井良樹, 山根一秀,
柏木平八郎:

抗リン脂質抗体陽性で胸膜炎, 脳梗塞, 腎梗塞を呈した全身性エリテマトーデスの1
例

第12回茨城医学会内科分科会(水戸), 10月, 1990

- No 16 鈴木浩明, 深山茂樹, 夏田洋幹, 綾邊健彦, 赤間高雄, 鈴木博史, 松井良樹, 山根一秀,
柏木平八郎:

抗リン脂質抗体陽性で脳梗塞, 腎梗塞を呈した全身性エリテマトーデスの1例

第131回茨城内科集談会(第12回茨城医学会内科分科会)(水戸), 10月, 1990

- No 17 鈴木博史, 竹村博之, 綾邊健彦, 赤間高雄, 山根一秀, 柏木平八郎:

中和活性を有する抗IL-1 α 自己抗体の意義と, その免疫学的解析

第20回日本免疫学会総会(東京), 11月, 1990

- No 18 綾邊健彦, 夏田洋幹, 赤間高雄, 鈴木博史, 松井良樹, 山根一秀, 柏木平八郎:

多彩な免疫学的異常を伴い, 免疫芽球性リンパ節症が疑われた, 多クローン性高グロ
ブリン血症の治療経験

第1回日本リウマチ学会関東支部学術集会(東京), 12月, 1990

- No 19 大谷浩司, 綾邊健彦, 夏田洋幹, 赤間高雄, 鈴木博史, 松井良樹, 山根一秀,
柏木平八郎:

化膿性心外膜炎を合併したSLEの1症例

第1回筑波大学内科集談会(つくば) 12月, 1990

- No 20 青木泰子, 柏木平八郎:

MRSAに対する抗菌薬療法の検討 III. 薬剤感受性の経時変化と連続分離症例の検討

Chemotherapy 39(3):284, 1990

- No 21 青木泰子, 柏木平八郎, 林 英生:

MRSAに対する抗菌薬療法の検討 IV. 接種菌量の変化が抗菌薬の殺菌に及ぼす影響

Chemotherapy 39(5):525, 1990

班研究報告

- No 1 柏木平八郎, 鈴木博史, 上村 潤, 綾邊健彦:

SLE患者血清中の抗IL-1 α 自己抗体と, その他のサイトカイン抑制因子

厚生省特定疾患自己免疫疾患調査研究班

平成元年度研究報告書:98-100, 3月, 1990

- No 2 柏木平八郎, 綾邊健彦, 加藤慎二郎, 坂内通宏 :
多発性筋炎に合併した間質性肺炎 2 症例の治療経験
厚生省特定疾患自己免疫疾患調査研究班集
平成元年度研究報告書 : 190-192, 3 月, 1990
- No 3 柏木平八郎 :
RGD 蛋白質をはじめとする細胞接着因子の機能と臨床応用に関する総合的研究
平成元年度文部省科学研究費補助金 (総合研究 A)
研究成果報告書, 12-14, 1990
- No 4 真崎知生, 長谷川鎮雄, 浅井克晏, 久保武士, 三井利夫, 菊地祐二, 有田秀穂, 高田 彰,
河野一郎, 斉藤重行, 榊原 謙, 佐々木順子, 重光貞彦, 村井 正 :
AV 教育と CAI 教材を効果的に取り入れた新しい医学教育カリキュラムの構築
医学教育研究助成成果報告書 : 80-91, 1990
- その他
- No 1 柏木平八郎 :
成人 Still 病の臨床
Medical Tribune : 46-47, 1990
- No 2 柏木平八郎 :
特別講演 - R A に対する薬物療法の最近の動向
兵庫県リウマチ学術講演会 (神戸), 2 月, 1990
- No 3 柏木平八郎 :
特別講演 - 「膠原病の最近の動向」成人発症 Still 病の臨床
第22回岩手アレルギー懇話会 (盛岡), 3 月, 1990
- No 4 柏木平八郎 :
リウマチの内科治療 - 最近の動向
茨城県整形外科医会教育研修講演会 (つくば), 3 月, 1990
- No 5 柏木平八郎 :
『話題の医学』不明熱の症例
東京テレビ 9 月 2 日, 1990
- No 6 柏木平八郎 :
不明熱の臨床 (リウマチ性疾患を中心として)
第 6 回多摩リウマチ研究会 (杏林大学), 10 月, 1990

1991年（リウマチ・アレルギーグループ）

原 著

- No 1 Goutam Pada Shome and Kazuhide Yamane :
Decreased release of leukotriene B₄ from monocytes and polymorphonuclear leukocytes in patients with systemic lupus erythematosus.
Jpn J Allergol 40(1) : 72-81, 1991
- No 2 綾辺健彦, 山根一秀, 夏田洋幹, 赤間高雄, 鈴木博史, 柏木平八郎 :
抗カルジオリピン抗体陽性で僧帽弁狭窄, 脳梗塞, 左腎梗塞, 左下肢血栓症を伴った全身性エリテマトーデスの1例
リウマチ科 6(1) : 76-81, 1991
- No 3 Kazuhide Yamane, Heihachiro Kashiwagi, Nobuhiro Shzuki, Takashi Miyauchi, Masashi Yanagisawa, Katsutoshi Goto, Tomoh Masaki :
Elevated plasma levels of endothelin-1 in systemic sclerosis.
Arthritis Rheum 34(2) : 243-244, 1991
- No 4 竹村博之, 坂内通宏, 鈴木雅美, 加藤慎二郎, 松村高幸, 湯原孝典, 鈴木博史, 河野一郎, 松井良樹, 山根一秀, 柏木平八郎 :
腎血腫と手指・足趾の壊疽で発症し早期治療に成功した多発動脈炎の1症例
日本臨床免疫学会誌 14(2) : 238-244, 1991
- No 5 H. Suzuki, T. Ayabe, J. Kamimura and H. Kashiwagi :
Anti-IL-1 α autoantibodies in patients with rheumatic disease and in healthy subjects.
Clin exp Immunol 85 : 407-412, 1991
- No 6 夏田洋幹, 村木 靖, 小林敏貴, 小島 寛, 渋谷 彰, 長沢俊郎, 阿部 帥 :
禿頭, 巨大頭部腫瘤, 広範な頭蓋骨破壊を伴ったリンパ腫型成人 T 細胞白血病の1例
臨床血液 32(5) : 537-541, 1991
- No 7 K. Yamane, G. P. Shome, T. Akama, H. Suzuki, Y. Matsui and H. Kashiwagi :
Clinical features of patients with mild sustemic lupus erythematosus.
Scand J Rheumatol 20(6) : 397-405, 1991
- No 8 塩川優一, 松井良樹, 河野一郎, 柏木平八郎, 鈴木博史, 山根一秀, 井上 治,
他118名 :
慢性関節リウマチに対する E-0710 の長期投与試験成績
薬理と治療 17(7) : 3245-3266, 1991
- No 9 坂内通宏, 山根一秀, 赤間高雄, 鈴木博史, 柏木平八郎 :
慢性関節リウマチに合併した血行性と考えられる化膿性関節炎—早期診断で完全治癒した症例
リウマチ科 6(4) : 334-338, 1991

- No 10 **青木泰子, 柏木平八郎:**
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA) 抗菌薬感受性の変化—最近20か月の経時的推移—
Chemotherapy 39(6): 570-576, 1991
- No 11 河野一郎, 三輪泰子, 斉藤武利, 柵木聖也, 三輪一義, 和久貴洋, 下篠仁志, 松田光夫, 宮永 豊, 赤間高雄, 飯田 要, 福林 徹, 目崎 登, 杉下靖郎, 林 浩一郎, 栃堀申二, 江田昌佑:
スポーツ選手のためのメディカルチェック・システムの構築
筑波大学体育科学系紀要 14: 285-291, 1991
- 総 説**
- No 1 **柏木平八郎:**
最終診断のつかない不明熱
Journal of Internal Medicine 1(2): 177-178, 1991
- No 2 松村高幸, 柏木平八郎:
新展開期を迎えるリウマチの治療 (Ⅱ) ここが知りたい Q & A —胃, 肝, 腎に合併症がある時の薬物療法はどのようにしますか?
治療 73(4): 799-802, 1991
- No 3 湯原孝典, 飯塚儀明, 赤間高雄, 中井利昭, 柏木平八郎:
Ⅵ. 抗原抗体 7. CRP
総合臨床 40: 1550-1553, 1991
- No 4 赤間高雄, 柏木平八郎:
悪性関節リウマチの病態把握とその治療法は?
Medical Practice 8(7): 1093-1096, 1991
- No 5 **青木泰子:**
質疑応答 頻回の発熱・咽頭痛への対策
Medical Journal 3489: 140-141, 1991
- No 6 森 真由美, 青木泰子, 嶋田裕之, 木田厚瑞, 平井真希子, 黒沢晋一郎, 佐藤忠浩, 深山牧子, 川上睦美:
CPC 急速な汎血球減少/進行例
Geriatric Medicine 29(8): 1186-1198, 1991
- No 7 湯原孝典, 柏木平八郎:
いわゆる不明熱 (FUO)
臨床看護 17(14): 2050-2053, 1991
- No 8 夏田洋幹, 柏木平八郎:
日常診療におけるリウマチ・膠原病症状からの鑑別診断—筋症状から
リウマチ科 6(3): 218-223, 1991
- No 9 **鈴木博史:**
抗 IL-1 抗体と慢性関節リウマチ抗 IL-1 抗体による IL-1 活性の調節
医学のあゆみ 156(10): 682, 1991

- No 10 柏木平八郎：
質疑応答- RA に対するステロイド・金製剤の使い方
Medical Journal 3508 : 131-132, 1991
- No 11 湯原孝典, 柏木平八郎：
鎮痛, 解熱薬
臨床医 17 : 617-623, 1991
- No 12 竹村博之, 柏木平八郎：
ステロイド性骨粗鬆症と慢性関節リウマチ
リウマチ科 5(1) : 28-34, 1991
- No 13 山根一秀：
強皮症とエンドセリン
医学のあゆみ 158(4) : 199-200, 1991
- No 14 夏田洋幹, 柏木平八郎：
薬物療法 manual (下巻) IV. 疾患別薬物療法 S. 整形外科領域疾患-再発性多発軟
骨炎 Relapsing polychondritis
日本臨床 49 : 1288-1290, 1991
- No 15 綾辺健彦, 柏木平八郎：
薬物療法 manual (下巻) IV. 疾患別薬物療法 K. 膠原病および類縁疾患-成人発症
Still 病 Adult onset Still's disease.
日本臨床 49 : 935-937, 1991
- No 16 柏木平八郎：
不明熱の臨床
東京内科医会誌 7(2) : 136-138, 1991
- No 17 鈴木博史, 柏木平八郎：
抗サイトカイン自己抗体と炎症
日本炎症学会雑誌「炎症」 11(5) : 415-420, 1991
- No 18 青木泰子：
リケッチア・スピロヘータと院内感染
治療学 25(5) : 519-522, 1991
- No 19 青木泰子：
免疫不全症と感染症の治療
Medicina 28(10) : 1784-1789, 1991
- No 20 柏木平八郎：
I. 診断の進歩：膠原病類縁疾患 9. 治療方針の決定とフォローアップ
日本内科学会雑誌 80(11) : 1762-1765, 1991
- No 21 柏木平八郎：
II. 症状による内科救急患者の診断と治療 8. 高熱
日本内科学会雑誌 80(12) : 1931-1933, 1991

- No 22 **鈴木博史**：
サイトカインに対する自己抗体の意義
臨床免疫 23(12)：1800-1804, 1991
- No 23 **鈴木博史**：
サイトカインと免疫応答の調節
臨床検査 35(12)：44-47, 1991
- No 24 **山根一秀, 土屋 滋**：
在宅医療-難病対策
臨床成人病 21(11)：2005-2010, 1991
- No 25 **鈴木博史**：
内皮細胞とサイトカイン-内皮細胞の活性化を中心として
現代医療 23(11)：3111-3114, 1991
- No 26 **柏木平八郎**：
膠原病と感染症
医学のあゆみ 159(7)：443-444, 1991
- No 27 **柏木平八郎**：
学会記-リウマチ学会
日本医事新報 3506：45-47, 1991

著 書

- No 1 **Hiroshi Suzuki, and Heihachiro Kashiwagi**：
Molecular biology of cytokine effects on vascular endothelial cells.
Molecular Cell Pathology. International Review of Experimental Pathology.
(G. W. Richter, Kim Soletz), Academic Press, San Diego, 32：95-148, 1991
- No 2 **青木泰子**：
院内感染を起こす病原微生物の知識
院内感染防止マニュアル (小林寛伊 編)
照林社 (東京), pp. 16-24, 1991

学会発表

- No 1 仁木祐子, 夏田洋幹, 綾辺健彦, 赤間高雄, 鈴木博史, 山根一秀, 柏木平八郎：
ビュルガー病と慢性関節リウマチの併発例
第132回茨城内科集談会 (土浦), 2月, 1991
- No 2 赤間高雄, 成島勝彦, 坂内通宏, 大滝純司, 柏木平八郎, 喜多尾浩代, 河野一郎：
減量に伴う免疫機能の変化-血漿フィブロネクチンの検討-
第1回日本臨床スポーツ医学会総会
臨床スポーツ医学 8：110-111, 1991
- No 3 鈴木博史, 竹村博之, 赤間高雄, 山根一秀, 柏木平八郎：
リウマチ性疾患における抗サイトカイン抗体
第88回日本内科学会講演会 (京都), 4月, 1991

- No 4 ショム ゴウタム パダ, 山根一秀, 柏木平八郎:
SLE 患者末梢血単球と多核白血球によるロイコトリエン B₄ 遊離能の低下とその免疫学的意義
第35回日本リウマチ学会総会 (東京), 4 月, 1991
- No 5 宮坂伸之, 鈴木博史:
サイトカイン・インヒビター
第35回日本リウマチ学会総会 (東京), 4 月, 1991
リウマチ 31(6): 633, 1991
- No 6 鈴木博史, 柏木平八郎:
サイトカインに対する自己抗体
第35回日本リウマチ学会総会 (東京), 4 月, 1991
リウマチ 31(6): 634, 1991
- No 7 竹村博之, 鈴木博史, 赤間高雄, 山根一秀, 柏木平八郎:
強皮症患者血清中に多く見いだされた抗 IL-6 自己抗体について
第35回日本リウマチ学会総会 (東京), 4 月, 1991
リウマチ 31(6): 700, 1991
- No 8 赤間高雄, 綾辺健彦, 夏田洋幹, 竹村博之, 河野一郎, 鈴木博史, 山根一秀, 柏木平八郎:
ビトロネクチンのカルジオリピン結合性
第35回日本リウマチ学会総会 (東京), 4 月, 1991
リウマチ 31(6): 743, 1991
- No 9 山根一秀, ショム ゴウタム パダ, 夏田洋幹, 綾辺健彦, 赤間高雄, 鈴木博史, 松井良樹, 柏木平八郎, 鈴木信宏, 宮内 卓, 眞崎知生:
強皮症の病態におけるエンドセリン-1 の意義
第35回日本リウマチ学会総会 (東京), 4 月, 1991
リウマチ 31(6): 794, 1991
- No 10 夏田洋幹, 綾辺健彦, 赤間高雄, 鈴木博史, 山根一秀, 柏木平八郎:
心不全症状を伴う感染性心外膜炎を合併した SLE の 2 症例
第35回日本リウマチ学会総会 (東京), 4 月, 1991
リウマチ 31(6): 806, 1991
- No 11 青木泰子, 夏田洋幹, 綾辺健彦, 柏木平八郎:
自己免疫疾患に合併した黄色ブドウ球菌感染症—臨床像と抗菌薬療法に関する検討
第65回日本感染症学会総会 (大阪), 4 月, 1991
感染症学雑誌 65(8): 1045, 1991
- No 12 湯原孝典, 夏田洋幹, 竹村博之, 赤間高雄, 鈴木博史, 山根一秀, 柏木平八郎:
全身性エリテマトーデスにおける発熱の鑑別について
第19回日本臨床免疫学会総会 (長崎), 6 月, 1991
- No 13 夏田洋幹, 湯原孝典, 赤間高雄, 鈴木博史, 山根一秀, 柏木平八郎:
MCTD・SLE における非ステロイド性抗炎症薬起因性髄膜炎の特徴
第19回日本臨床免疫学会総会 (長崎), 6 月, 1991

- No 14 林 英生, キン・ニューエ・ウー, 青木泰子 :
消毒剤の効果に及ぼす有機物の影響
第7回 Lister Club 学術集会 (東京), 6月, 1991
第7回 Lister Club 学術集会記録 pp. 19-25, 1991
- No 15 斉藤知栄, 夏田洋幹, 大塚盛男, 湯原孝典, 赤間高雄, 鈴木博史, 山根一秀, 柏木平八郎 :
Boop (Bronchiolitis obliterans organizing pneumonia) と思われる肺病変を伴った慢性関節リウマチの1例
第133回茨城内科集談会 (日立), 6月, 1991
- No 16 Y. Aoki, H. Kashiwagi, H. Hayashi :
Time-dependency of Bactericidal Effect of Vancomycin (VCM) against
Methicilline-resistant *Staphylococcus aureus* (MRSA)
17th International Congress of Chemotherapy (Berlin), June, 1991
- No 17 青木泰子, 柏木平八郎, 林 英生 :
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA) に対する抗菌薬療法の検討—感受性抗菌薬の殺菌力の比較と vancomycin (VCM) 投与の基礎的検討
第36ブドウ球菌研究会 (東京), 9月, 1991
臨床と微生物 19(3):374, 1992
- No 18 斉藤知栄, 夏田洋幹, 湯原孝典, 赤間高雄, 鈴木博史, 山根一秀, 柏木平八郎 :
メトトレキサート (MTX) が著効を奏した強直性脊椎炎 (AS) の1例
第404回日本内科学会関東地方会 (つくば市), 10月, 1991
日本内科学会関東地方会抄録集 3:136, 1991
- No 19 青木泰子, 柏木平八郎, 林 英生 :
MRSA に対する抗菌薬療法の検討 V. vancomycin (VCM), arbekacin (ABK), rifampicin (RFP) の殺菌力の比較
第40回日本感染症学会東日本地方会総会・第38回日本化学療法学会東日本支部総会
合同学会 (札幌), 10月, 1991
Chemotherapy 40(4):556, 1992
- No 20 竹村博之, 鈴木博史, 吉崎和幸, 緒方 篤, 湯原孝典, 赤間高雄, 山根一秀, 柏木平八郎 :
強皮症患者血清中の抗 IL-6 自己抗体による IL-6 活性の制御
第21回日本免疫学会総会 (熊本), 11月, 1991
- No 21 夏田洋幹, 湯原孝典, 赤間高雄, 鈴木博史, 山根一秀, 柏木平八郎 :
免疫抑制剤を使用した慢性関節リウマチ患者の臨床的特長
日本リウマチ学会第2回関東地方会 (横浜), 12月, 1991
- No 22 湯原孝典, 夏田洋幹, 竹村博之, 赤間高雄, 鈴木博史, 山根一秀, 柏木平八郎 :
慢性関節リウマチ患者に対するメトトレキサート長期投与に関する検討
日本リウマチ学会第2回関東地方会 (横浜), 12月, 1991

その他

- No 1 柏木平八郎：
不明熱の臨床
千葉市医師会学術講演会（千葉），4月，1991
千葉市医師会だより 242：pp. 22-36，1991
- No 2 柏木平八郎：
V. 感染症－3. 不明熱
平成3年度日本内科学会生涯教育講演会（福岡），7月，1991
- No 3 柏木平八郎：
慢性関節リウマチ内科的治療の新しい考え方
第4回内科セミナー特別講演（京都），8月，1991
- No 4 柏木平八郎：
不明熱
日本内科学会生涯教育講演会（大阪），8月，1991
- No 5 青木泰子：
MRSA 院内感染の現状と対策
埼玉医科大学附属病院院内感染対策委員会講演会（埼玉），9月，1991
- No 6 柏木平八郎：
エイズについての諸問題
土浦医師会10月例会（土浦），10月，1991
- No 7 柏木平八郎：
「プライマリ・ケア医のための発熱へのアプローチ－問診，理学的検査のこつ－」
下館医師会研修会（下館市），11月，1991

班研究報告

- No 1 柏木平八郎，青木泰子：
自己免疫疾患に合併した黄色ブドウ球菌感染症の4例－その病像と抗菌薬療法の検討
厚生省特定疾患自己免疫疾患調査研究班平成2年度報告書
pp. 168-170，1991
- No 2 柏木平八郎，山根一秀：
PSSの病態におけるエンドセリンの意義
厚生省特定疾患自己免疫疾患調査研究班平成2年度報告書
pp. 154-158，1991
- No 3 小林寛伊，青木泰子，大橋真理子，菅野治重，斉藤重臣，妙中伸之，千種弘章，
番場和夫：
国立大学病院における院内感染予防対策（案）
国立大学病院における院内感染予防対策等の検討会，1991
- No 4 小林寛伊，千種弘章，妙中伸之，菅野治重，青木泰子：
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌（MRSA）院内感染対策に関する研究
平成2年度科学研究費（総合研究(A)）研究成果報告書，1991

No 5 柏木平八郎：

全身性エリテマトーデス (SLE) の病態別治療指針－Ⅱ

SLE の治療法【4】合併症の対策 1. 感染症 2. 無血管性骨壊死 3. 骨粗鬆症
Ⅲ病態診断と病態別治療法【1】軽症 SLE【4】心病変【5】漿膜炎

厚生省特定疾患自己免疫疾患調査研究班, 1991

pp. 14, 15-17, 30-32, 32-33

1992年（リウマチ・アレルギーグループ）

原 著

- No 1 Hiromiki Natsuda, **Yoshiki Matsui**, Michihiro Sakauchi, Shinjiro Kato,
Hiroyuki Takemura, **Hiroshi Suzuki**, Ichiro Kono, **Kazuhide Yamane** and
Heihachiro Kashiwagi :
Progressive Systemic Sclerosis Complicated with Immune Thrombocytopenia during
D-penicillamine Therapy
Internal Medicine 31(2) : 244-245, 1992
- No 2 **Takamichi Yuhara**, Michihiro Sakauchi, **Takao Akama**, **Hiroshi Suzuki**,
Kazuhide Yamane and **Heihachiro Kashiwagi** :
Sjögren's Syndrome with Hydronephrosis Caused by Pseudolymphoma
Internal Medicine 31(4) : 474-477, 1992
- No 3 Masaya Yamaguchi, Akihide Ohta, Tokugoro Tsunematsu, Reiji Kasukawa,
Yutaka Mizushima, **Heihachiro Kashiwagi**, Sadao Kashiwazaki, Kiyoaki Tanimoto,
Yoshifuji Matsumoto, Toshiyuki Ota and Masashi Akizuki :
Preliminary Criteria for Classification of Adult Still's Disease
J Rheumatol 19 : 424-430, 1992
- No 4 Hiroyuki Takemura, **Hiroshi Suzuki**, Kazuyuki Yoshizaki, Atsushi Ogata,
Takamichi Yuhara, **Takao Akama**, **Kazuhide Yamane**, and **Heihachiro Kashiwagi** :
Anti-Interleukin-6 Autoantibodies in Rheumatic Diseases - Increased Frequency in the
Series of Patients with Systemic Sclerosis -
Arthritis Rheum 35(8) : 940-943, 1992
- No 5 **Kazuhide Yamane**, **Takashi Miyauchi**, Nobuhiro Suzuki, **Takamichi Yuhara**,
Takao Akama, **Hiroshi Suzuki** and **Heihachiro Kashiwagi** :
Significance of Plasma Endothelin-1 Levels in Patients with Systemic Sclerosis
J. Rheumatol 19(10) : 1566-1571, 1992
- No 6 湯原孝典, 夏田洋幹, 竹村博之, 赤間高雄, 鈴木博史, 山根一秀, 柏木平八郎 :
全身性エリテマトーデス患者における感染症の危険因子
日本臨床免疫学会誌 15(5) : 431-439, 1992
- No 7 Yukiko Naito, Toru Baba, **Hiroshi Suzuki** and Kenichi Uyeno :
The Antagonistic Effect of Interferon- β on the Interferon- γ -Induced Expression of
HLA-DR Antigen in a Squamous Cell Carcinoma Line
J. Exp. Pathol 6(2) : 75-87, 1992
- No 8 青木弘道, 本間敏明, 角 昌晃, 陶山時彦, 井上雅樹, 斉藤武文, 柏木平八郎,
長谷川鎮雄 :
ヘモグロビン量補正を含むDLCO/VAの予測式の検討
日本臨床生理学会雑誌 22(5) : 371-379, 1992

- No 9 齊藤知榮, 山根一秀, 夏田洋幹, 大塚盛男, 柏木平八郎:
Bronchiolitis obliterans organizing pneumonia (BOOP) と考えられる肺病変を伴った
慢性関節リウマチの1例
リウマチ科 7(6):467-472, 1992
- No 10 Yasuko Aoki and Heihachiro Kashiwagi:
Bactericidal activity of vancomycin against methicillin-resistant *Staphylococcus aureus*
(MRSA)-Comparison with minocycline and ofloxacin with in therapeutic levels, and
factors determining their efficacy-
CHEMOTHERAPY 40(8):997-1004, 1992
- No 11 松井良樹, 高橋和子, 杉山真由美, 福島 敬, 須磨崎 亮, 滝田 齊, 阿部 帥:
輸血歴のない小児 ALL に認められた抗K1抗体
日本輸血学会雑誌 338:712-715, 1992
- 総 説
- No 1 柏木平八郎:
不明熱
日本内科学会雑誌 81(3):444-446, 1992
- No 2 鈴木博史:
IL-1 レセプター・アンタゴニストの臨床的応用の可能性
臨床免疫 24(2):263-266, 1992
- No 3 鈴木博史, 竹村博之:
IL-1,6 インヒビター
臨床免疫24(5):619-623, 1992
- No 4 湯原孝典, 柏木平八郎:
鎮痛・解熱剤
総合臨床 41:1017-1019, 1992
- No 5 竹村博之, 柏木平八郎:
膠原病類縁疾患とその鑑別診断
Modern Physician 12(4):495-499, 1992
- No 6 柏木平八郎:
不明熱—その背景と基礎疾患の変遷
感染症 22(4):129-135, 1992
- No 7 鈴木博史:
サイトカインの面から(サイトカイン, 抗サイトカイン抗体, サイトカイン・アンタ
ゴニスト, 可溶性サイトカイン・レセプターなど)
臨床免疫 24(9):1234-1238, 1992
- No 8 夏田洋幹, 柏木平八郎:
免疫的検査法とその利用
Medicina 29(12):2034-2038, 1992

- No 9 湯原孝典, 柏木平八郎:
Henoch-Schönlein 紫斑病
リウマチ科 8(4):209-214, 1992
- No 10 夏田洋幹, 柏木平八郎:
抗核抗体(蛍光抗体法)
リウマチ科 7(5):383-390, 1992
- No 11 Heihachiro Kashiwagi, Hiroshi Suzuki:
Specific Cytokine Regulators and Their Therapeutic Potentials - An Overview
Internal Medicine 31(11):1245-1249, 1992
- No 12 赤間高雄:
どのような症例に自己免疫疾患を考慮するか
Medicina 29(12):2046-2048, 1992
- No 13 青木泰子:
注射用バンコマイシン認可後のMRSA感染症-治療法の変化と分離状況の現状を中心-
Infection Control 1:335-339, 1992
- No 14 青木泰子:
compromised hostにおける感染症-MRSA感染症
Vita 19(3):18-21, 1992
- No 15 青木泰子:
化学療法剤の使い方MRSA感染症
クリニカ 19(3):182-187, 1992
- No 16 青木泰子:
理想的な微生物検査のあり方-臨床に役立つ微生物検査
メディヤサークル 37:351-356, 1992
- No 17 青木泰子:
他科から産婦人科へのアドバイス-emergencyを有する患者の対策敗血症
産科と婦人科 59 suppl:58-61, 1992

著書

- No 1 柏木平八郎:
3 多発性筋炎, 皮膚筋炎
臨床アレルギー学-アレルギー専門医・認定医研修のために(宮本昭正 監修
牧野莊平, 馬場 實, 奥田 稔, 三河春樹, 廣瀬俊一, 吉田彦太郎, 木暮文雄,
伊藤幸治 編)
南光堂, 東京, pp 469-471, 1992
- No 2 柏木平八郎:
発熱
臨床内科医マニュアル(阿部正和, 高久史磨 監修)
医学書院, 東京, pp 46-49, 1992

No 3 湯原孝典, 柏木平八郎:

SLEにおける発熱の鑑別について

Medical Topics Series リウマチ'92 (柏崎禎夫 監修 橋本博史, 新名正由, 編集)

メディカルレビュー社, 東京, pp 100-107, 1992

No 4 赤間高雄:

I-4. スポーツと感染

スポーツ外来ハンドブック (筑波大学スポーツクリニック 編者)

南光堂, 東京, pp 40-45, 1992

学会発表

No 1 小林寛伊, 菅野治重, 妙中信之, 千種弘章, 青木泰子:

国立大学病院における MRSA の検出状況

第7回日本環境感染学会総会 (福岡), 2月, 1992

環境感染 66:1347, 1992

No 2 久原 真, 夏田洋幹, 胡居郁朗, 湯原孝典, 赤間高雄, 鈴木博史, 山根一秀,

柏木平八郎:

エコーウイルスによると考えられる良性急性筋炎の1例

第135回茨城内科集談会 (水戸), 3月, 1992

No 3 柏木平八郎, 西崎 統:

Ⅲ症例から学ぶセミナー診断へのアプローチと落とし穴-司会のことば

第89回日本内科学会講演会 (東京), 4月, 1992

日本内科学会雑誌 81:90, 1992

No 4 青木泰子, 柏木平八郎:

感染症診療におけるコンサルテーションの現況-筑波大学附属病院での4年間の症例の解析

第66回日本感染症学会総会 (東京), 4月, 1992

感染症学雑誌 66:1347, 1992

No 5 青木泰子, 柏木平八郎, 林 英生:

MRSAに対する抗菌薬療法の検討-Ⅳ Rifampicin (RFP) の単独, および併用時の殺菌力の評価

第41回日本化学療法学会総会 (名古屋), 5月, 1992

Chemotherapy 41:301-302, 1992

No 6 湯原孝典, 藤本 香, 夏田洋幹, 竹村博之, 赤間高雄, 鈴木博史, 山根一秀,

柏木平八郎:

慢性関節リウマチ患者の骨関節X線所見の進行に及ぼすメトトレキサートの効果

第36回日本リウマチ学会総会 (舞浜), 5月, 1992

No 7 鈴木博史, 竹村博之, 湯原孝典, 赤間高雄, 山根一秀, 柏木平八郎:

膠原病における抗サイトカイン自己抗体について

第36回日本リウマチ学会総会 (舞浜), 5月, 1992

- No 8 夏田洋幹, 湯原孝典, 赤間高雄, 鈴木博史, 山根一秀, 柏木平八郎:
骨髓造血細胞異型性を呈した膠原病3症例の臨床的特徴
第36回日本リウマチ学会総会(舞浜), 5月, 1992
- No 9 赤間高雄, 坂内通宏, 夏田洋幹, 竹村博之, 湯原孝典, 鈴木博史, 山根一秀,
柏木平八郎:
SLEにおける抗カルジオリピン抗体の多様性
第36回日本リウマチ学会総会(舞浜), 5月, 1992
- No 10 安達里子, 鈴木博史, 竹村博之, 湯原孝典, 赤間高雄, 山根一秀, 柏木平八郎:
IL-1レセプターアンタゴニスト(IL-1ra) mRNAのサイトカインによる発現調節
第36回日本リウマチ学会総会(舞浜), 5月, 1992
- No 11 松井良樹, 杉山真由美, 高橋和子, 武山 実, 森 尚義, 草刈 潤, 阿部 帥:
放射線・化学療法後に抗Lewis抗体を認めた非輸血・咽頭癌の1例
第40回日本輸血学会総会(札幌), 6月, 1992
日本輸血学会雑誌 338:297, 1992
- No 12 赤間高雄, 白倉 寛, 高山貴久子, 河野一郎:
運動によるTNF α 産生の変化について
第47回日本体力医学会大会(山形), 9月, 1992
- No 13 白倉 寛, 河野一郎, 赤間高雄:
運動によるNatural Killer(NK)細胞活性の変動に関する研究
第47回日本体力医学会大会(山形), 9月, 1992
- No 14 藤本 香, 伴野朋裕, 夏田洋幹, 湯原孝典, 赤間高雄, 鈴木博史, 山根一秀,
柏木平八郎:
多発性筋炎・好酸球増多・高ガンマンガロブリン血症を伴った症例
第20回日本臨床免疫学会総会(大宮市), 9月, 1992
- No 15 夏田洋幹, 湯原孝典, 赤間高雄, 鈴木博史, 山根一秀, 柏木平八郎:
進行性全身性硬化症に合併した肺線維症の経過と予後予測因子
第20回日本臨床免疫学会総会(大宮市), 9月, 1992
- No 16 湯原孝典, 藤本 香, 夏田洋幹, 竹村博之, 赤間高雄, 鈴木博史, 山根一秀,
柏木平八郎:
全身性エリテマトーデス患者における感染症の危険因子
第20回日本臨床免疫学会総会(大宮市), 9月, 1992
- No 17 瀬尾吉広, 藤本 香, 夏田洋幹, 湯原孝典, 赤間高雄, 鈴木博史, 山根一秀,
柏木平八郎:
抜歯を契機として発症した腸管ベーチェット病の1例
第137回茨城県内科集談会(水戸市), 10月, 1992
- No 18 上村 潤, 柏木平八郎, 持立克身:
I型コラーゲンゲルに包埋した線維芽細胞に対するIII及びV型コラーゲンの影響
第65回日本生化学学会大会(福岡), 10月, 1992

- No 19 上村 潤, 柏木平八郎, 持立克身:
線維芽細胞に対するコラーゲンの型特異的な生存細胞数の低下防止作用
第65回日本生化学学会大会(福岡), 10月, 1992
- No 20 竹村博之, 鈴木博史, 吉崎和幸, 緒方 篤, 岸本忠三, 柏木平八郎:
抗IL-6自己抗体のIL-6の担体としての可能性
第22回日本免疫学会総会(名古屋), 11月, 1992
- No 21 安達里子, 鈴木博史, 竹村博之, 湯原孝典, 赤間高雄, 山根一秀, 柏木平八郎:
IL-1レセプターアンタゴニスト(IL-1ra)の産生制御機構とSLEにおけるその産生異常
第22回日本免疫学会総会(名古屋), 11月, 1992
- No 22 青木泰子, 柏木平八郎, 林 英生:
MRSAに対する抗菌薬療法の検討-VII arbekacin (ABK) 存在下のMRSAの再増殖について
第39回日本化学療法学会東日本支部総会(東京), 11月, 1992
Chemotherapy 41:619, 1992
- No 23 夏田洋幹, 藤本 香, 湯原孝典, 赤間高雄, 鈴木博史, 山根一秀, 柏木平八郎:
リウマチ性疾患に伴う末梢循環不全症に対する亜硝酸テープ製剤の有効性-第1報
第3回日本リウマチ学会関東地方会(大宮市), 12月, 1992
- No 24 渋井裕貴, 赤間高雄, 藤本 香, 夏田洋幹, 竹村博之, 湯原孝典, 鈴木博史, 山根一秀, 柏木平八郎:
梅毒の既往のある抗カルジオリピン抗体症候群の症例
第3回日本リウマチ学会関東地方会(大宮市), 12月, 1992
- No 25 赤間高雄, 柏木平八郎:
シンポジウム「抗リン脂質抗体症候群の病態と治療」
抗カルジオリピン抗体検出法について
第3回日本リウマチ学会関東地方会(大宮市), 12月, 1992
- No 26 青木泰子:
MRSA感染症の現状と対策
茨城外科集談会(特別講演)(つくば), 12月, 1992

班研究報告

- No 1 柏木平八郎, 竹村博之, 鈴木博史:
強皮症における抗インターロイキン6自己抗体
自己免疫疾患調査研究班(平成3年度研究報告書)
pp. 153-155, 1992

その他

- No 1 柏木平八郎:
健康自己管理のすすめ
つくばスチューデント 302(1):6-7, 1992

No 2 柏木平八郎：

AIDS時代を生きるー茨城県のエイズ問題

AIDS予防キャンペーンシンポジウム（筑波大），10月，1992年研究報告

No 3 青木泰子：

MRSA 感染症の問題点と対策

三鷹市医師会学術講演会（特別講演）（三鷹市），12月，1992

1993年（リウマチ・アレルギーグループ）

原 著

- No 1 久原 真, 山根一秀, 夏田洋幹, 湯原孝典, 鈴木博史, 柏木平八郎:
エコーウイスルによると考えられた良性急性筋炎の1例
リウマチ科 8(5), 1992 (1993発行)
- No 2 Kazuhide Yamane, Chie Saito, Hiromiki Natsuda, Takamichi Yuhara,
Takao Akama, Hiroshi Suzuki, Heihachiro Kashiwagi:
Ankylosing Spondylitis Successfully Treated with Methotrexate
Internal Medicine 32(1): 53-56, 1993
- No 3 清水喜八郎, 青木泰子, ほか27名:
Mupirocin 鼻腔用軟膏のMRSAに対する臨床的検討。
環境感染 8(2): 47-53, 1993
- No 4 水谷正一, 奥田諭吉, 塚原健一郎, 赤間高雄, 山下亀次郎:
高グルコースによる培養血管内皮細胞の機能変化とイコサペント酸(EPA)の効果
糖尿病大血管障害シンポジウム 2: 104-108, 1993
- No 5 柏木平八郎:
内科医のための関節の診察法
内科 71(3): 404-409, 1993

総 説

- No 1 鈴木博史:
特異的サイトカイン制御因子と抗サイトカイン療法
日本臨床免疫学会会誌 16(1): 1-10, 1993
- No 2 竹村博之, 柏木平八郎:
多発筋炎と皮膚筋炎 一予後は改善されたか一
リウマチ科 9(2): 91-96, 1993
- No 3 鈴木博史:
レセプターアンタゴニストと可溶性レセプター
造血因子 14(3): 71-78, 1993
- No 4 柏木平八郎, 斉藤輝信, 重本六男, 寺野 彰:
(座談会) 非ステロイド性抗炎症薬の上部消化管障害
一その臨床像と治療一
内科 71(3): 502-514, 1993
- No 5 柏木平八郎:
発熱
医学と薬学 29(3): 547-552, 1993
- No 6 山根一秀:
エンドセリン
検査と技術 21(4): 374-375, 1993

- No 7 柏木平八郎：
膠原病と不明熱
リウマチ33(5)：445-450, 1993
- No 8 鈴木博史：
抗サイトカイン療法の展望
医学のあゆみ167(5)：432-436, 1993
- No 9 湯原孝典, 柏木平八郎：
日常診療における高齢者ケア 発熱
総合臨床 42(7)：2221-2224, 1993
- No 10 青木泰子：
褥瘡感染に見られるMRSA感染症の病像
医学の歩み 166(7)：353-358, 1993
- No 11 鈴木博史, 柏木平八郎：
全身性エリテマトーデス・難病に挑むー病態解明と治療の最前線ー
nano GIGA 2(7)：145-149, 1993
- No 12 青木泰子：
抗生物質の選択と投与の基本-内科的予防的投与法
medicina 30(7)：1224-1225, 1993
- No 13 青木泰子：
mupirocin 鼻腔用軟膏
検査と技術 21(10)：847-848, 1993
- No 14 鈴木博史：
成人Still病
medicina 30(11)：1926-1928, 1993
- No 15 柏木平八郎：
不明熱ーその定義と基礎疾患ー
日常診療と血液 3(12)：1495-1498, 1993
- No 16 青木泰子：
不明熱と感染症
日常診療と血液 3(12)：1509-1514, 1993
- No 17 湯原孝典, 柏木平八郎：
最後まで診断がつかない不明熱ーどんな病気か, その予後はー
日常診療と血液 3(12)：1535-1538, 1993
- No 18 柏木平八郎：
不明熱ーその定義と基礎疾患ー
Practical Hematology 3(12)：7-10, 1993
- No 19 赤間高雄：
スポーツと関節傷害
内科 71：437-442, 1993

- No 20 山根一秀：
検査値のみかた C R P
臨床医 19 (増刊号)：541-542, 1993
- No 21 赤間高雄：
スポーツにおける A I D S 対策
指導者のためのスポーツジャーナル 163：32-34, 1993
- No 22 湯原孝典：
微熱の鑑別診断
日本医事新報 3590：142-143, 1993
- No 23 青木泰子：
M R S A 感染の化学療法。
クリニカ 21：76-81, 1993
- No 24 青木泰子：
M R S A 感染症の臨床ー内科
臨床と微生物 20(Suppl)：819-823, 1993
- No 25 鈴木博史：
サイトカインのインヒビター
Annual Review 免疫 77-84, 1993

著 書

- No 1 湯原孝典：
全身性エリテマトーデス患者における感染症の危険因子
Medical Topics Series リウマチ'93 (柏崎禎夫 監修, 新名正由, 橋本博史 編集)
メディカルレビュー社, 東京, pp112-120, 1993
- No 2 青木泰子：
M R S A 呼吸器感染症への対応 呼吸器疾患シリーズ IV
日常診療のための呼吸器感染症 (原沢道美編, 現代医療社) pp.110-112, 1993
- No 3 青木泰子：
感染症疾患患者の管理 (B/C 型肝炎, AIDS)
研修医ノート (永井良三ほか編, 診断と治療社) pp.437-439, 1993
- No 4 柏木平八郎：
リウマチ病の特徴と治療法 PART ー成人発症スチル病の治療法ー
からだの科学 (増刊) 柏崎 禎夫 先編：41-42, 1993
- No 5 柏木平八郎：
多発動脈炎
1993 今日の治療指針 (稲垣 義明, 多賀須幸男, 尾形悦郎 編)
医学書院 (東京) pp, 553-553, 1993
- No 6 柏木平八郎：
炎症性腸疾患に合併する関節炎
新臨床内科学 第6版 (高久史磨, 尾形悦郎 監修)
医学書院 (東京) pp.1401-1401, 1993

- No 7 柏木平八郎：
変形性関節炎（骨関節炎）
新臨床内科学 第6版（高久史磨，尾形悦郎 監修）
医学書院（東京）pp,1401-1402, 1993
- No 8 柏木平八郎：
肥大性骨関節症
新臨床内科学 第6版（高久史磨，尾形悦郎 監修）
医学書院（東京）pp,1402-1403, 1993
- No 9 柏木平八郎：
再発性多発軟骨炎
新臨床内科学 第6版（高久史磨，尾形悦郎 監修）
医学書院（東京）pp,1403-1404, 1993
- No 10 柏木平八郎：
血栓症血小板減少性紫斑病
新臨床内科学 第6版（高久史磨，尾形悦郎 監修）
医学書院（東京）pp,1404-1404, 1993
- No 11 柏木平八郎：
クリオグロブリン血症
新臨床内科学 第6版（高久史磨，尾形悦郎 監修）
医学書院（東京）pp,1404-1405, 1993
- No 12 柏木平八郎：
Weber-Christian 病
新臨床内科学 第6版（高久史磨，尾形悦郎 監修）
医学書院（東京）pp,1405-1405, 1993
- No 13 柏木平八郎：
結節性紅斑
新臨床内科学 第6版（高久史磨，尾形悦郎 監修）
医学書院（東京）pp,1405-1406, 1993
- No 14 柏木平八郎：
結晶誘発性関節炎（痛風，偽痛風）
新臨床内科学 第6版（高久史磨，尾形悦郎 監修）
医学書院（東京）pp,1406-1408, 1993
- No 15 柏木平八郎：
膠原病の臨床検査
最新内科学体系 24（井村裕夫，尾形悦郎，高久史磨，垂井清一郎 編）
中山書店（東京）pp,26-33, 1993

学会発表

- No 1 青木泰子, 柏木平八郎:
vancomycin, arbekacin 導入後のMRSA感染症の実態
第67回日本感染症学会総会(東京), 4月
(感染症学会誌 67(9):907) 1993
- No 2 山根一秀, 湯原孝典, 赤間高雄, 鈴木博史, 柏木平八郎:
強皮症の病態におけるエンドセリン-1の意義
第90回日本内科学会講演会(岡山), 4月, 1993
- No 3 湯原孝典, 竹村博之, 赤間高雄, 鈴木博史, 山根一秀, 柏木平八郎:
全身性エリテマトーデス患者における症候の出現パターン
第37回日本リウマチ学会総会(名古屋), 5月, 1993
- No 4 赤間高雄, 遠藤 香, 竹村博之, 湯原孝典, 鈴木博史, 山根一秀, 柏木平八郎:
血栓症を伴い、抗カルジオリピン抗体価が $\beta 2$ -glycoprotein 添加で低下したSLEの1例
第37回日本リウマチ学会総会(名古屋), 5月, 1993
- No 5 赤間高雄, 渋井裕貴, 遠藤 香, 竹村博之, 湯原孝典, 鈴木博史, 山根一秀, 柏木平八郎:
抗 $\beta 2$ -glycoprotein 抗体の検出とその意義
第37回日本リウマチ学会総会(名古屋), 5月, 1993
- No 6 竹村博之, 鈴木博史, 湯原孝典, 赤間高雄, 山根一秀, 柏木平八郎:
強皮症におけるIL-1の関与について
第37回日本リウマチ学会総会(名古屋), 5月, 1993
- No 7 鈴木博史, 竹村博之, 湯原孝典, 赤間高雄, 山根一秀, 柏木平八郎:
SLE患者におけるIL-1ra(レセプター アンタゴニスト)の血中動態
第37回日本リウマチ学会総会(名古屋), 5月, 1993
- No 8 鈴木博史, 竹村博之, 湯原孝典, 赤間高雄, 山根一秀, 柏木平八郎:
熱ショックのIL-1ra(レセプターアンタゴニスト)の産生亢進作用について
第37回日本リウマチ学会総会(名古屋), 5月, 1993
- No 9 Yasuko Aoki, Yayoi Yamauti, Hideo Hayashi, Heihachiro Kashiwagi:
Re-growth of methicillin-resistant Staphylococcus aureus (MRSA) in arbekacin (ABK)-containing medium. 18th International Congress of Chemotherapy (Stockholm)
Recent Advances in Chemotherapy: 217-218, June 1993
- No 10 鈴木博史, 竹村博之, 柏木平八郎:
強皮症患者に出現する抗IL-6自己抗体の意義
ワークショップ1 結合組織疾患研究の新展開
第25回結合組織学会総会(大阪), 6月, 1993
- No 11 杉浦弘一, 河野一郎, 和久貴洋, 赤間高雄, 牧真一, 白井克佳, 高山貴久子, 古川拓生, 前田清司, 佐藤かおる, 三輪一義, 柿山哲治, 林栄輔, 時松陽介, 小沢聡, 齊藤実, 山本智志, 中島悦子, 朽堀申二:
運動時の水分摂取 - 炭酸スポーツ飲料の影響 -
日本運動生理学会第1会大会, 7月, 1993

- No 12 青木泰子：
arbakacin (ABK) 存在下でのMRSA再増殖の検討
第38回ブドウ球菌研究会（京都）9月，1993
（臨床と微生物 21(3)：335-337）
- No 13 湯原孝典，洪井裕貴，竹村博之，赤間高雄，鈴木博史，山根一秀，柏木平八郎：
全身性エリテマトーデス患者における感染症の予測
第21回日本臨床免疫学会総会（札幌）9月，1993
- No 14 高山貴久子，赤間高雄，杉浦弘一，香田泰子，和久貴洋，河野一郎：
TNF α 産生に及ぼす運動の影響
第48回日本体力医学会大会9月，1993
- No 15 赤間高雄，高山貴久子，杉浦弘一，香田泰子，和久貴洋，河野一郎：
サイトカイン濃度に対する運動の影響
第48回日本体力医学会大会9月，1993
- No 16 赤間高雄，河野一郎，齊藤洋子，牧 真一，山田さつき，大滝純司，久賀圭祐，武藤 弘，
松田光生，柏木平八郎：
スポーツ選手の貧血治療に関する一考察
第4回日本臨床スポーツ医学会学術集会 11月，1993
- No 17 松村壮，洪井裕貴，赤間高雄，湯原孝典，鈴木博史，山根一秀，柏木平八郎：
反応性関節炎と考えられた症例
第423回日本内科学会関東地方会（土浦）11月，1993
- No 18 湯原孝典，洪井裕貴，竹村博之，赤間高雄，鈴木博史，山根一秀，柏木平八郎：
免疫抑制剤による治療を必要とする多発性筋炎・皮膚筋炎の特徴
第4回日本リウマチ学会関東地方会（水戸）12月，1993
- No 19 梶島悌蔵，湯原孝典，赤間高雄，鈴木博史，山根一秀，柏木平八郎：
重篤な神経精神症状の進展を長期間観察し得たSLEの1例
第4回日本リウマチ学会関東地方会（水戸）12月，1993
- No 20 青木泰子，辻 明良：
arbakacin (ABK) 存在下でのMRSAの再増殖の検討—再増殖菌に対する好中球，
他抗菌薬の殺菌効果
第40回日本化学療法学会東日本支部総会（青森）10月，1993
（Chemotherapy 42(4)：536）
- No 21 青木泰子：
今日におけるMRSA感染症の実態と問題点（特別講演）
東京小児外科研究会（東京）12月，1993

班研究報告

- No 1 柏木平八郎，鈴木博史，竹村博之：
SLE患者におけるIL-1ra（レセプター・アンタゴニスト）の血中動態
自己免疫疾患調査研究班（平成4年度研究報告書）
pp.73-75，1993

- No 2 柏木平八郎, 鈴木博史, 竹村博之:
強皮症患者の抗インターロイキン6自己抗体の機能について
自己免疫疾患調査研究班(平成4年度研究報告書)
pp,169-171, 1993
- その他
- No 1 松本文男, 青木泰子, 波多江新平, 林 泉, 安岡 彰:
院内感染(座談会)
4月(東京)日内会誌 82(8):1237-1249, 1993
- No 2 山根一秀:
膠原病について
全国膠原病友の会茨城支部創立総会, 医療講演, 4月, 1993
- No 3 青木泰子:
病院微生物学-微生物検査の読み方など パネルディスカッション
院内感染対策に関する講習会
(厚生省, 感染症学会主催, 東京) 7月, 8月, 9月, 1993
- No 4 青木泰子:
MRSA感染症の実態と問題点
日本医師会生涯教育講演会(水戸) 9月, 1993
- No 5 青木泰子:
臨床から見たMRSA感染症治療上の課題
日本抗生物質学術協議会特別会員月例会
(特別講演)(東京) 10月, 1993
- No 6 青木泰子:
MRSA感染症の問題点
日本女医会シンポジウム(東京) 11月, 1993
- No 7 青木泰子:
抗生物質の適正使用
厚生省院内感染対策講習会(東京) 12月, 1993
- No 8 柏木平八郎:
若者へのエイズ予防教育
筑波の友 81: pp5-6, 1993
- No 9 柏木平八郎:
慢性関節リウマチの薬物療法-新しい考え方-
第14回信州リウマチ懇談会, 1993

1994年（リウマチ・アレルギー）

原 著

- No. 1 夏田洋幹, 渋井裕貴, 湯原孝典, 赤間高雄, 鈴木博史, 山根一秀, 柏木平八郎:
リウマチ性疾患に伴うレイノー現象に対するニトログリセリンテープの効果
—サーモグラフィーによる皮膚温度変化の検討—
リウマチ 34(5):849-853, 1994
- No. 2 **Hiroshi Suzuki**, Hiroyuki Takemura, Kazuyuki Yoshizaki, Yasuo Koishihara,
Yoshiyuki Ohsugi, Akira Okano, Yukio Akiyama, Takeshi Tojo, Tadamitsu Kishimoto,
and **Heihachiro Kashiwagi** :
IL-6-anti-IL-6 autoantibody complexes with IL-6 activity in sera from some patients
with systemic sclerosis.
J Immunol 152 : 935-942, 1994
- No. 3 湯原孝典 :
膠原病に合併する感染症へのアプローチ
医学のあゆみ 171(1) : 73-77, 1994
- No. 4 **Yasuko Aoki** :
Bactericidal activity of arbekacin against methicillin-resisitant *Staphylococcus aureus*.
Comparison with that of vancomycin.
Jpn J Antibiotics 47(6) : 640-646 : 1994

総 説

- No. 1 柏木平八郎 :
副腎皮質ステロイドホルモンの作用機序
臨床と研究 71(1) : 1-4, 1994
- No. 2 **Heihachiro Kashiwagi** :
Fever of unknown origin: a changing diagnostic spectrum.
Internal Medicine 33(2) : 65-66, 1994
- No. 3 鈴木博史 :
炎症性とサイトカイン
Mebio 11(2) : 18-23, 1994
- No. 4 鈴木博史 :
サイトカインと膠原病
総合臨床 43(6) : 1083-1088, 1994
- No. 5 鈴木博史 :
サイトカイン
癌と化学療法社 8 : 826-832, 1994
- No. 6 鈴木博史 :
強皮症
Modern Physician 148(12) : 1485-1487, 1994

- No. 7 **Kazuhide Yamane :**
Enudothelin and collagen vascular disease: a review with special reference to Raynaud's phenomenon and systemic sclerosis.
Internal Medicine 33(10) : 579-582, 1994
- No. 8 **青木泰子 :**
病原体別に見た日和見感染症 — グラム陽性球菌
Infection Control 3(3) : 273-276, 1994
- No. 9 **青木泰子 :**
バンコマイシン発売以後の MRSA 感染症の治療法
最新医学 49(2) : 269-273, 1994
- No. 10 **青木泰子 :**
注目される感染症の治療 — MRSA 感染症
内科 74(6) : 1053-1058, 1994
- No. 11 **青木泰子 :**
MRSA 感染症 今日の問題点
小児外科 26(12) : 1399-1404, 1994
- No. 12 **青木泰子 :**
内科トピックスシリーズ 感染症
内科専門医会誌 6(2) : 127-129, 1994
- No. 13 **青木泰子 :**
Cefditoren pivoxil (メイアウト) の特徴と適応 (私見)
内科専門医会誌 6(2) : 280, 1994
- No. 14 **赤間高雄 :**
スポーツドクターに必要なドーピングの知識
— 膠原病・免疫・アレルギー疾患 —
臨床スポーツ医学 11, 臨時増刊号 : 163-168, 1994
- No. 15 **赤間高雄, 高山貴久子, 大滝 純司, 河野 一郎 :**
市民マラソンの merit と demerit(3)免疫系への merit と demerit
臨床スポーツ医学 11 : 1367-1371, 1994
- No. 16 **河野一郎, 赤間高雄 :**
運動・トレーニングによる免疫能の変化
診断と治療 82 : 1439-1443, 1994
- No. 17 **湯原孝典 :**
発熱
専門医が明かす診断・治療チャート
治療 76(2) : 688-691, 1994
- No. 18 **和田光一, 紺野昌俊, 青木泰子, 池 康嘉, 吉田 正, 管野治重 :**
MRSA の教訓と今後の院内感染防止対策, 座談会 (前編) (後編)
最新医学 49(10) : 1933-2005, (11)2172-2183, 1994
- No. 19 **柏木平八郎, 青木泰子, 秋山秀樹, 古賀宏延, 和田光一 :**
コンプロマイズドホストの多様性とその対応
日内会誌 83(7) : 1163-1174, 1994

著 書

- No. 1 柏木平八郎：
全身症状
ベッドサイドリウマチ学（山本 実，柏崎禎夫 編）
南江堂，東京，pp.108-111，1994
- No. 2 山根一秀：
Behcet 病
ワンポイント内科治療の実際（椎名晋一，金山正明，古沢新平，綿引定清 編）
金原出版，東京，pp.495-499，1994
- No. 3 山根一秀：
成人発症 Still 病
ワンポイント内科治療の実際（椎名晋一，金山正明，古沢新平，綿引定清 編）
金原出版，東京，pp.500-503，1994
- No. 4 青木泰子：
抗生物質療法（黄色ブドウ球菌感染症，緑膿菌感染症）
図説病態内科学講座17，感染症（高久史磨 監修，島田 馨 編）
メディカルビュー社，東京，pp.234-241，1994
- No. 5 青木泰子：
感染症疾患患者の管理（B/C 型肝炎，AIDS）
研修医ノート（永井良三編集，診断と治療社）
pp.437-439，1994

学会発表

- No. 1 蒲原一之，渋井裕貴，湯原孝典，赤間高雄，鈴木博史，山根一秀，柏木平八郎：
メトトレキサートで改善した Still 病の 2 症例
第141回茨城内科集談会（土浦），3 月，1994
- No. 2 竹村博之，鈴木博史，渋井裕貴，湯原孝典，赤間高雄，山根一秀，柏木平八郎：
強皮症皮膚線維芽細胞のインターロイキン-6 産生異常
第91回日本内科学会講演会（新潟），4 月，1994
- No. 3 赤間高雄，竹村博之，湯原孝典，鈴木博史，山根一秀，柏木平八郎：
MCTD における抗 $\beta 2$ -glycoprotein I 抗体について
第38回日本リウマチ学会総会（東京），4 月，1994
- No. 4 青木泰子：
MRSA 菌血症の解析 — VCM，ABK 導入前後での比較
日本感染症学会（長崎），4 月，1994
感染症誌 68(8)：pp1140，1994
- No. 5 湯原孝典，竹村博之，赤間高雄，鈴木博史，山根一秀，柏木平八郎：
全身性エリテマトーデスおよび多発性筋炎・皮膚筋炎に合併する感染症の特徴
第38回日本リウマチ学会総会（東京），4 月，1994

- No. 6 **鈴木博史, 竹村博之, 湯原孝典, 赤間高雄, 山根一秀, 柏木平八郎:**
SLEにおけるIL-1raの産生動態 2)活動性の指標としてのIL-1raの高値と、その機序についての検討
第38回日本リウマチ学会総会(東京), 4月, 1994
- No. 7 **竹村博之, 鈴木博史, 渋井裕貴, 湯原孝典, 赤間高雄, 山根一秀, 柏木平八郎:**
MCTDにおけるIL-6の関与について
第38回日本リウマチ学会総会(東京), 4月, 1994
- No. 8 **青木泰子:**
ポピドンヨードのMRSAに対する局所除菌効果
第42回日本化学療法学会総会(福岡), 6月, 1994
Chemotherapy 43(4):487, 1994
- No. 9 **鈴木博史:**
自己免疫疾患におけるIL-1レセプターアンタゴニストの動態と臨床的意義(世界における臨床応用の現状)
ワークショップ 抗炎症性サイトカイン;作用機構と役割
第15回日本炎症学会総会(東京), 7月, 1994
- No. 10 **鈴木博史, 竹村博之, 土屋政幸, 大杉義征, 柏木平八郎:**
ヒト抗体Combinatorial libraryよりリコンビナント抗IL-1 α 抗体作成の試み
第24回日本免疫学会総会(京都), 12月, 1994
- No. 11 **竹村博之, 鈴木博史, 赤間高雄, 土屋政幸, 大杉義征, 柏木平八郎:**
Phage antibody-display library法を用いた抗 β 2glycoprotein I(抗 β 2GPI)自己抗体可変領域断片のクローニング
第24回日本免疫学会総会(京都), 12月, 1994
- No. 12 **赤間高雄, 高山貴久子, 杉浦弘一, 龍野美恵子, 香田泰子, 秋本崇之, 和久貴洋, 河野一郎:**
可溶性IL-6レセプターに対する運動の影響
第49回日本体力医学会大会(名古屋), 9月, 1994
- No. 13 **杉浦弘一, 赤間高雄, 香田泰子, 秋本崇之, 龍野美恵子, 高山貴久子, 和久貴洋, 河野一郎:**
好中球の殺菌能に対する運動の影響
第49回日本体力医学会大会(名古屋), 9月, 1994
- No. 14 **香田泰子, 赤間高雄, 杉浦弘一, 龍野美恵子, 秋本崇之, 高山貴久子, 和久貴洋, 河野一郎:**
単球活性酸素産生能に対する運動の影響
第49回日本体力医学会大会(名古屋), 9月, 1994
- No. 15 **湯原孝典, 竹村博之, 赤間高雄, 鈴木博史, 山根一秀, 柏木平八郎:**
肺線維症を合併した強皮症及び混合性結合組織病患者の呼吸機能に対するステロイドの影響
第22回日本臨床免疫学会総会(東京), 9月, 1994
- No. 16 **赤間高雄, 河野一郎:**
シンポジウムー健康にとって体力を考える(運動による免疫機能の変化)
第45回日本体育学会(仙台), 10月, 1994

- No. 17 赤間高雄, 久賀圭祐, 大滝純司, 牧 真一, 河野一郎:
スポーツ選手の花粉症について
日本臨床スポーツ医学会学術集会(徳島), 11月, 1994
- No. 18 青木泰子, 高山吉弘, 蘇武健一, 大橋直子, 益吉真次, 吉田隆:
arbakacin (ABK) の MRSA に対する殺菌力の評価
— ABK 存在下で再増殖する菌の病原性の検討 —
第43回日本感染症学会東日本地方会総会,
第41回日本化学療法学会東日本支部総会合同学会(東京) 11月, 1994
Chemotherapy 43(4): 487, 1995
- No. 19 青木泰子, 柏木平八郎:
レンサ球菌による重症感染症例の検討
第43回日本感染症学会東日本地方会総会
第41回日本化学療法学会東日本支部総会合同学会(東京), 11月, 1994
感染症誌 69(4): 483, 1994
- No. 20 井本夏樹, 須磨崎亮, 浜野健三, 青木泰子, 生方公子, 紺野昌俊, 滝田 齊:
ペニシリン耐性 *Streptococcus sanguis* による髄膜炎の臨床像とその分離株の薬剤耐性
機序の検討
第43回日本感染症学会東日本地方会総会
第41回日本化学療法学会東日本支部総会合同学会(東京), 11月, 1994
感染症誌 69(4): 483, 1995
- No. 21 菊池修一, 竹村博之, 湯原孝典, 赤間高雄, 鈴木博史, 山根一秀, 柏木平八郎:
シェーグレン症候群(SjS)に合併し, プレドニゾロン(PSL)で治癒した髄膜炎の
1例
第5回日本リウマチ学会関東地方会(千葉), 12月, 1994

班研究報告

- No. 1 鈴木博史, 竹村博之, 柏木平八郎:
SLE 患者における IL-1ra の血中動態と産生調節
厚生省特定疾患混合性結合組織病調査研究班
(平成5年度研究報告書) pp.72-74, 1994
- No. 2 鈴木博史, 赤間高雄, 柏木平八郎:
Phage-Ab Display Library 法による抗 $\beta 2$ -GPI 抗体のクローニング
厚生省特定疾患混合性結合組織病調査研究班
(平成5年度研究報告書) pp.75-80, 1994
- No. 3 竹村博之, 鈴木博史, 湯原孝典, 赤間高雄, 山根一秀, 柏木平八郎:
混合性組織病(MCTD)の血清 IL-6 (インターロイキン-6) 活性, 血清中 sIL-6R,
血清中抗 IL-6 自己抗体の測定
厚生省特定疾患混合性結合組織病調査研究班
(平成5年度研究報告書) pp.85-88, 1994

1995年（リウマチ・アレルギーグループ）

原 著

- No. 1 赤間 高雄, 河野 一郎, 牧 真一, 山田 さつき, 大滝 純司, 久賀 圭祐,
松田 光生:
スポーツ選手の貧血治療に関する一考察
臨床スポーツ医学 12(5) 579-582, 1995
- No. 2 幸田 幸直, 須賀 肇, 相良 悦郎, 柏木平八郎:
ロベンザリット二ナトリウムによる腎障害
—自験三症例の報告と文献的考察—
日本医事新報 3691: 43-48, 1995
- No. 3 Hiroshi Suzuki, Hiroyuki Takemura, Heihachiro Kashiwagi:
Interleukin-1 Receptor Antagonist in Patients with Active Systemic Lupus Eryth-
ematosus.
Arthritis Rheum 38(8) 1055-1059, 1995
- No. 4 Goto M., Nagase S., Hirayama K., Ishizu H., Iitsuka T., Kobayashi M., Aoki Y.,
Aoyagi K., Koyama A., Irie Y., Kano S., Suzuki M.:
Plasmodium vivax malaria infection diagnosed by indirect fluorescent antibody
test.
Internal Medicine 34: 32-35, 1995
- No. 5 Koyama A., Kobayashi M., Yamaguchi N., Yamagata K., Nakajima M.,
Irie F., Goto M., Igarashi M., Iitsuka T., Aoki Y., Sakurai H., Sakurayama N.,
Fukao K:
Glomerulonephritis associated with MRSA infection: A possible role of bacterial
superantigen.
Kidney International 47: 207-216, 1995
- 総 説
- No. 1 赤間 高雄, 和久 貴洋, 河野 一郎:
熱暑
救急医学 19(2): 203-206, 1995
- No. 2 鈴木 博史:
IL-1 レセプター・アンタゴニスト
臨床免疫 27(16): 141-146, 1995
- No. 3 山根一秀:
リウマチの診断のすすめかた
RA & セラピー 1(1): 36-43, 1995

- No. 4 山根一秀：
膠原病に伴う無菌性髄膜炎
医学のあゆみ 173(1)：43-46, 1995
- No. 5 柏木平八郎：
全身性エリテマトーデス
臨床と研究 72(4)：840-845, 1995
- No. 6 湯原 孝典：
ホメオスタシスとしての体温管理：老人の特徴
オペナーシング'95春季増刊（メディカ出版）：32-37, 1995
- No. 7 湯原 孝典, 柏木平八郎：
アスピリンか？NSAIDs か？
総合臨床44：2351-2356, 1995
- No. 8 湯原 孝典：
鎮痛，解熱薬
臨床医 21：723-728, 1995
- No. 9 湯原 孝典, 柏木平八郎：
感染症治療の補助療法の実際：解熱薬と副腎皮質ステロイド
Medical Practice 12：74-78, 1995
- No. 10 柏木平八郎：
リウマチ性多発筋痛症
内科75(6)：1421, 1995
- No. 11 Yasuko Aoki:
Editorial:Rising incidence of catheter-related bacteremia/fungemia.
Internal Medicine 34：461-462, 1995
- No. 12 青木 泰子：
不明熱診断過程での抗菌薬投与
診断と治療83：1443-1448, 1995
- No. 13 赤間 高雄：
血液・アレルギー疾患
Japanese Journal of SPORTS SCIENCES 14(3)：339-342, 1995
- No. 14 柏木平八郎：
成人スチル病：全身症状
リウマチ科 14(1)：11-13, 1995
- No. 15 青木 泰子, 柏木平八郎：
AIDS に対する院内診療体制の整備
治療学 29：895-899, 1995

- No. 16 鈴木 博史：
サイトカインアンタゴニスト
臨床免疫 27(19)：1094-1098, 1995
- No. 17 柏木平八郎：
不明熱
—診断の進歩に伴う基礎疾患の変遷と定義改訂への動き—
病態生理 14(10), 1995
- No. 18 柏木平八郎：
不明熱
—新しい概念とその基礎疾患の診断の進め方—
臨床と研究 72(10)：2401-2405, 1995
- No. 19 赤間 高雄, 赤間紅美子：
皮膚症状
臨床スポーツ医学 12 臨時増刊号：18-22, 1995
- No. 20 山根 一秀：
皮膚筋炎患者を診たら癌の合併を疑え
Medical Practice 12(6)：872, 1995
- No. 21 青木 泰子：
耐性菌による呼吸器感染症をどのように理解し、対処したらよいか：MRSA
Medical Practice 12：1441-1444, 1995
- No. 22 鈴木 博史：
IL-1 レセプターアンタゴニスト
炎症と免疫 3(6)：571-576, 1995

著 書

- No. 1 柏木平八郎：
発熱
内科学 第4版（杉本恒明ほか 編集） 朝倉書店，東京，pp107-109, 1995
- No. 2 柏木平八郎：
発疹，皮膚色素沈着
内科学 第4版（杉本恒明ほか 編集） 朝倉書店，東京，pp109-110, 1995
- No. 3 柏木平八郎：
リンパ節腫脹
内科学 第4版（杉本恒明ほか 編集） 朝倉書店，東京，pp130-131, 1995
- No. 4 柏木平八郎：
リウマチ性疾患・膠原病
総論 1.概念
内科学書 第4版（柏木平八郎 編集）
中山書店，東京，p769, 1995

- No. 5 柏木平八郎：
リウマチ性疾患・膠原病
総論 2. リウマチ性疾患の分類 内科学書 第4版（柏木平八郎 編集）
中山書店，東京，p769，1995
- No. 6 柏木平八郎：
リウマチ性疾患・膠原病
総論 3. 関節と結合組織の構造と機能
内科学書 第4版（柏木平八郎 編集）
中山書店，東京，pp769-771，1995
- No. 7 鈴木 博史：
リウマチ性疾患・膠原病
総論 4. 膠原病の炎症と免疫異常
内科学書 第4版（柏木平八郎 編集）
中山書店，東京，pp771-774，1995
- No. 8 鈴木 博史：
リウマチ性疾患・膠原病
総論 5. 免疫学的検査
内科学書 第4版（柏木平八郎 編集）
中山書店，東京，pp774-777，1995
- No. 9 柏木平八郎：
リウマチ性疾患・膠原病
総論 6. 膠原病の治療
内科学書 第4版（柏木平八郎 編集）
中山書店，東京，pp777-778，1995
- No. 10 柏木平八郎：
リウマチ熱
内科学書 第4版（柏木平八郎 編集）
中山書店，東京，p813，1995
- No. 11 山根 一秀：
脊椎関節症
内科学書 第4版（柏木平八郎 編集）
中山書店，東京，pp826-829，1995
- No. 12 山根 一秀：
Weber-Christian病
内科学書 第4版（柏木平八郎 編集）
中山書店，東京，pp832-833，1995
- No. 13 柏木平八郎：
遺伝性結合組織疾患
内科学書 第4版（柏木平八郎 編集）
中山書店，東京，pp833-835，1995

- No. 14 柏木平八郎：
進行性全身性硬化症（強皮症）
今日の治療指針1995（稲垣義明，多賀須幸男，尾形悦郎 編集）
医学書院，東京，pp561-562，1995
- No. 15 赤間 高雄：
慢性疲労症候群
一般臨床医のためのスポーツ可否・許可基準ガイドブック
（村山正博，河野一郎 編集）
南江堂，東京，pp.222-223，1995
- No. 16 赤間 高雄：
慢性関節リウマチ
一般臨床医のためのスポーツ可否・許可基準ガイドブック
（村山正博，河野一郎 編集）
南江堂，東京，pp.140-142，1995

学会発表

- No. 1 青木 泰子：
結核病棟をもたない大学附属病院における結核症の現状と院内感染対策（第2報）
第10回日本環境感染学会総会（倉敷），2月，1995
- No. 2 Suzuki H., Takemura H., Kashiwagi H.:
IL-1 receptor antagonist in patients with systemic lupus erythematosus.
Atlanta, Georgia, 94th Experimental Biology, April 1995
- No. 3 Takemura H., Suzuki H., Akama T., Tsuchiya M., Ohsugi Y., Kashiwagi H.:
Development of single-chain variable fragment against human β 2-glycoprotein I
using phage display libraries.
Atlanta, Georgia, 94th Experimental Biology, April 1995
- No. 4 青木 泰子：
感染症コンサルテーションの現況（第2報）—院内感染対策上の意義について—
第69回日本感染症学会総会（博多），4月，1995
感染症学雑誌 69：1050-1051，1995
- No. 5 生方 公子，村木 智子，紺野 昌俊，齊藤 洪太，川島 剛，安達 桂子，
滝本 昌俊，岩田 敏，能登谷 隆，富田千恵子，青木 泰子，西山 泰暢，犬塚 和久，
樫山 誠也，大成 茂：
A群溶血レンサ球菌のT型別と薬剤感受性
第69回日本感染症学会総会（博多），4月，1995
感染症学雑誌 69：1050-1051，1995
- No. 6 鈴木 博史，竹村 博之，土屋 政幸，大杉 義征，湯原 孝典，赤間 高雄，
山根 一秀，柏木平八郎：
Combinatorial Libraryによるヒトリコンピナント抗体(ScFv)の作成
—I. 抗サイトカイン抗体作成の試み—
第39回日本リウマチ学会総会（大阪），5月，1995

- No. 7 湯原 孝典, 竹村 博之, 赤間 高雄, 鈴木 博史, 山根 一秀, 柏木平八郎:
慢性関節リウマチ患者における罹患関節部位と身体機能障害との関連
第39回日本リウマチ学会総会 (大阪), 5月, 1995
- No. 8 竹村 博之, 鈴木 博史, 赤間 高雄, 湯原 孝典, 山根 一秀, 柏木平八郎:
ヒト抗 $\beta 2$ GPI 自己抗体可変領域断片の cloning とその反応性の検討
第39回日本リウマチ学会総会 (大阪), 5月, 1995
- No. 9 赤間 高雄, 竹村 博之, 湯原 孝典, 鈴木 博史, 山根 一秀, 柏木平八郎:
SLEにおけるプロトンピン結合性 IgG
第39回日本リウマチ学会総会 (大阪), 5月, 1995
- No. 10 青木 泰子:
MRSA に対する局所除菌薬として polymyxin B (PL-B) の評価-*in vitro* での基礎的検討
第43回日本化学療法学会総会 (東京), 6月, 1995
日本化学療法学会雑誌 43:1006-1007, 1996
- No. 11 海老原 至, 赤間 高雄, 竹村 博之, 湯原 孝典, 鈴木 博史, 山根 一秀, 柏木平八郎:
Cyclosporin 投与により皮膚症状が改善した強皮症の1例
第437回日本内科学会関東地方会 (つくば), 6月, 1995
- No. 12 Yasuko Aoki:
Topical treatment of MRSA infection by antibiotics and antiseptics.
19th International Congress of Chemotherapy (Montreal), July, 1995
- No. 13 赤間 高雄, 秋本 崇之, 杉浦 弘一, 龍野恵美子, 香田 泰子, 斉藤 まゆみ, 和久 貴洋, 河野 一郎:
運動による細胞接着分子の変動
第50回日本体力医学会大会 (福島), 9月, 1995
- No. 14 杉浦 弘一, 赤間 高雄, 香田 泰子, 龍野恵美子, 秋本 崇之, 斉藤 まゆみ, 和久 貴洋, 河野 一郎:
急性運動負荷による好中球 O_2^- 産生能の変化
第50回日本体力医学会大会 (福島), 9月, 1995
- No. 15 秋本 崇之, 赤間 高雄, 林 浩一郎, 香田 泰子, 杉浦 弘一, 龍野恵美子, 和久 貴洋, 河野 一郎:
運動負荷による唾液分泌型 IgA 濃度の変動
第50回日本体力医学会大会 (福島), 9月, 1995
- No. 16 香田 泰子, 赤間 高雄, 和久 貴洋, 杉浦 弘一, 龍野恵美子, 秋本 崇之, 斉藤 まゆみ, 河野 一郎:
剣道の寒稽古における免疫学的な指標の変動
第50回日本体力医学会大会 (福島), 9月, 1995

- No. 17 和久 貴洋, 香田 泰子, 赤間 高雄, 杉浦 弘一, 秋本 崇之, 龍野恵美子,
河野 一郎:
競技スポーツ選手のコンディション評価に関する研究
第50回日本体力医学会大会 (福島), 9月, 1995
- No. 18 湯原 孝典, 竹村 博之, 赤間 高雄, 鈴木 博史, 山根 一秀, 柏木平八郎:
強皮症患者における発熱
第23日本臨床免疫学会総会 (岡山) 9月, 1995
- No. 19 赤間 高雄, 大滝 純司, 牧 真一, 河野 一郎:
運動によるサイトカインレセプター濃度の変化
第6回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (東京), 10月, 1995
- No. 20 入江 英美, 青木 泰子, 清水 郁子, 石津 智子, 竹村 博之, 湯原 孝典,
柏木平八郎, 稲川 智, 川本 徹, 近森 文男, 深尾 立:
Bacteroides による敗血症を契機に診断された高齢者の直腸癌穿孔の1例
第44回日本感染症学会東日本地方会総会 (松本), 10月, 1995
- No. 21 相吉 恵美子, 竹村 博之, 湯原 孝典, 赤間 高雄, 鈴木 博史, 山根 一秀,
柏木平八郎:
不明熱を主徴とし, 胸部CT・血管造影で診断した大動脈炎症候群の一例
第142回茨城内科集談会 (水戸), 10月, 1995
- No. 22 赤間 高雄:
運動による免疫の変化
第42回日本臨床病理学会総会 (栃木), 11月, 1995
- No. 23 赤間 高雄, 竹村 博之, 湯原 孝典, 鈴木 博史, 山根 一秀, 柏木平八郎:
膠原病患者に出現する抗プロトロンビン抗体について
第6回日本リウマチ学会関東地方会 (東京), 12月, 1995
- 班研究報告
- No. 1 鈴木 博史, 湯原 孝典, 柏木平八郎:
強皮症および混合性結合組織病患者の肺機能に対するステロイドの影響
厚生省特定疾患自己免疫疾患調査研究班
(平成6年度研究報告書) pp.87-89, 1995
- No. 2 鈴木 博史, 竹村 博之, 赤間 高雄, 柏木平八郎:
Combinatorial Library よりの抗 β 2GPI 抗体 (可溶性 scFv) の作成とその反応性に関する検討
厚生省特定疾患自己免疫疾患調査研究班
(平成6年度研究報告書) pp.90-91, 1995
- No. 3 柏木平八郎, 山根 一秀, 竹村 博之, 湯原 孝典, 赤間 高雄, 鈴木 博史:
混合性結合組織病における難治性消化管症状の治療経験
厚生省特定疾患混合性結合組織病調査研究班 (平成6年度研究報告書) pp.53-55, 1995

- No. 4 赤間 高雄, 河野 一郎, 秋本 崇之:
 スポーツ活動が免疫に与える影響に関する研究の動向について
 平成6年度 日本体育協会スポーツ医・科学研究報告
 No.IX スポーツ活動が免疫に与える影響に関する研究
 pp.5-11, 1995
- No. 5 赤間 高雄, 秋本 崇之:
 急性および慢性のスポーツ活動による液性免疫の変化
 平成6年度 日本体育協会スポーツ医・科学研究報告
 No.IXスポーツ活動が免疫に与える影響に関する研究
 pp.13-20, 1995
- その他
- No. 1 青木 泰子:
 感染症診療における抗菌薬の使い分け
 千葉感染症研究会 (千葉), 3月, 1995
- No. 2 柏木平八郎:
 日常診療問題としての HIV 感染
 第4回茨城県エイズ医療懇話会 (石岡), 5月, 1995
- No. 3 青木 泰子:
 感染症コンサルテーションの現状
 新潟化学療法同好会 (新潟), 6月, 1995
- No. 4 柏木平八郎:
 膠原病入門
 放送大学 特別講義, 7月, 1995
- No. 5 柏木平八郎:
 膠原病の話
 筑波大学理療科教員養成 理療科担当教員講習会, 7月, 1995
- No. 6 青木 泰子:
 最近話題の感染症
 筑波大学理療科教員養成 理療科担当教員講習会, 7月, 1995
- No. 7 赤間 高雄:
 運動と免疫能
 肺機能セミナー-勉強会 (東京), 7月, 1995
- No. 8 Yasuko Aoki:
 Therapeutic strategy for MRSA Infections.
 ASEAN-Japan Seminar and Workshop on Hospital Infection
 Kuala Lumpur, October, 1995
- No. 9 青木 泰子:
 日常診療における院内感染対策
 大分院内感染研究会 (大分), 11月, 1995

No. 10 湯原 孝典, 竹村 博之, 赤間 高雄, 鈴木 博史, 山根 一秀, 柏木平八郎:
母子同時発症の多発性関節炎

第1回 茨城リウマチ研究会(つくば) 11月, 1995

No. 11 柏木平八郎:

不明熱の臨床

—新しい概念とその基礎疾患—

第61回膠原病研究会(新潟), 11月, 1995

膠原病・リウマチ・アレルギーグループ96年業績

原 著

- No. 1 Takamichi Yuhara, Hiroyuki Takemura, Takao Akama, Hiroshi Suzuki,
Kazuhide Yamane, Heihachiro Kashiwagi:
Predicting infection in hospitalized patients with systemic lupus erythematosus.
Internal Medicine 35 (8) : 629-636, 1996
- No. 2 Yamane K., Iijima T., Nakahara A., Takemura H., Yuhara T., Akama T., Suzuki H.,
Kashiwagi H.:
A dual occurrence of endometrial and gastric adenocarcinomas in systemic lupus
erythematosus.
Jpn J Clin Immunol 19 : 232-237, 1996
- No. 3 清水喜八郎, 柴田 雄介, 川名 林治, 斉藤 和好, 青木 泰子, 紺野 昌俊,
小林 寛伊, 井上 松久, 山口 恵三, 稲松 孝思, 島田 馨, 石引 久弥,
小林 芳夫, 砂川 慶介, 田中 隆, 炭山 喜伸, 林 泉, 穴戸 春美, 菅野 治重,
宇塚 吉夫, 斉藤 博, 石川 周, 大久保 憲, 永井 勲, 副島 林造, 荒田 次郎,
熊沢 浄一, 原 耕平, 松本 慶蔵, 力富 直人:
Mupirocin 鼻腔軟膏の MRSA に対する臨床的検討.
日本環境感染学会雑誌 11 : 7-15, 1996
- No. 4 湯原 孝典, 柏木平八郎:
SLE 患者の発熱: その原因と CART で作成した classification tree による発熱の予
測.
医学のあゆみ 176 (5) : 289-293, 1996

総 説

- No. 1 山根 一秀:
特集=骨・関節疾患とその治療—変形性関節症
MEDICAMENT NEWS 1509 : 7-9, 1996
- No. 2 青木 泰子:
MRSA 感染症に併用療法は有効なのか
medicina 33 : 121-124, 1996
- No. 3 青木 泰子:
妊娠と感染症.
medicina 33 : 1668-1670, 1996
- No. 4 青木 泰子, 柏木平八郎:
血液病における不明熱へのアプローチ
日常診療と血液 6 (12) : 35-46, 1996
- No. 5 赤間 高雄:
運動に伴う免疫機能の変化
Medical Technology 24 : 996-998, 1996

- No. 6 赤間 高雄：
わかりやすいアンチドーピング 風邪をひいたらどうしたらよいのですか。
指導者のためのスポーツジャーナル 195：30-31, 1996.
- No. 7 赤間 高雄：
アレルギー疾患の治療薬とドーピングの問題。
臨床スポーツ医学 13：37-41, 1996.
- No. 8 赤間 高雄：
スポーツ医学Q&A 運動と風邪のメカニズム。
臨床スポーツ医学 13：298-299, 1996.
- No. 9 赤間 高雄：
RA 臨床の Q&A リウマチにみられる皮下結節。
RA&セラピー 2：53, 1996.
- No. 10 湯原 孝典, 柏木平八郎：
膠原病を考えさせる症状と鑑別点：発熱
リウマチ科 15 (4)：303-307, 1996
- No. 11 湯原 孝典, 柏木平八郎：
在宅治療とその実際 在宅ケア中の突発症状への対応のしかた
Medical Practice 13 (臨時増刊号)：308-311, 1996
- No. 12 湯原 孝典, 柏木平八郎：
症状からのチェックガイド：発熱
Modern Physician 16 (5)：573-576, 1996

著 書

- No. 1 山根 一秀：
主な疾患の概念および定義
成人看護学, 神経系/アレルギー性疾患・膠原病 (西澤正豊ほか 編集),
金原出版, 東京, pp189-191, 1996
- No. 2 山根 一秀：
フィジカルイグザミネーション
成人看護学, 神経系/アレルギー性疾患・膠原病 (西澤正豊ほか 編集),
金原出版, 東京, pp196-198, 1996
- No. 3 山根 一秀：
臨床検査の意義
成人看護学, 神経系/アレルギー性疾患・膠原病 (西澤正豊ほか 編集),
金原出版, 東京, p199, 1996
- No. 4 山根 一秀：
主な症状と病態生理
成人看護学, 神経系/アレルギー性疾患・膠原病 (西澤正豊ほか 編集),
金原出版, 東京, pp202-208, 1996

- No. 5 山根 一秀：
臨床免疫学の基礎
成人看護学，神経系/アレルギー性疾患・膠原病（西澤正豊ほか 編集），
金原出版，東京，pp216-219，1996
- No. 6 山根 一秀：
主な検査
成人看護学，神経系/アレルギー性疾患・膠原病（西澤正豊ほか 編集），
金原出版，東京，pp220-224，1996
- No. 7 山根 一秀：
主な治療
成人看護学，神経系/アレルギー性疾患・膠原病（西澤正豊ほか 編集），
金原出版，東京，pp228-233，1996
- No. 8 山根 一秀：
主な疾患の理解
成人看護学，神経系/アレルギー性疾患・膠原病（西澤正豊ほか 編集），
金原出版，東京，pp240-249，1996
- No. 9 山根 一秀：
ベーチェット病
難病の指針第3版（難病の指針編集委員会 編），
茨城県医師会，茨城，pp1-4，1996
- No. 10 山根 一秀：
抗好中球細胞質抗体
検査値のみかた（中井利昭 編集），
中外医学社，東京，pp537-538，1996
- No. 11 山根 一秀：
CRP(C-reactive protein)
検査値のみかた（中井利昭 編集），
中外医学社，東京，pp644-645，1996
- No. 12 山根 一秀，赤間 高雄：
免疫・アレルギー疾患
病態解析の手引き—検査の読み方とその実践（佐々木匡秀ほか 編集），
医歯薬出版，東京，pp153-160，1996
- No. 13 山根 一秀：
NK細胞活性
症候・異常値診断マニュアル（中井利昭 ほか編集），
中外医学社，東京，pp306-307，1996
- No. 14 山根 一秀：
リンパ球サブセット
症候・異常値診断マニュアル（中井利昭 ほか編集），
中外医学社，東京，pp308-309，1996

- No. 15 鈴木 博史：
シェーグレン症候群。
難病の指針 第3版（難病の指針編集委員会編）
茨城県医師会，茨城，pp190-192，1996。
- No. 16 青木 泰子：
MRSA の抗菌薬感受性パターン
MRSA—病院感染を克服するために（小林寛伊編），
真興交易医書出版部，東京 pp. 35-39，1996
- No. 17 青木 泰子：
各領域における MRSA 感染症と保菌—治療，隔離，除菌 終末期 症例 MRSA—
病院感染を克服するために（小林寛伊編），
真興交易医書出版部，東京 pp. 233-237，1996
- No. 18 AOKI Y:
Therapeutic strategy for MRSA infections.
Proceedings of ASEAN- Japan seminar and workshop on Hospital infection
(The Organizing Committee, Asean-Japan
Seminar & Workshop on Hospital Infection),
Kuala Lumpur, pp. 47-56, 1996
- No. 19 青木 泰子：
薬剤感受性検査。
検査値のみかた（中井利昭編），中外医学社，東京，pp.803-804，1996
- No. 20 青木 泰子：
全身疾患と臨床検査—感染症
病態解析の手引—検査の読み方とその実践（佐々木匠秀，影岡武士編），
医歯薬出版，東京 pp.147-152，1996
- No. 21 青木 泰子：
CASE 17. 上気道炎症状を伴う発熱を主訴として受診し，心雑音の認められた30歳女性。
専門医を目指すケースメソッドアプローチ 12 感染症（山口恵三編），
日本醫事新報社，東京 pp.175-183，1996
- No. 22 青木 泰子：
CASE 18. 胃癌再発後の中心静脈高カロリー輸液中に発熱を認めた60歳男性。
専門医を目指すケースメソッドアプローチ 12 感染症（山口恵三編），
日本醫事新報社，東京 pp.184-191，1996
- No. 23 赤間 高雄：
結節性動脈周囲炎
難病の指針 第3版（難病の指針編集委員会 編）
茨城県医師会，茨城 pp62-66，1996。

No. 24 湯原 孝典：

鎮痛解熱薬

治療薬ガイド'96 (Medical Practice 編集委員会・編)

文光堂 (東京), pp132-144, 1996

No. 25 湯原 孝典, 柏木平八郎：

感染症治療の補助療法の実際：解熱薬と副腎皮質ステロイド

抗生物質療法ガイド—縮刷版— (Medical Practice 編集委員会・編)

文光堂 (東京), PP74-78

No. 26 湯原 孝典：

鎮痛剤

老年診療Q & A第26号, 六法出版, 東京, PP.30-33, 1996

No. 27 竹村 博之, 柏木平八郎：

症状・症候-1：筋肉痛

図説病態内科講座18 (高久史麿 監修, 猿田享男, 金沢一郎 編)

メディカルビュー社, 東京, pp.240-246, 1996

学会発表

No. 1 鈴木 博史, 竹村 博之：

シンポジウム25—サイトカイン類の治療的応用と創薬への展望：特異的サイトカイン抑制因子 (IL-1レセプターアンタゴニスト (IL-1RA), 抗サイトカイン抗体等) の臨床応用とその問題点.

第69回日本薬理学会年会 (長崎), 3月, 1996

No. 2 大塚 盛男, 石井 幸雄, 二宮 浩樹, 佐藤 浩昭, 井上 雅樹, 内田 義之,

本間 敏明, 長谷川鎮雄, 湯原 孝典, 山根 一秀, 柏木平八郎, 斉藤 武文：

多発性筋炎/皮膚筋炎 (PM/DM) に伴う間質性肺炎の治療反応性・予後に関する検討

第93回日本内科学会講演会 (横浜), 4月, 1996

No. 3 青木 泰子：

結核病棟を持たない大学付属病院における結核症例の現状—最近8年間の臨床的検討.

第70回日本感染症学会総会 (東京), 4月, 1996

感染症学雑誌 70 (9) : 1017

No. 4 山根 一秀, 竹村 博之, 湯原 孝典, 赤間 高雄, 鈴木 博史, 柏木平八郎：

全身性硬化症における消化管病変と細胞接着分子について

第40回日本リウマチ学会総会 (福島), 5月, 1996

No. 5 鈴木 博史, 松井 良樹, 竹村 博之, 湯原 孝典, 赤間 高雄, 山根 一秀,

柏木平八郎：

IL-1レセプターアンタゴニスト (IL-1ra) の遺伝子多型と SLE.

第40回日本リウマチ学会総会 (福島), 5月, 1996

No. 6 赤間 高雄, 竹村 博之, 湯原 孝典, 鈴木 博史, 山根 一秀, 柏木平八郎：

抗カルジオリピン抗体測定におけるウシ β 2-glycoprotein I の作用.

第40回日本リウマチ学会総会 (福島), 5月, 1996

- No. 7 湯原 孝典, 竹村 博之, 赤間 高雄, 鈴木 博史, 山根 一秀, 柏木平八郎:
発熱のあるSLE患者でのCARTを用いた感染症の予測の試み
第40回日本リウマチ学会総会(福島), 5月, 1996
- No. 8 竹村 博之, 鈴木 博史, 湯原 孝典, 赤間 高雄, 山根 一秀, 柏木平八郎:
ヒト抗RNP自己抗体可変領域遺伝子断片のcloningとそのcombinatorial Fab抗体
の反応性の検討
第40回日本リウマチ学会総会(福島市), 5月, 1996
- No. 9 赤間 高雄, 秋本 崇之, 杉浦 弘一, 龍野美恵子, 山本祐里江, 香田 泰子,
斉藤まゆみ, 和久 貴洋, 河野 一郎:
運動による可溶性HLA class I抗原の変動.
第51回日本体力医学会大会(広島), 9月, 1996
体力科学 45, 778, 1996
- No. 10 龍野美恵子, 赤間 高雄, 斉藤 実, 香田 泰子, 斉藤まゆみ, 杉浦 弘一,
秋本 崇之, 山本祐里江, 和久 貴洋, 松田 光生, 河野 一郎:
無酸素運動が好中球の活性酸素種産生能に及ぼす影響.
第51回日本体力医学会大会(広島), 9月, 1996
体力科学 45, 778, 1996
- No. 11 秋本 崇之, 赤間 高雄, 杉浦 弘一, 龍野美恵子, 山本祐里江, 林 栄輔,
香田 泰子, 斉藤まゆみ, 和久 貴洋, 河野 一郎:
運動による血中可溶性ICAM-1の変動.
第51回日本体力医学会大会(広島), 9月, 1996
体力科学 45, 777, 1996
- No. 12 香田 泰子, 赤間 高雄, 秋本 崇之, 杉浦 弘一, 龍野美恵子, 山本祐里江,
柳川 真美, 天野 和彦, 斉藤まゆみ, 和久 貴洋, 柿山 哲治, 前田 清司,
松田 光生, 河野 一郎:
運動が視覚障害者の免疫機能に及ぼす影響.
第51回日本体力医学会大会(広島), 9月, 1996
体力科学 45, 777, 1996
- No. 13 湯原 孝典, 竹村 博之, 赤間 高雄, 鈴木 博史, 山根 一秀, 柏木平八郎:
何が全身性エリテマトーデスの経過を致死的にするのか
第24回日本臨床免疫学会総会(東京), 9月, 1996
- No. 14 Suzuki, H., Takemura, H., Hagiwara, T., Kashiwagi, H.:
Characterization of anti-SS-A autoantibodies derived from infiltrating
lymphocytes in salivary gland of Sjogren's syndrome.
American College of Rheumatology, 60th national meeting
(Orlando, Florida), 10月, 1996

- No. 15 Takemura H., Suzuki H., Fujisawa H., Yuhara T., Akama T., Yamane K., Kashiwagi H.:
Enhanced response to platelet-derived growth factor (PDGF) in IL-6 production by cultured fibroblasts from patients with systemic sclerosis.
American College of Rheumatology, 60th national meeting
(Orlando, Florida), 10月, 1996
- No. 16 青木 泰子:
MRSA に対する局所除菌薬としての mupirocin の殺菌力の評価.
第43回日本化学療法学会東日本支部総会 (東京), 11月, 1996
- No. 17 湯原 孝典, 竹村 博之, 赤間 高雄, 鈴木 博史, 山根 一秀, 柏木平八郎:
サルファサラジンが有効であった乾癬性関節炎の一例
第2回茨城リウマチ研究会 (つくば), 11月, 1996
- No. 18 金子 新, 竹村 博之, 湯原 孝典, 赤間 高雄, 鈴木 博史, 山根一秀, 柏木平八郎:
全身衰弱, 骨髓の gelatinous transformation を伴った全身性エリテマトーデス (SLE) の1例
第7回日本リウマチ学会関東地方会 (宇都宮), 12月, 1996
- 班研究報告
- No. 1 柏木平八郎, 竹村 博之, 鈴木 博史:
Phage-display 法によるリコンビナントヒト抗 UlsnRNP (70kD) 抗体作成の試み
厚生省特定疾患混合性結合組織病調査研究班
平成7年度研究報告書 27-28, 1996
- No. 2 柏木平八郎, 赤間 高雄:
MCTDにおける抗リン脂質抗体の分析.
厚生省特定疾患混合性結合組織病調査研究班
平成7年度研究報告書 31-33, 1996.
- No. 3 鈴木 博史, 竹村 博之, 柏木平八郎:
シェーグレン症候群の口唇唾液腺浸潤リンパ球より抗 SS-A モノクローナル抗体 (Fab) の作成.
厚生省特定疾患自己免疫疾患調査研究班
平成7年度報告書 55-57, 1996
- No. 4 鈴木 博史, 松井 良樹, 柏木平八郎:
IL-1レセプターアンタゴニスト (IL-1RA) の遺伝子多型と全身性エリテマトーデス.
厚生省特定疾患自己免疫疾患調査研究班
平成7年度報告書 79-81, 1996
- No. 5 赤間 高雄, 和久 洋, 和久 美紀, 杉浦 弘一, 秋本 崇之, 龍野美恵子, 香田 泰子:
感染症アンケートの実施及び集計について.
平成7年度日本体育協会スポーツ医・科学研究報告
IXスポーツ活動が免疫に与える影響に関する研究-第2報-:
19-24, 1996.

そ の 他

- No. 1 柏木平八郎：
リウマチ周辺疾患の診断
結城市医師会・真壁市医師会学術講演会，6月27日，1996
- No. 2 柏木平八郎：
慢性関節リウマチに対するDMARD療法
横浜市立大学医学部膠原病治療研究会，7月4日，1996
- No. 3 柏木平八郎：
茨城地区リウマチ研修会世話人
日本リウマチ財団主催，7月7日，1996
- No. 4 鈴木 博史：
抗リウマチ療法としてのサイトカイン関連戦略一現状と展望
日本リウマチ財団主催茨城地区リウマチ教育研修会，7月7日，1996
- No. 5 柏木平八郎：
成人発症 Still 病の診断と治療。
日本リウマチ財団主催リウマチ中央教育研修会，7月27日，1996
- No. 6 鈴木 博史：
ファージディスプレイ法によるモノクローナル自己抗体の作成と機能解析
第四回臨床医科学フォーラム，
京都大学大学院医学研究科病態医科学主催，9月14日，1996
- No. 7 柏木平八郎：
エイズカウンセラー研修会
茨城県精神健康センター，10月23日，1996
- No. 8 山根 一秀：
不明熱
茨城県保険医協会（土浦）10月，1996
- No. 9 柏木平八郎：
エイズは予防できる
茨城大学人文学部，12月3日，1996

1997年（膠原病・リウマチ・アレルギーグループ）

原 著

- No. 1 Suzuki H, Matsui Y, Kashiwagi H. :
Interleukin-1 receptor antagonist gene polymorphism in Japanese patients with systemic lupus erythematosus.
Arthritis and Rheumatism 40 : 389-390, 1997
- No. 2 Suzuki H, Takemura H, Suzuki M, Sekine Y, Kashiwagi H. :
Molecular cloning of anti-SS-A/Ro 60-kd peptide Fab fragments from infiltrating salivary gland lymphocytes of a patient with Sjögren's syndrome.
Biochemical and Biophysical Research Communications 232 : 101-106, 1997
- No. 3 赤間 高雄, 大滝 純司, 牧 真一, 河野 一郎 :
運動によるサイトカインレセプター濃度の変化
臨床スポーツ医学 14 : 201-205, 1997
- No. 4 秋本 崇之, 香田 泰子, 赤間 高雄, 柳川 真美, 龍野 美恵子, 杉浦 弘一,
柿山 哲治, 前田 清司, 河野 一郎, 松田 光生 :
一過性運動負荷による唾液中分泌型IgAの変動 一視覚障害者における検討一
体力科学 46 : 523-528, 1997
- No. 5 和久 貴洋, 河野 一郎, 小沢 聡, 斉藤 実, 香田 泰子, 赤間 高雄, 香田 郡秀,
佐藤 成明 :
大学女子剣道部員における寒稽古時の夜間尿中カテコラミン排泄量とフィットネスの
変化
武道学研究 30(2) : 36-47, 1997
- No. 6 Aoki Y :
Povidone-iodine as a drug for topical treatment against MRSA infections-
compared with antibiotics
Dermatology 195(suppl 2) : 153, 1997
- No. 7 青木 泰子 :
筑波大学附属病院で最近8年間に経験した結核症58例の解析
感染症学雑誌 71(1) : 26-33, 1997
- No. 8 須田 光明, 林 浩一郎, 青木 泰子, 中井 利昭, 澤畑 辰男, 相良 悦朗,
新井 克明 :
当院における黄色ブドウ球菌感受性の変遷
日本骨・関節感染症研究学会雑誌 11 : 95-98, 1997

綜 説

- No. 1 鈴木 博史 :
抗体の作成. 3. Phage-display 法.
臨床免疫特別増刊号 新臨床免疫実験操作法
(Part 3)29(Suppl. 17) : 250-257, 1997

- No. 2 鈴木 博史：
慢性関節リウマチの治療に試みられた抗細胞表面抗体—CD4, HLA-DR など
医学のあゆみ 182：675-678, 1997
- No. 3 竹村 博之：
検体検査 5. 免疫学的検査 h) リウマトイド因子, 抗核抗体
臨床スポーツ医学 14(臨時増刊)：200-202, 1997
- No. 4 Takamichi Yuhara：
Risk factors for infection in patients with systemic lupus erythematosus.
Drugs of Today 33(9)：673-682, 1997
- No. 5 赤間 高雄：
免疫グロブリン(IgG, IgM, IgA)
臨床スポーツ医学 14(臨時増刊)：180-181, 1997
- No. 6 赤間 高雄：
サイトカイン(可溶性レセプターを含む)
臨床スポーツ医学 14(臨時増刊)：213-214, 1997
- No. 7 赤間 高雄：
抗リン脂質抗体
臨床スポーツ医学 14(臨時増刊)：203-204, 1997
- No. 8 赤間 高雄：
補体(C3, C4, 補体価)
臨床スポーツ医学 14(臨時増刊)：182-183, 1997
- No. 9 赤間 紅美子, 赤間 高雄：
皮膚テスト
臨床スポーツ医学 14(臨時増刊)：313-315, 1997
- No. 10 秋本 崇之, 赤間 高雄：
唾液 IgA
臨床スポーツ医学 14(臨時増刊)：215-216, 1997
- No. 11 秋本 崇之, 赤間 高雄：
リンパ球芽球化反応試験
臨床スポーツ医学 14(臨時増刊)：207-208, 1997
- No. 12 秋本 崇之, 赤間 高雄：
T・Bリンパ球サブセット
臨床スポーツ医学 14(臨時増刊)：205-206, 1997
- No. 13 河野 一郎, 秋本 崇之, 杉浦 弘一, 赤間 高雄：
スポーツ活動と免疫機能
心身医療 9(9)：271-275, 1997
- No. 14 山根 一秀, 湯原 孝典：
発熱
リウマチ科 17：351-356, 1997

- No. 15 山根 一秀：
ステロイド剤の使い方
臨床と研究 74：1-3, 1997
- No. 16 湯原 孝典, 柏木 平八郎：
結節性動脈周囲炎
医学と薬学 38(3)：475-481, 1997
- No. 17 青木 泰子：
抗菌薬の使い方：リンコマイシン系
内科 79(2)：245-248, 1997
- No. 18 青木 泰子：
トピックス ムピロシン
検査と技術 25(9)783-785, 1997

著 書

- No. 1 鈴木 博史：
IV編 4章 新しい治療法
1.モノクローナル抗体による治療
2.抗サイトカイン療法, 3.アンチセンスオリゴヌクレオチド
による免疫制御の可能性, 臨床免疫学(第1版)
狩野 省吾, 宮坂 信之, 湊長 博編, 東京, 浅倉書店, pp381-388, 1997
- No. 2 湯原 孝典：
鎮痛 治療薬ガイド'97(Medical Practice 編集委員会・編)
文光堂(東京), pp132-136, 1997
- No. 3 青木 泰子：
感染防止の基礎知識 感染経路
感染対策ハンドブック(小林 寛伊編, 小学館)pp41-42, 1997
- No. 4 青木 泰子：
感染症患者へのアプローチ
(黒川 清, 斎藤 英彦, 矢崎 義雄 編, 金芳堂)
EBM 現代内科学 pp2111-2112, 1997
- No. 5 青木 泰子：
感染症の治療および患者管理
(黒川 清, 斎藤 英彦, 矢崎 義雄 編, 金芳堂)
EBM 現代内科学 pp2116-2118, 1997

学会発表

- No. 1 鈴木 博史, 竹村 博之, 湯原 孝典, 赤間 高雄, 山根 一秀, 柏木平八郎：
ファージディスプレイ法の自己抗体(抗 SS-A 抗体)のクローニングと遺伝子解析への
応用
第41回日本リウマチ学会総会(名古屋), 5月, 1997

- No. 2 勝部 好裕, 鈴木 博史, 竹村 博之, 湯原 孝典, 赤間 高雄, 山根 一秀,
佐々木 毅, 柏木 平八郎:
ファージディスプレイ法によるヒト抗 DNA 抗体産生細胞株 NE-1由来のリコンビナント抗体 (Fab) の作成および遺伝子解析
第41回日本リウマチ学会総会(名古屋), 5月, 1997
- No. 3 臼井 丈一, 竹村 博之, 湯原 孝典, 赤間 高雄, 鈴木 博史,
渋谷 進, 山根 一秀:
肺動脈型高安病長期経過中に発症した再発性 Dieulafoy 型食道潰瘍の1例
第456回日本内科学会地方会(東京), 7月, 1997
- No. 4 鈴木 博史, 竹村 博之, 湯原 孝典, 赤間 高雄, 山根 一秀, 柏木 平八郎:
ファージディスプレイ法の自己抗体(抗 SS-A 抗体)のクローニングと遺伝子解析への応用
第41回日本リウマチ学会総会(名古屋), 5月, 1997
- No. 5 赤間 高雄, 秋本 崇之, 竹村 博之, 湯原 孝典, 鈴木 博史, 山根 一秀,
柏木 平八郎:
抗 prothrombin 抗体の反応性について
第41回日本リウマチ学会総会(名古屋), 5月, 1997
- No. 6 湯原 孝典, 竹村 博之, 赤間 高雄, 鈴木 博史, 山根 一秀, 柏木 平八郎:
強皮症患者における血清免疫グロブリンと間質性肺病変との関係
第41回日本リウマチ学会総会(名古屋), 5月, 1997
- No. 7 坂内 通宏, 會根 博仁, 川上 康, 赤間 高雄, 成島 勝彦, 奥田 諭吉:
慢性関節リウマチにおける血管内皮細胞増殖因子(VEGF)血中濃度測定の意義および抗 VEGF 療法の有用性に関する検討
第41回日本リウマチ学会総会(名古屋), 5月, 1997
- No. 8 竹村 博之, 鈴木 博史, 赤間 高雄, 湯原 孝典, 山根 一秀, 柏木 平八郎:
強皮症皮膚線維芽細胞のインターロイキン-6(IL-6)生産異常
第41回日本リウマチ学会総会(名古屋), 5月, 1997
- No. 9 湯原 孝典, 竹村 博之, 赤間 高雄, 鈴木 博史, 山根 一秀, 柏木 平八郎:
抗 Jo-1抗体, 抗セントロメア抗体, 抗 DNA 抗体の順に自己抗体が出現した多発性筋炎の1例.
第25回日本臨床免疫学会総会(名古屋), 9月, 1997
- No. 10 秋本 崇之, 赤間 高雄, 林 栄輔, 香田 泰子, 和久 貴洋, 龍野 美恵子,
杉浦 弘一, 小沢 聡, 天野 和彦, 河野 一郎:
10日間の運動負荷による唾液分泌型 IgA の変動
第52回日本体力医学会大会(大阪), 9月, 1997
- No. 11 赤間 高雄, 秋本 崇之, 林 栄輔, 杉浦 弘一, 龍野 美恵子, 香田 泰子,
和久 貴洋, 河野 一郎:
運動による Interleukin-12血漿濃度の変動
第52回日本体力医学会大会(大阪), 9月, 1997

- No. 12 香田 泰子, 秋本 崇之, 赤間 高雄, 和久 貴洋, 林 栄輔, 龍野 美恵子,
杉浦 弘一, 小沢 聡, 天野 和彦, 河野 一郎:
剣道の寒稽古による NK 細胞数の変動
第52回日本体力医学会大会(大阪), 9月, 1997
- No. 13 林 栄輔, 秋本 崇之, 赤間 高雄, 龍野 美恵子, 香田 泰子, 和久 貴洋,
目崎 登, 河野 一郎:
スポーツ活動による児童の唾液中分泌型 IgA の変動
第52回日本体力医学会大会(大阪), 9月, 1997
- No. 14 和久 貴洋, 伊藤 静夫, 永富 良一, 赤間 高雄, 河野 一郎:
ジュニア期のスポーツ活動と防衛体力に関する研究
第52回日本体力医学会大会(大阪), 9月, 1997
- No. 15 赤間 高雄, 久賀 圭祐, 山田 さつき, 大塚 盛男, 武藤 弘, 河野 一郎:
スポーツ選手における花粉症—大学新入生での調査
第8回日本臨床スポーツ医学会学術集会(東京), 11月, 1997
- No. 16 品川 篤司, 小松 恒彦, 山根 一秀, 二宮 治彦:
シューグレン症候群にM蛋白血症および免疫性血小板減少性紫斑病を合併した1例
第39回日本臨床血液学会総会:(東京), 11月, 1997
- No. 17 Aoki Y:
Povidone-iodine as a drug for topical treatment against MRSA infections -
compared with antibiotics.
Third Asian Pasific Congress of Antisepsis. January, Sydney
- No. 18 青木 泰子, 福山 なおみ, 鈴木 君恵:
アンケート, ツ反, 抗体検査から見た医療従事者へのワクチンの必要性和問題点.
第12回日本環境感染学会総会(新潟), 2月
環境感染 12:34-35, 1997
- No. 19 青木 泰子, 村岡 宏江, 小林 寅雄:
内科外来で遭遇した急性単純性尿路感染症の臨床, および, 細菌学的検討.
第71回日本感染症学会総会(札幌), 4月
感染症学雑誌 71:966-967, 1997
- No. 20 青木 泰子:
尿路感染症から分離された大腸菌に対する経口抗菌薬の殺菌力の比較.
第45回日本化学療法学会総会(東京), 6月
日本化学療法学会雑誌 45:379, 1997
- No. 21 青木 泰子:
耐性グラム陽性球菌感染症に対する vancomycin と imipenem/cilastatin 併用療法の検討.
第44回日本化学療法学会東日本支部総会(横浜), 11月
日本化学療法学会雑誌 46:38, 1998

班研究報告

No. 1 湯原 孝典：

混合性結合組織病の自然歴：抗 U1RNP 抗体陽性患者の臨床経過の分類。

厚生省特定疾患混合性結合組織病分科会平成 9 年度研究報告書(印刷中)：1997

No. 2 赤間 高雄, 秋本 崇之, 林 榮輔, 龍野 美恵子, 杉浦 弘一, 天野 和彦, 香田 泰子, 河野 一郎：

スポーツ選手の口腔局所免疫能の評価に関する研究—唾液採取の実施上の問題点

平成 8 年度財団法人日本体育協会スポーツ医・科学研究報告集 No.IV ジュニア期におけるスポーツ活動が免疫機能に与える影響に関する研究—第1報—

39：46, 1997

その他

No. 1 湯原 孝典, 竹村 博之, 赤間 高雄, 鈴木 博史, 山根 一秀, 柏木 平八郎：

疾患修飾性抗リウマチ薬(DMARDs)を使用した抗 RNP 抗体陽性の多発性関節炎の 3 例

第 3 回茨城リウマチ研究会(つくば)：11月, 1997

No. 2 赤間 高雄：

スポーツ医学 Q&A 運動すると血尿が出るのですが

臨床スポーツ医学 14：536-537, 1997

No. 3 赤間 高雄：

わかりやすいアンチドーピング 風邪をひいたらどうしたらよいのですか

指導者のためのスポーツジャーナル 195：30-31, 1997

No. 4 山根 一秀：

不明熱

茨城県保険医協会：10月, 1997

No. 5 青木 泰子：

抗菌薬の使い分け—広域抗菌薬と狭域抗菌薬

茨城県薬剤師会学術講演会：6月, 1997

No. 6 青木 泰子：

食中毒と腸管感染症

医師会下妻支部勉強会：6月, 1997

No. 7 青木 泰子：

外来感染症と経口抗生剤

行方郡医師会学術講演会：7月, 1997

No. 8 青木 泰子：

食中毒と消化管感染症

竜ヶ崎市牛久市医師会学術講演会：7月, 1997

No. 9 青木 泰子：

感染症における最近の話題

取手市医師会学術講演会：9月, 1997

No. 10 青木 泰子：
感染症における最近の話題

千葉県安房医師会学術講演会：11月，1997

No. 11 青木 泰子：
MRSA 保菌者対策

千葉県院内感染対策研究会：12月，1997

1998年（膠原病・リウマチ・アレルギーグループ）

原 著

- No. 1 Katsube Y, Suzuki H, Muryoi T and Sasaki T :
Analysis of kappa light chain contribution to anti-DNA antibody activity of a human VH4-21-encoded monoclonal antibody (NE-1) by antibody-phage display technique.
Int. J. Mol. Med. 1 : 863-868, 1998
- No. 2 Nishioka K., Hasunuma T., Kato T., Sumida T., and Kobata T. :
Apoptosis in rheumatoid arthritis: A novel pathway in regulation of synovial tissue (review)
Arthritis Rheum. 41 : 1-9, 1998
- No. 3 Fujisawa K., Okamoto K., Murata H., Hasunuma T., Sumida T., and Nishioka K. :
Evidence for autoantigens of env/tax proteins in HTLV-I tax transgenic mice
Arthritis Rheum 41 : 101-109, 1998
- No. 4 Sumida T., Hasunuma T., Asahara H., Maeda T., and Nishioka K. :
Rheumatoid arthritis and apoptosis (review)
Int. Med. 37 : 184-188, 1998
- No. 5 Okamoto K., Asahara H., Kobayashi T., Matsuno H., Hasunuma T., Kobata T., Sumida T., and Nishioka K. :
Potential induction of apoptosis in rheumatoid synovium by Fas ligand gene transfer
Gene Therapy. 5 : 331-338, 1998
- No. 6 Kita Y., Kuroda K., Mimori T., Hashimoto T., Yamamoto K., Saito Y., Iwamoto I., and Sumida T. :
T cell receptor clonotypes in skin lesions From Patients with systemic lupus erythematosus
J. Invest Dermatol. 110 : 41-46, 1998
- No. 7 Maeda T., Webb D.R., Kobata T., Hisose S., Shirai T., Nishioka K., and Sumida T. :
Deletion of signaling molecule gene resembling the cytoplasmic domain of Igb in autoimmune prone mice
Int. Immunol. 6 : 815-821, 1998
- No. 8 Takemura H, Suzuki H, Fujisawa H, Yuhara T, Akama T, Yamane K, and Kasiwagi H. :
Enhanced IL-6 production by cultured fibroblasts from patients with systemic sclerosis in response to platelet-derived growth factor (PDGF)
J. Rheumatol. 25 : 1534-1539, 1998

- No. 9 Kaneko S, Nagata M, Takemura H, Yuhara T, Akama T, Suzuki H, Yamane K, Kashiwagi H :
Gelatinous transformation of bone marrow with pancytopenia in an emaciated patient with systemic lupus erythematosus
Jpn. J. Rheumatol. 8 : 167-173, 1998
- No. 10 Imamura F., Aono H., Hasunuma T., Sumida T., Tateishi H., Maruo S., and Nishioka K :
Monoclonality of synoviocytes are responsible for rapid progression of bone destruction in rheumatoid arthritis
Arthritis Rheum. 41 : 1979-1986, 1998
- No. 11 Matsumura R., Umemiya, Kagami M., Tomioka H., Tanabe E., Sugiyama T., Sueishi M., Nakajima A., Azuma M., Okumura K., and Sumida T :
Glandular and Extraglandular expression of Fas-Fas ligand and apoptosis in patients with Sjögren's syndrome
Clin. Exp. Rheumatol 16 : 561-568, 1998
- No. 12 Sumida T., Maeda T., Taniguchi M., Nishioka K., and William Stohl :
TCR AV24 Gene Expression in Double Negative T Cells in Systemic Lupus Erythematosus
Lupus 7 : 565-568, 1998
- No. 13 秋本 崇之, 赤間 高雄, 香田 泰子, 天野 和彦, 和久 貴洋, 林 栄輔, 龍野 美恵子, 杉浦 弘一, 河野 一郎 :
高強度トレーニングによる安静時唾液中分泌型 IgA の変動
体力科学 47 : 245-252, 1998
- No. 14 青木 泰子, 庄司 進一, 大滝 純司, 鈴木 規宏, 西成田 真, 中島 雅美 :
単純性膀胱炎に対する至適抗菌薬療法の検索
内科専門医会誌 10 : 188-193, 1998
- No. 15 Aoki Y., Yamauchi Y., Hayashi H., Takayama Y., Tsuji A. :
Characterization of small colony variants methicillinresistant Staphylococcus aureus re-grown in the presence of arbekacin
J. Infect. Chemother 4(3) : 107-111, 1998

総 説

- No. 1 住田 孝之, 慶野 博 :
NKT 細胞による自己免疫の制御
臨床免疫 30 : 322-328, 1998
- No. 2 住田 孝之 :
関節内免疫応答の分子機構
リウマチ科 19 : 311-318, 1998
- No. 3 住田 孝之 :
シェーグレン症候群と Fas 抗原
炎症と免疫 6 : 53-57, 1998

- No. 4 住田 孝之：
RA とシェーグレン症候群
RA&セラピー 4：40-51, 1998
- No. 5 浅原 弘嗣, 住田 孝之：
HTLV-I とリウマチ疾患
自己免疫疾患の臨床 1998(II)53：95-102, 1998
- No. 6 住田 孝之, 村田 秀行, 松本 功, 高林 克己：
シェーグレン症候群の間質性腎炎
リウマチ科 19：456-462, 1998
- No. 7 前田 敏郎, 住田 孝之：
ITAM と ITIM
臨床免疫 30(10)：1465-1470, 1998
- No. 8 住田 孝之：
シェーグレン症候群の特異的制御
第95回日本内科学会雑誌 87：9：85-91, 1998
- No. 9 住田 孝之：
自己免疫疾患の特異的制御
最新医学 10：158-165, 1998
- No. 10 住田 孝之：
NKT 細胞と臨床
アレルギー科 6(1)：42-48, 1998
- No. 11 湯原 孝典, 山根 一秀：
ステロイドの種類と適応疾患
今月の治療 2：130-134, 1998
- No. 12 山根 一秀：
慢性関節リウマチ (RA) の早期診断と治療におけるジレンマ
Medical Practice 15：1962, 1998
- No. 13 村田 秀行, 高林克己, 住田 孝之：
抗リン脂質抗体症候群
組織培養工学 24(6)：(245)33-(247)35, 1998
- No. 14 住田 孝之：
21世紀に向けた診療の実際
Medical Practice 15：1989, 1998
- No. 15 住田 孝之：
NKT 細胞
Medical Practice 15：2072-2073, 1998
- No. 16 大久保 昭行, 山本 一彦, 住田 孝之, 竹内 勤：
リウマチ治療の現在と将来 (座談会)
Medical Practice 15：2011-2022, 1998

- No. 17 湯原 孝典：
混合性結合組織病/Overlap 症候群の肺病変・肺血管病変
The Lung perspective 6(3)：275-280, 1998
- No. 18 赤間 高雄：
花粉症
臨床スポーツ医学 15 臨時増刊：46, 1998
- No. 19 赤間 高雄：
低血糖症
臨床スポーツ医学 15 臨時増刊：249, 1998
- No. 20 赤間 高雄：
感冒・発熱
臨床スポーツ医学 15 臨時増刊：250-251, 1998
- No. 21 赤間 高雄：
乗り物酔い
臨床スポーツ医学 15 臨時増刊：262-263, 1998
- No. 22 青木 泰子：
推薦処方とその解説 膿膿瘍
今月の治療 10(6)：1095-1097, 1998
- No. 23 青木 泰子：
疾患から見た内科エマージェンシー 敗血症
medicina 35(11)：392-393, 1998
- No. 24 青木 泰子：
感染症診断へのアプローチ 院内感染(日和見感染)
臨床検査 42(11)：1439-1452, 1998
- No. 25 青木 泰子：
認定内科医トレーニング問題
日内会誌 87(10)：2070-2077, 1998
- No. 26 鈴木 博史：
低補体血症
Medicina 35(10)：1699-1701, 1998
- 著 書
- No. 1 Hasunuma T., Sumida T., and Nishioka K：
Human T cell leukemia virus type-1 and rheumatoid srthritis
Int. Rev. Immunol. 17：291-307, 1998
- No. 2 湯原 孝典：
鎮痛解熱薬
治療薬ガイド '98(Medical Practice 編集委員会・編)
文光堂(東京), pp132-136, 1998

- No. 3 赤間 高雄：
免疫疾患

アスレチックトレーナーのためのスポーツ医学
文光堂, pp77-79, 1998

- No. 4 赤間 高雄：
スポーツマンに多い疾患—貧血, オーバートレーニング

アスレチックトレーナーのためのスポーツ医学
文光堂, pp95-98, 1998

- No. 5 青木 泰子：
MRSA 重症感染症治療の考え方

(耐性菌感染症の理論と実際 平松 啓一 編,
医薬ジャーナル社 pp.213-216, 1998)

報告書

- No. 1 住田 孝之, 松本 功, 西岡 久寿樹：

シェーグレン症候群における唾液腺内T細胞の抗原解析

厚生省特定疾患 特定疾患に関する免疫研究班
平成10年度研究報告書：7-11, 1998

- No. 2 湯原 孝典, 竹村 博之, 赤間 高雄, 鈴木 博史, 山根 一秀：

混合性結合組織病の自然歴：症状発現の時期を考慮した抗U1-RNP抗体陽性患者の臨床経過の分類

厚生省特定疾患 皮膚・結合組織疾患調査研究班
混合性結合組織病分科会
平成9年度研究報告書：12-17, 1998

- No. 3 青木 泰子：

小児の院内感染症の予防に関する基礎的, 臨床的研究

平成10年度小児受託研究中間報告書

学会発表

- No. 1 住田 孝之：

自己免疫疾患の特異的制御

福島県立医科大学分子生物セミナー(福島), 2月, 1998

- No. 2 鈴木 君江, 高梨 典子, 青木 泰子, 佐々木 俊子, 横田 すい子, 浦山 緑,
田家 みつ子, 神永 好夫, 飯田 晴美：

院内感染に関する看護婦教育の検討

第13回日本環境感染学会総会(東京), 2月, 1998

- No. 3 鈴木 博史：

ファージディスプレイ法によるヒトモノクローナル抗体の作成技術—その応用と展望

第9回関西免疫研究会(大阪), 2月, 1998

- No. 4 住田 孝之：
シェーグレン症候群（シンポジウム）
第95回日本内科学会総会講演会（博多），4月，1998
- No. 5 青木 泰子：
感染症コンサルテーションの現況—第3報
10年間のまとめと原因疾患の変遷
第72回日本感染症学会総会（大阪），4月，1998
- No. 6 住田 孝之：
シェーグレン症候群における唾液腺内T細胞の抗原解析
厚生省特定疾患 特定疾患に関する免疫研究班
班会議（東京），5月，1998
- No. 7 加藤 智啓，蓮沼 智子，小端 哲二，住田 孝之，西岡 久寿樹：
免疫系と滑膜細胞（シンポジウム）
第42回日本リウマチ学会総会（東京），5月，1998
- No. 8 赤間 高雄，秋本 崇之，竹村 博之，湯原 孝典，鈴木 博史，山根 一秀：
抗 prothrombin 抗体の検出方法に関する検討
第42回日本リウマチ学会総会（東京），5月，1998
- No. 9 小林 哲也，岡本 和義，小端 哲二，蓮沼 智子，住田 孝之，西岡 久寿樹：
TNF α による滑膜細胞の Fas 依存症アポトーシス誘導能の獲得メカニズムについて
第42回日本リウマチ学会総会（東京），5月，1998
- No. 10 秋本 崇之，赤間 高雄，竹村 博之，湯原 孝典，鈴木 博史，山根 一秀：
抗 prothrombin 抗体のエピトープの解析
第42回日本リウマチ学会総会（東京），5月，1998
- No. 11 鈴木 博史，勝部 好裕，鈴木 博，竹村 博之，湯原 孝典，赤間 高雄，
山根 一秀：
SLE 患者末梢血リンパ球よりファージディスプレイ法により作成した抗二本鎖 DNA 抗体（Fab）の解析
第42回日本リウマチ学会総会（東京），5月，1998
- No. 12 中村 洋，吉野 慎一，鈴木 伸之，郡司 直哉，住田 孝之，西岡 久寿樹：
変形性関節症におけるT細胞クロナリティの解析
第42回日本リウマチ学会総会（東京），5月，1998
- No. 13 積木 秀明，今村 史郎，蓮沼 智子，小端 哲二，住田 孝之，西岡 久寿樹：
リウマチ滑膜細胞の持続的増殖におけるテロメラーゼ活性の役割
第42回日本リウマチ学会総会（東京），5月，1998
- No. 14 Nguyen Dinh Khoa, Hasunuma T., Kobata T., Sumida T., and Nishioka K. :
Relationship between the expression of murine Hox9 gene, joint formation, and
rheumatoid arthritis
第42回日本リウマチ学会総会（東京），5月，1998

- No. 15 史 賢林, 小林 哲也, 岡本 和義, 蓮沼 智子, 小端 哲二, 住田 孝之,
西岡 久寿樹:
慢性関節リウマチ滑膜組織中及び関節液中の単核球におけるアポトーシス=抗 Fas 抗体と TNF- α に対する反応=
第42回日本リウマチ学会総会(東京), 5月, 1998
- No. 16 岡本 和義, 小林 哲也, 小端 哲二, 蓮沼 智子, 住田 孝之, 西岡 久寿樹:
RA 滑膜細胞における Fas 依存症アポトーシスシグナル伝達機構の解析
第42回日本リウマチ学会総会(東京), 5月, 1998
- No. 17 Weihong Yin, Hasunuma T., Kobata T., Sumida T., and Nishioka K.:
Contribution of HTLV-I Infected CD68+ Cells to Synovial Hyperplasia in HAAP
第42回日本リウマチ学会総会(東京), 5月, 1998
- No. 18 蓮沼 智子, 菅田 文彦, 本郷 佳世, 加藤 智啓, 小端 哲二, 住田 孝之,
飯野 四郎, 西岡 久寿樹:
フラビウイルス (GBV-C/HGV) と慢性関節リウマチ
第42回日本リウマチ学会総会(東京), 5月, 1998
- No. 19 慶野 博, 松本 功, 黒川真 奈絵, 加藤 智啓, 西岡 久寿樹, 住田 孝之:
慢性関節リウマチ滑膜における NKT 細胞解析
第42回日本リウマチ学会総会(東京), 5月, 1998
- No. 20 湯原 孝典, 竹村 博之, 赤間 高雄, 鈴木 博史, 山根 一秀:
抗 PNP 抗体陽性患者の臨床経過の分類
第42回日本リウマチ学会総会(東京), 5月, 1998
- No. 21 松本 功, 黒川 真奈絵, 加藤 智啓, 西岡 久寿樹, 住田 孝之:
シェーグレン症候群患者口唇唾液腺浸潤 T 細胞の単細胞レベルでの解析
第42回日本リウマチ学会総会(東京), 5月, 1998
- No. 22 住田 孝之:
自己免疫疾患の特異的制御へのアプローチ
第5回東京免疫フォーラム(東京), 5月, 1998
- No. 23 Hasunuma T., Kobayashi T., Okamoto K., Kobata T., Sumida T., and Nishioka K.:
Signal transduction of Fas-dependent apoptosis in rheumatoid synoviocytes
2nd Korea-Japan Combined meeting of Rheumatology
(京都), 6月, 1998
- No. 24 Keino H., Matsumoto I., Kurokawa M., Kato T., Nishioka K., and Sumida T.:
Analysis of TCR AV24+DN T cells in Rheumatoid Synovium
2nd Korea-Japan Combined meeting of Rheumatology
(京都), 6月, 1998
- No. 25 Matsumoto I., Kurokawa M., Kato T., Nishioka K., and Sumida T.:
Single Cell Analysis of T Cells Infiltrating Labial Salivary Glands from Patient-swth Sjögren's Syndrome
2nd Korea-Japan Combined meeting of Rheumatology
(京都), 6月, 1998

- No. 26 Suzuki M., Katsube Y., Suzuki H., Takemura H., and Sumida T :
Molecular cloning of anti-dsDNA autoantibody Fab fragments by a phage-dis-
playmethod
2nd Korea-Japan Combined meeting of Rheumatology
(京都), 6月, 1998
- No. 27 住田 孝之 :
自己免疫疾患の特異的制御
第25回北海道免疫研究会(札幌), 6月, 1998
- No. 28 青木 泰子, 辻 明良 :
MRSA に対する vancomycin と teicoplanin の殺菌力の比較
第46回日本化学療法学会総会(和歌山), 6月, 1998
- No. 29 新富 義侯, 青木 泰子, 米野 琢哉, 正田 純一, 田中 直見, 西村 和子,
宮治 誠 :
不明熱を呈し, 骨髓塗抹標本で診断された全身性ヒストプラズマ症の1例
第3回千葉真菌症研究会(千葉), 6月, 1998
- No. 30 住田 孝之 :
シェーグレン症候群の特異的制御へのアプローチ
特定領域研究(A)(1)免疫病の分子機構とその修復
(熊本), 7月, 1998
- No. 31 竹村 博之, 鈴木 博史, 住田 孝之 :
強皮症皮膚線維芽細胞のインターロイキン-6 (IL-6) 産生異常
第63回日本インターフェロン・サイトカイン学会
(東京), 7月, 1998
- No. 32 Akimoto T., Koda Y., Akama T., Kakiyama T., Kono I., and Matsuda M. :
ALTERATION OF SALIVARY IMMUNOGLOBULIN A BY A BOUT OF
EXERCISE IN THE VISUALLY IMPAIRED MALES
5th International Congress of Asian Society for
Adapted Physical Education and Exercise(Tsukuba), 8月, 1998
- No. 33 榎本 真美, 鈴木 博史, 竹村 博之, 湯原 孝典, 赤間 高雄, 山根 一秀,
住田 孝之 :
胃癌の手術後に症状の改善を認めた手掌筋膜炎・多発関節炎の一例
日本内科学会関東地方会(東京), 9月, 1998
- No. 34 住田 孝之 :
シェーグレン症候群の特異的制御へのアプローチ (シンポジウム)
第19回日本炎症学会(東京), 9月, 1998
- No. 35 村松 龍太郎, 後藤 東, 梅宮 恵子, 鏡味 勝, 富岡 玖夫, 杉山 隆夫, 末石 真,
住田 孝之 :
シェーグレン症候群患者の唾液腺炎, 間質性腎炎組織における導管, 尿細管上皮細胞
上に発現する機能分子
第8回日本シェーグレン症候群研究会(栃木), 9月, 1998

- No. 36 木村 文律, 松本 功, 住田 孝之:
シェーグレン症候群患者口唇唾液線浸潤T細胞の単細胞レベルでの解析及び認識対応抗原同定
第8回日本シェーグレン症候群研究会(栃木), 9月, 1998
- No. 37 住田 孝之:
自己免疫疾患の特異的制御
第36回阿見内科研究会(茨城), 9月, 1998
- No. 38 林 栄輔, 秋本 崇之, 赤間 高雄, 天野 和彦, 龍野 美恵子, 熊井 康こ,
香城 諭, 木村 文律, 香田 泰子, 和久 貴洋, 目崎 登, 河野 一郎:
運動負荷による児童の唾液中分泌型IgAの変動
第53回日本体力医学会大会(横浜), 9月, 1998
- No. 39 香田 泰子, 柿山 哲治, 赤間 高雄, 秋本 崇之, 林 栄輔, 香城 諭, 木村 文律,
天野 和彦, 熊井 康こ, 河野 一郎:
マラソンによる盲人ランナーの唾液中分泌型IgAの変動
第53回日本体力医学会大会(横浜), 9月, 1998
- No. 40 秋本 崇之, 赤間 高雄, 龍野 美恵子, 斎藤 実, 林 栄輔, 熊井 康こ, 香城 諭,
木村 文律, 香田 泰子, 和久 貴洋, 河野 一郎:
最大運動による血中Interleukin-12濃度の変動
第53回日本体力医学会大会(横浜), 9月, 1998
- No. 41 赤間 高雄:
防衛体力と免疫能—運動による免疫系の変化—
シンポジウム2:測れる体力・健康, 測れない体力・健康
第53回日本体力医学会大会(横浜), 9月, 1998
- No. 42 Aoki Y., Takanashi N., Arai K:
Survey on frequency and post-accident management of needlestick accidents in health professiona
4th International Conference of the Hospital Infection Society(Edinburgh), 9月, 1998
- No. 43 Akimoto T., Akama T., Kono I., and Sumida T:
B CELL EPITOPES OF ANTI-PROTHROMBIN AUTOANTIBODIES FROM PATIENTS WITH SYSTEMIC LUPUS ERYTHEMATOSUS AND ANTI-PHOSPHOLIPID SYNDROME
8th ISAPA(札幌), 10月, 1998
- No. 44 湯原 孝典, 竹村 博之, 赤間 高雄, 鈴木 博史, 山根 一秀, 住田 孝之:
リウマトイド因子が1年周期の増減を繰り返している1男性例
第4回リウマチ研究会(茨城), 10月, 1998
- No. 45 赤間 高雄, 秋本 崇之, 林 栄輔, 香田 泰子, 斎藤 実, 和久 貴洋, 目崎 登,
河野 一郎:
スポーツ選手におけるIgA測定のための唾液採取について
第9回日本臨床スポーツ医学会学術集会(札幌), 10月, 1998

- No. 46 Kitagawa M., Mitsui H., Onobori M., Suzuki H., and Sumida T :
 IL-12 PRODUCTION BY RHEUMATOID SYNOVIAL CELLS IS DIFFERENT-
 LY REGULATED BY THE SIGNAL VIA CD40 AND TNF- α
 62nd National Scientific Meeting of American College of
 Rheumatology, San Diego, USA, November, 1998
- No. 47 Hasunuma T., Matsuno H., Aono H., Nezuka T., Sasano M., Kobata T., Sumida T.,
 and Nishioka K :
 NOVEL THERAPEUTIC STRATEGY FOR RA BY ANTI-APO-1 CHIMERIC
 MAB
 62nd National Scientific Meeting of American College of
 Rheumatology, San Diego, USA, November, 1998
- No. 48 Akimoto T., Akama T., Kono I., and Sumida T :
 B CELL EPITOPES OF ANTI-PROTHROMBIN FROM PATIENTS WITH-
 SYSTEMIC LUPUS ERYTHEMA TOSUS AND ANTIPHOSPHOLIPID
 SYNDOROME
 62nd National Scientific Meeting of American College of
 Rheumatology, San Diego, USA, November, 1998
- No. 49 Nguyen Dinh Khoa., Hasunuma T., Kobata T., Sumida T., and Nishioka K :
 CRUCIAL ROLE OF HOXD-9 IN SYNOVIAL PROLIFERATION CAUSED BY
 HTLV-I TAX GENE
 62nd National Scientific Meeting of American College of
 Rheumatology, San Diego, USA, November, 1998
- No. 50 Okamoto K., Asahara H., Kobayashi T., Matsuno H., Kobata T., Hasunuma T.,
 Sumida T., and Nishioka K :
 INDUCTION OF APOPTOSIS IN THE RHEEUMATOIDSYNOVIUMBY FAS
 LIGAND GENE TRANSFER
 62nd National Scientific Meeting of American College of
 Rheumatology, San Diego, USA, November, 1998
- No. 51 Okamoto K., Kobayashi T., Kobata T., Hasunuma T., Sumida T., and Nishioka K :
 FADD/CASPASE-8/CASPASE-3/PARP PATHWAY IS ESSENTIAL FORFAS-
 MEDIATED APOPTOSIS OF RHEUMATOID SYNOVIOCYRES
 62nd National Scientific Meeting of American College of
 Rheumatology, San Diego, USA, November, 1998
- No. 52 Kobayashi T., Okamoto K., Kobata T., Hasunuma T., Sumida T., and Nishioka K :
 TNF α REGULATES FAS-MEDIATED APOPTOSIS IN SYNOVIAL CELLS
 62nd National Scientific Meeting of American College of
 Rheumatology, San Diego, USA, November, 1998

- No. 53 Hasunuma T., Sugata F., Maeda T., Sumida T., Iino S., and Nishioka K :
5'NON-CODING REGION OF GBV-C/HGV IS HIGHLY DETECTED IN
SERUM FROM RHEUMATOID ARTHRITIS PATIENTS
62nd National Scientific Meeting of American College of
Rheumatology, San Diego, USA, November, 1998
- No. 54 Wang M., Matsumoto I., Kurokawa M., Kato T., Keino H., Nishioka K., and
Sumida T :
A SINGLE CELL ANALYSIS OF FAS-LIGAND POSITIVE T CELLS IN
RHEUMATOID SYNOVIUM
62nd National Scientific Meeting of American College of
Rheumatology, San Diego, USA, November, 1998
- No. 55 黒沢 崇, 湯原 孝典, 竹村 博之, 赤間 高雄, 鈴木 博史, 山根 一秀,
住田 孝之 :
Streptococcus pneumoniae による壊死性筋膜炎を併発した混合性結合組織病の1例
第468回日本内科学会関東地方会(東京), 11月, 1998
- No. 56 秋本 崇之, 赤間 高雄, 住田 孝之 :
SLE 患者血清中に存在する抗 Prothrombin 抗体の B cell epitope の解析
第28回日本免疫学会総会・学術集会(神戸), 12月, 1998
- No. 57 鈴木 基博, 勝部 好裕, 鈴木 博史, 竹村 博之, 住田 孝之 :
Phage-Display 法により得られた抗二本鎖 DNA 抗体の機能と遺伝子解析
第28回日本免疫学会総会・学術集会(神戸), 12月, 1998
- No. 58 北川 峰丈, 三井 弘, 鈴木 博史, 住田 孝之 :
ヒト RA 滑膜細胞における IL-12産生機構
第28回日本免疫学会総会・学術集会(神戸), 12月, 1998
- No. 59 香城 諭, 慶野 博, 谷口 克, 住田 孝之 :
TCR AV24AJ18トランスフェクタントによるヒト NKT 細胞の対応抗原解析
第28回日本免疫学会総会・学術集会(神戸), 12月, 1998
- No. 60 滑川 尚史, 松村 竜太郎, 住田 孝之, 西岡 久寿樹 :
シェーグレン症候群患者口唇唾液腺内浸潤細胞障害性 CD4+CD28null T細胞の解析
第28回日本免疫学会総会・学術集会(神戸), 12月, 1998
- No. 61 湯原 孝典, 竹村 博之, 赤間 高雄, 鈴木 博史, 山根 一秀, 住田 孝之 :
混合性結合組織病の診断基準を満たす全身エリテマトーデスの臨床経過
第28回日本免疫学会総会・学術集会(神戸), 12月, 1998
- No. 62 慶野 博, 木村 文律, 西岡 久寿樹, 白井 正彦, 住田 孝之 :
実験的自己免疫性ぶどう膜網膜炎 (EAU) における眼内への特異的 T細胞クロノタイ
プの集積
第28回日本免疫学会総会・学術集会(神戸), 12月, 1998
- No. 63 柿本 信重, 竹村 博之, 湯原 孝典, 赤間 高雄, 山根 一秀, 住田 孝之 :
男性 SLE の臨床的特徴について
第9回リウマチ学会関東地方会(前橋), 12月, 1998

その他

No. 1 山根 一秀：

臨床検査 —RA を中心に—

下館医師会平成9年度研修会 3月, 1998

1999年 (膠原病・リウマチ・アレルギーグループ)

原 著

- No. 1 Akimoto T., Akama T., Kono I., Yamane K., and Sumida T :
Detergent and antigen fragility affect the ELISA for measurement of anti-prothrombin autoantibodies
J. Rheumatol. 26 : 580-587, 1999
- No. 2 Maeda T., Keino H., Asahara H., Taniguchi M., Nishioka K., and Sumida T :
Decreased TCR AV24AJ18 + double negative T cells in rheumatoid synovium
Br. J. Rheumatol. 186-188, 1999
- No. 3 Usui J., Takemura H., Yuhara T., Akama T., Suzuki H., Yamane K., and Sumida T :
Dieulafoy's lesion of the esophagus as a probable complication of Takayasu's arteritis
J. Rheumatol 26 : 454-456, 1999
- No. 4 Kobayashi T., Okamoto K., Kobata T., Hasunuma T., Sumida T., and Nishioka K :
Tumor necrosis factor [ga] regulation of the Fas-mediated apoptosis-signaling pathway in Synovial Cells
Arthritis Rheum 42 : 519-526, 1999
- No. 5 Uehara R., Fujisawa K., Kezuka T., Sakai J., Nishioka K., Sumida T., and Usui M :
Conserved TCR CDR3 region of ocular T cells in mice with experimental autoimmune uveoretinitis
Opth. Research 31 : 249-255, 1999
- No. 6 Sumida T., Maeda T., Taniguchi M., Nishioka K., and Stohl W :
TCR AV24 gene expression in double negative T cells in systemic lupus erythematosus
Lupus 7 : 565-568, 1999
- No. 7 Saitoh I., Haryta K., Shimuta M., Inoue H., Sakurai H., Yamada K., Ishimaru N., Higashiyama H., Sumida T., Ishida H., Suda T., Noda T., Hayashi Y., and Tsubota K
Fas ligand-mediated exocrinopathy resembling Sjögren's Syndrome in mice transgenic for IL-10
The Journal of Immunology 162 : 2488-2494, 1999
- No. 8 Sumida T :
Sjögren's syndrome
Int. Med. 38 : 165-168, 1999
- No. 9 Suzuki M., Katsube Y., Suzuki H., Takemura H., and Sumida T :
Cloning and functional analysis of anti-double strand DNA IgG autoantibodies using the phage-display method
Int. J. Mol. Med. 3 : 385-390, 1999

- No. 10 Matsumoto I., Maeda T., Takemoto Y., Hashimoto Y., Kimura F., Iwamoto I., Saito Y., Nishioka K., and Sumida T :
 α -amylase functions as a salivary gland-specific self T cell epitope in patients with Sjögren's syndrome
 Int. J. Mol. Med. 3 : 485-490, 1999
- No. 11 Keino H., Matsumoto I., Okada S., Kurokawa M., Kato T., Tokuhisa T., Usui M., Taniguchi M., Nishioka K., and Sumida T :
 A single cell analysis of TCR AV24 AJ18 + DN T cells
 Microbiol. Immunol. 43(6) : 000-000, 1999
- No. 12 Kitagawa M., Mitsui H., Nakamura H., Yoshino S., Miyakawa S., Ochiai N., Onobori M., Suzuki H., and Sumida T :
 Interleukin-12 production by rheumatoid synovial cells is differentially regulated by tumor necrosis factor- α and CD40 signals
 Arthritis Rheum 42 : 1917-1926, 1999
- No. 13 Murata H., Nakauchi H., and Sumida T :
 Microchimerism in Japanese women patients with systemic sclerosis
 Lancet 354 : 220, 1999
- No. 14 Matsumoto I., Okada S., Kuroda K., Iwamoto I., Saito Y., Tokuhisa T., Nishioka K., and Sumida T :
 Single cell analysis of T cells infiltrating labial salivary glands from patients with Sjögren's syndrome
 Int. J. Mol. Med. 4 : 519-527, 1999
- No. 15 Akimoto T., Akama T., Kono I., and Sumida T :
 Relationship between clinical features and binding domains of anti-prothrombin autoantibodies in patients with systemic lupus erythematosus and antiphospholipid syndrome.
 Lupus 8 : 761-766, 1999

総 説

- No. 1 住田 孝之 :
 関節炎の発症と持続
 カレントセラピー 17 : 16-22, 1999
- No. 2 住田 孝之 :
 関節炎の発症と持続
 現代医療 31 : 22-27, 1999
- No. 3 住田 孝之 :
 シェーグレン症候群の発症機構, 診断, 医療
 現代医療 31 : 126-134, 1999
- No. 4 住田 孝之 :
 自己免疫疾患の対応抗原の検索
 臨床免疫 31 : 755-760, 1999

- No. 5 山根 一秀：
ステロイドパルス療法にメチルプレドニゾロンを用いる理由
日本医事新報 No 3897：143-144, 1999
- No. 6 住田 孝之：
膠原病の分子機構オーバービュー
現代医療 31：22-27, 1999
- No. 7 住田 孝之：
シェーグレン症候群の発症機構，診断，治療
現代医療 31：126-134, 1999
- No. 8 住田 孝之：
『免疫－しくみと疾患のすべて』（宮坂信之編）を読んで
医学のあゆみ 189(3)：192, 1999
- No. 9 住田 孝之，香城 諭，慶野 博：
NKT 細胞による自己免疫疾患の特異的制御
炎症と免疫 7(4)：65- 72, 1999
- No. 10 住田 孝之：
自己免疫疾患の対応抗原の検索
臨床免疫 31(6)：755-760, 1999
- No. 11 住田 孝之：
シェーグレン症候群 ー発症の分子機構と特異的制御ー
日本臨床免疫学会会誌 22(3)：101-110, 1999
- No. 12 住田 孝之：
シェーグレン症候群の最新知見
臨床成人病 29(7)：899-905, 1999
- No. 13 村田 秀行，住田 孝之：
Sjögren 症候群の尿細管障害における浸潤 T 細胞の clonality
日本内科学会雑誌 88(8)：102-107, 1999
- No. 14 赤間 高雄：
免疫とスポーツ
体育の科学 49(8)：618-621, 1999
- No. 15 村田 秀行，住田 孝之：
膠原病近縁疾患 シェーグレン症候群
臨床と研究 76：72-77, 1999
- No. 16 赤間 高雄：
免疫とスポーツ
体育の科学 49：618-621, 1999
- No. 17 石川 正憲，鈴木 利人，安部 秀三，山川百合子，白石 博康，赤間 高雄：
NPSLE の診断と治療効果判定における脳波および MR 検査の有用性に関する検討
精神医学 41(9)：967-973, 1999

- No. 18 住田 孝之：
NKT 細胞 Natural Killer T (NKT) cell
KEY WORD 2000-2001 膠原病 pp196-197, 1999
- No. 19 住田 孝之：
「ターミナル・ケアに対する学生の意識」を読んで
医学教育 30(5)：295, 1999
- No. 20 赤間 高雄：
スポーツ選手の貧血 (スポーツ医学Q & A)
臨床スポーツ医学 16(10)：1220-1221, 1999
- No. 21 住田 孝之：
自己免疫性疾患の発症機序
医学と薬学 42(5)：669-675, 1999
- No. 22 住田 孝之：
外分泌腺に浸潤する T 細胞と対応抗原
あたらしい眼科 16(11)：1491-1499, 1999

著 書

- No. 1 住田 孝之：
病因と発症機序
慢性関節リウマチ (インフォームドコンセントのための図説シリーズ)
監修者 川合 眞一, 医薬ジャーナル社, 1999

研究報告

- No. 1 赤間 高雄, 林 栄輔, 秋本 崇之：
ジュニア期のスポーツ選手の口腔内局所免疫能の評価に関する研究
—運動負荷テストによる唾液中分泌型 IgA の変動—
平成10年度 日本体育協会スポーツ医・科学研究報告 No.VI
ジュニア期におけるスポーツ活動と防衛体力に関する研究
—第3報—, 20-24, 1999
- No. 2 住田 孝之：
抗リン脂質抗体症候群：抗プロトンピン抗体のエピトープ
厚生省重点研究事業 SLE における難治性病態の早期診断と治療
平成10年度研究業績報告書 平成11年3月
- No. 3 住田 孝之：
シェーグレン症候群の特異的制御へのアプローチ
上原記念生命科学財団研究報告書 13：277-278, 1999

その他

- No. 1 簗田 清次, 坂根 剛, 住田 孝之, 原 まさ子：
自己免疫疾患の病因と治療《座談会》
臨床雑誌「内科」83：127-140, 1999

- No. 2 山本 一彦, 住田 孝之, 三森 経世:
リウマチ性疾患の臨床検査とその読み方《座談会》
RA & セラピー 5(3):11-27, 1999
- No. 3 小池 隆夫, 高林克己, 住田 孝之:
膠原病治療の21世紀への展望《座談会》
現代医療 31:2-20, 1999
- 学会発表
- No. 1 慶野 博, 住田 孝之:
リウマチ性疾患における NKT 細胞
第4回リウマチフォーラム (東京), 1月, 1999
- No. 2 住田 孝之, 木村 文律:
シェーグレン症候群における唾液腺内 T 細胞の T 細胞エピトープ解析
厚生省特定疾患 特定疾患に関する免疫研究班 (東京), 1月, 1999
- No. 3 住田 孝之:
リウマチ膠原病 —サイエンスに基づく診断・治療—
平成10年度日本医師会生涯教育講座 (水戸), 1月, 1999
- No. 4 山根 一秀:
慢性関節リウマチの診断と治療
真壁支部『学術講演会』, 1月, 1999
- No. 5 Akama T., Akimoto T., Kono I., and Mesaki N.:
Alteration of Secretory Immunoglobulin A in Saliva after Exercise
THE 3RD INTERNATIONAL JUDO SYMPOSIUM (東京), 1月, 1999
- No. 6 住田 孝之:
シェーグレン症候群の基礎と臨床
第26回筑波大学眼科集談会 (筑波), 2月, 1999
- No. 7 住田 孝之:
慢性関節リウマチとシェーグレン症候群
第6回埼玉骨・関節疾患研究会 (大宮), 2月, 1999
- No. 8 竹村 博之, 湯原 孝典, 赤間 高雄, 山根 一秀, 住田 孝之:
強皮症に出現する抗 IL-6 自己抗体の機能
第2回強皮症研究会議プログラム (東京), 2月, 1999
- No. 9 香城 諭, 住田 孝之:
強皮症患者における末梢血 AV24/BV11+T 細胞の選択的減少
第2回強皮症研究会議プログラム (東京), 2月, 1999
- No. 10 村田 秀行, 住田 孝之:
全身性硬化症女性におけるマイクロキメリズム解析
第2回強皮症研究会議プログラム (東京), 2月, 1999
- No. 11 古田 淳一, 湯原 孝典, 竹村 博之, 赤間 高雄, 山根 一秀, 住田 孝之:
難治性足趾潰瘍により above-knee amputation に至った強皮症の1例
第2回強皮症研究会議プログラム (東京), 2月, 1999

- No. 12 住田 孝之：
シェーグレン症候群の特異的制御
第6回自己抗体と自己免疫シンポジウム（東京），2月，1999
- No. 13 荒川 洋，赤間 高雄，竹村 博之，湯原 孝典，鈴木 博史，山根 一秀，
住田 孝之：
SLEに再発性多発軟骨炎を合併した1例
第470回日本内科学会関東地方会 2月，1999
- No. 14 住田 孝之：
シェーグレン症候群とリウマチ
茨城整形外科医会（つくば），3月，1999
- No. 15 湯原 孝典，竹村 博之，赤間 高雄，山根 一秀，住田 孝之：
混合性結合組織病の臨床的特徴：症候の種類とその発見時期の分析
第96回日本内科学会講演会（東京），3月，1999
- No. 16 住田 孝之：
自己免疫症の特異的制御
慶応義塾大学内科セミナー（東京），4月，1999
- No. 17 住田 孝之：
NKT細胞と自己免疫病（シンポジウム）
第61回日本血液学会（東京），4月，1999
- No. 18 井上 真理子，村田 秀行，竹村 博之，鈴木 基博，湯原 孝典，赤間 高雄，
山根 一秀，住田 孝之：
Sulfasalazineによる無顆粒球症を来した慢性関節リウマチの一例
第5回膠原病リウマチ懇談会（つくば），5月，1999
- No. 19 住田 孝之：
シェーグレン症候群の免疫異常（シンポジウム）自己免疫疾患の病因病態と治療
—内科，小児科，皮膚科，眼科，耳鼻科—
第11回日本アレルギー学会春季臨床大会（大阪），5月，1999
- No. 20 Kojo S., Keino H., and Sumida T：
A new strategy to detect TCR AV24AJ18+CD4-CD8-NKT cells
The third Korea-Japan Combined Meeting of Rheumatology（韓国），5月，1999
- No. 21 Kitagawa M., Suzuki H., Sumida T：
Interleukin-12 production by rheumatoid synovial cells is regulated by CD40
signals
The third Korea-Japan Combined Meeting of Rheumatology（韓国），5月，1999
- No. 22 秋本 崇之，赤間 高雄，齋藤 正博，河野 一郎，住田 孝之：
妊娠中毒症と流産患者における抗prothrombin抗体の検討
第43回日本リウマチ学会総会・学術集会（札幌），6月，1999
- No. 23 赤間 高雄，秋本 崇之，竹村 博之，湯原 孝典，山根 一秀，河野 一郎，
住田 孝之：
SLEにおける抗prothrombin抗体の解析
第43回日本リウマチ学会総会・学術集会（札幌），6月，1999

- No. 24 湯原 孝典, 竹村 博之, 赤間 高雄, 住田 孝之:
強皮症患者において血清免疫グロブリン濃度は肺機能と相關する
第43回日本リウマチ学会総会・学術集会 (札幌), 6月, 1999
- No. 25 香城 諭, 慶野 博, 住田 孝之:
自己免疫疾患患者の末梢血における TCR AV24/BV11+T 細胞の選択的減少
第43回日本リウマチ学会総会・学術集会 (札幌), 6月, 1999
- No. 26 木村 文律, 北川 峰丈, 住田 孝之:
シェーグレン症候群における自己抗原反応性 T 細胞の抗原解析
第43回日本リウマチ学会総会・学術集会 (札幌), 6月, 1999
- No. 27 滑川 尚史, 松村竜太郎, 住田 孝之, 西岡久寿樹:
シェーグレン症候群患者口唇唾液腺内浸潤細胞障害性 CD4+CD28-T 細胞の解析
第43回日本リウマチ学会総会・学術集会 (札幌), 6月, 1999
- No. 28 鈴木 基博, 竹村 博之, 住田 孝之:
抗二本鎖 DNA 抗体の fine specificity は, 軽鎖により決定される
第43回日本リウマチ学会総会・学術集会 (札幌), 6月, 1999
- No. 29 村田 秀行, 住田 孝之:
全身性硬化症女性におけるマイクロキメリズム解析
第43回日本リウマチ学会総会・学術集会 (札幌), 6月, 1999
- No. 30 竹村 博之, 湯原 孝典, 赤間 高雄, 山根 一秀, 住田 孝之:
強皮症皮膚硬化における CD40 の関与
第43回日本リウマチ学会総会・学術集会 (札幌), 6月, 1999
- No. 31 慶野 博, 木村 文律, 西岡久寿樹, 臼井 正彦, 住田 孝之:
実験的自己免疫性ぶどう膜網膜炎 (EAU) における regulatory T cell epitope の同定
第43回日本リウマチ学会総会・学術集会 (札幌), 6月, 1999
- No. 32 北川 峰丈, 宮川 俊平, 落合 直之, 中村 洋, 住田 孝之:
ヒト骨膜細胞における sCD40L 刺激による IL-12 産生
第43回日本リウマチ学会総会・学術集会 (札幌), 6月, 1999
- No. 33 千野 裕介, 湯原 孝典, 竹村 博之, 赤間 高雄, 山根 一秀, 住田 孝之:
全身性エリテマトーデスのサルコイドーシス合併症例の臨床的特徴
一症例報告と文献的考察—
第43回日本リウマチ学会総会・学術集会 (札幌), 6月, 1999
- No. 34 桂 行孝, 竹村 博之, 湯原 孝典, 赤間 高雄, 山根 一秀, 住田 孝之:
Cyclosporine A により皮膚硬化に著明な改善がみられた強皮症の2例
第43回日本リウマチ学会総会・学術集会 (札幌), 6月, 1999
- No. 35 林 太智, 湯原 孝典, 鈴木 基博, 村田 秀行, 竹村 博之, 赤間 高雄,
山根 一秀, 住田 孝之:
無症候性の Chlamydia trachomatis 感染症を合併し滑膜生検が診断に有用であった淋菌性関節炎の1例
第473回日本内科学会関東地方会 (東京), 6月, 1999

- No. 36 住田 孝之：
リウマチ・膠原病－サイエンスに基づく診断・治療－
第33周年リウマチ友の会茨城支部総会・大会（日立）， 6月，1999
- No. 37 玉川 優奈，竹村 博之，村田 秀行，湯原 孝典，赤間 高雄，山根 一秀，
住田 孝之：
急性発症した胸膜炎合併慢性関節リウマチの1例
第40回関東リウマチ研究会（東京）， 6月，1999
- No. 38 萩原 正大，赤間 高雄，竹村 博之，湯原 孝典，鈴木 基博，村田 秀行，
安達 佳宏，山根 一秀，住田 孝之：
再発生多発軟骨炎の2例
第40回関東リウマチ研究会（東京）， 6月，1999
- No. 39 住田 孝之：
慢性関節リウマチ治療の新展開
リウマチ財団 群馬地区リウマチ教育研修会（高崎）， 6月，1999
- No. 40 井上真理子，村田 秀行，鈴木 基博，竹村 博之，湯原 孝典，赤間 高雄，
山根 一秀，住田 孝之：
超皮質性感覚失語を来しMRSにて病変部に脳代謝異常を検出し得た中枢神経ループスの1例
第474回日本内科学会総会関東地方会（東京）， 7月，1999
- No. 41 住田 孝之：
リウマチ，膠原病：新しい治療戦略
第4回肝疾患研究会講演会（水戸）， 7月，1999
- No. 42 住田 孝之：
シェーグレン症候群の特異的制御へのアプローチ（シンポジウム）
平成11年度班会議「免疫病の分子機構とその修復」（札幌）， 7月，1999
- No. 43 Sumida T：
 α -Amylase functions as a salivary gland-specific self T cell epitope in patients with Sjögren's syndrome
The 100-year anniversary of Henrik Sjögren (Sweden)， 9月，1999
- No. 44 矢部 文顕，竹村 博之，鈴木 基博，村田 秀行，安達 佳宏，湯原 孝典，
赤間 高雄，山根 一秀，住田 孝之：
ぶどう膜炎合併神経 Behcet 病の1例
第475回日本内科学会関東地方会（つくば）， 9月，1999
- No. 45 住田 孝之：
シェーグレン症候群の特異的治療へのアプローチ
第9回日本シェーグレン症候群研究会（東京）， 9月，1999
- No. 46 松村竜太郎，梅宮 恵子，中沢 卓也，鏡味 勝，富岡 玖夫，田辺恵美子，
杉山 隆夫，末石 真，住田 孝之：
シェーグレン症候群の臓器炎における costimulatory 分子（CD28，CD80，CD86）の発現とその調節
第9回日本シェーグレン症候群研究会（東京）， 9月，1999

- No. 47 滑川 尚史, 西岡久寿樹, 松村竜太郎, 住田 孝之:
シェーグレン症候群患者口唇唾液腺における細胞傷害性 CD4+CD28-T 細胞の解析
第9回日本シェーグレン症候群研究会 (東京), 9月, 1999
- No. 48 住田 孝之:
パネルディスカッション〜リウマチ医療のネットワーク〜
日本リウマチ財団「第1回関東リウマチ医の会」(東京), 9月, 1999
- No. 49 山根 一秀:
慢性関節リウマチの初期診断と対応
第188回研修会 (下館), 9月, 1999
- No. 50 秋本 崇之, 齋藤 実, 林 栄輔, 香田 泰子, 赤間 高雄, 河野 一郎:
運動によって増加した好中球は筋損傷の修復に関与するか?
第54回日本体力医学会大会 (熊本), 9月, 1999
- No. 51 熊井 康こ, 秋本 崇之, 林 栄輔, 田辺 解, 木村 文律, 赤間 高雄,
香田 泰子, 石津 政雄, 久野 譜也, 岡田 守彦, 河野 一郎:
中高年者の唾液中 sIgA に対する運動トレーニングの影響
—大洋村健康づくりプロジェクト16—
第54回日本体力医学会大会 (熊本), 9月, 1999
- No. 52 赤間 高雄, 秋本 崇之, 熊井 康こ, 林 栄輔, 田辺 解, 木村 文律,
香田 泰子, 石津 政雄, 久野 譜也, 岡田 守彦, 河野 一郎:
中高年者の血液検査値に及ぼす運動トレーニングの影響
—大洋村健康づくりプロジェクト17—
第54回日本体力医学会大会 (熊本), 9月, 1999
- No. 53 安達 佳宏, 村田 秀行, 鈴木 基博, 竹村 博之, 湯原 孝典, 赤間 高雄,
山根 一秀, 住田 孝之:
+8トリソミーを伴う骨髓異形成症候群の患者に発症したベーチェット病の2例
第9回千葉膠原病セミナー (東京), 10月, 1999
- No. 54 三浦 光弘, 湯原 孝典, 村田 秀行, 竹村 博之, 赤間 高雄, 山根 一秀,
住田 孝之:
妊娠中に重篤な肝傷害を併発した成人スティル病の1例
第476回日本内科学会関東地方会 (東京), 10月, 1999
- No. 55 住田 孝之:
シェーグレン症候群の特異的制御へのアプローチ (シンポジウム)
第49回日本アレルギー学会 (広島), 10月, 1999
- No. 56 湯原 孝典, 鈴木 基博, 村田 秀行, 竹村 博之, 赤間 高雄, 山根 一秀,
住田 孝之:
慢性関節リウマチに合併する糖尿病における抗GAD抗体とインスリン自抗体
日本臨床免疫学会会誌 22(4):262, 1999
- No. 57 湯原 孝典, 住田 孝之:
慢性関節リウマチ患者における抗GAD抗体
第5回茨城リウマチ (つくば), 11月, 1999

- No. 58 三浦 光弘, 湯原 孝典, 村田 秀行, 竹村 博之, 赤間 高雄, 山根 一秀,
住田 孝之:
妊娠中に重篤な肝障害を併発した成人スティー病の1例
第5回茨城リウマチ(つくば), 11月, 1999
- No. 59 Murata H., and Sumida T :
T CELL RECEPTOR OF T CELLS IN THE KIDNEY FROM PATIENTS WITH
LUPUS NEPHRITIS
63rd ANNUAL SCIENTIFIC MEETING (BOSTON), November, 1999
- No. 60 Kimura F., Adachi Y., Kitagawa M., and Sumida T :
FUNCTION AND T CELL EPITOPES OF α -AMYLASE REACTIVE T CELLS
FROM PATIENTS WITH SJOGREN'S SYNDROME
63rd ANNUAL SCIENTIFIC MEETING (BOSTON), November, 1999
- No. 61 Namekawa T., Matsumura R., Sumida T., and Nishioka K :
INVOLVEMENT OF CYTOTOXIC CD4+CD22-T CELLS IN THE TISSUE
DESTRUCTION OF SALIVARY GLANDS FROM PATIENTS WITH SJOGREN'S SYNDROME
63rd ANNUAL SCIENTIFIC MEETING (BOSTON), November, 1999
- No. 62 Kitagawa M., Suzuki H., Nakamura H., Yoshino S., Miyakawa S., Ochiai S.,
and Sumida T :
CD3 STIMULATION INDUCES CD154 EXPRESSION ON SYNOVIAL T
CELL AND IL-12 PRODUCTION BY CD40+CD68+MACROPHAGE-LIKE
SYNOVIAL CELL
63rd ANNUAL SCIENTIFIC MEETING (BOSTON), November, 1999
- No. 63 Murata H., and Sumida T :
MICROCHIMERISM IN JAPANESE PATIENTS WITH SYSTEMIC SCLEROSIS
63rd ANNUAL SCIENTIFIC MEETING (BOSTON), November, 1999
- No. 64 Suzuki M., Takemura H., and Sumida T :
LIGHT CHAIN DETERMINES THE FINE SPECIFICITY OF ANTI-dsDNA
IgG AUTOANTIBODIES OBTAINED BY A PHAGE-DISPLAY METHOD
63rd ANNUAL SCIENTIFIC MEETING (BOSTON), November, 1999
- No. 65 Keino H., Takeuchi M., Suzuki J., Kimura F., Sakai J., Nishioka K., Usui M.,
and Sumida T :
REGULATORY T CELLS INFILTRATE INTO THE EYE DURING EXPERIMENTAL
AUTOIMMUNE UVEORETINITIS (EAU)
63rd ANNUAL SCIENTIFIC MEETING (BOSTON), November, 1999
- No. 66 Kojo S., Keino H., Imamura K., Furubayashi R., Taniguchi M.,
and Sumida T :
ENHANCEMENT OF NKT CELLS BY α -GALACTOSYLCERAMIDE IN
PATIENTS WITH AUTOIMMUNE DISEASES
63rd ANNUAL SCIENTIFIC MEETING (BOSTON), November, 1999

- No. 67 Shimizutani N., Keino H., Matsuoka K., and Sumida T :
ANALYSIS OF T CELL RECEPTOR $V\beta$ GENE EXPRESSION AND CLONALITY IN BRONCHOALVEOLAR FLUID LYMPHOCYTES WITH IDIOPATHIC PULMONARY FIBROSIS
63rd ANNUAL SCIENTIFIC MEETING (BOSTON), November, 1999
- No. 68 Akimoto T., Takeda T., Tanimura Y., Kimura F., Kitagawa M., Akama T., Numata O., Kono I., and Sumida T :
B CELL EPITOPES OF ANTI-PROTHROMBIN AUTOANTIBODIES BY USING RECOMBINANT MUTANT PROTEINS
63rd ANNUAL SCIENTIFIC MEETING (BOSTON), November, 1999
- No. 69 住田 孝之 :
シェーグレン症候群の基礎と臨床
お茶の水膠原病・リウマチ臨床医会 (東京), 11月, 1999
- No. 70 Sumida T :
Infiltrating T cells and autoantigens
7 th International Symposium on Sjögren's Syndrome (Venice), December, 1999
- No. 71 香城 諭, 安達 佳宏, 今村 寛司, 古林 亮介, 谷口 克, 住田 孝之 :
自己免疫疾患患者末梢における α -Galactosylceramide による TCR α V24AJ18+ NKT 細胞の誘導
第29回日本免疫学会総会・学術集会 (京都), 12月, 1999
- No. 72 木村 文律, 秋本 崇之, 北川 峰丈, 安達 佳宏, 住田 孝之 :
シェーグレン症候群における α アミラーゼの T 細胞エピトープ解析
第29回日本免疫学会総会・学術集会 (京都), 12月, 1999
- No. 73 村田 秀行, 松村竜太郎, 小山 哲夫, 住田 孝之 :
ループス腎炎における腎内浸潤 T 細胞の抗原受容体解析
第29回日本免疫学会総会・学術集会 (京都), 12月, 1999
- No. 74 秋本 崇之, 谷村 ゆう, 北川 峰丈, 赤間 高雄, 住田 孝之 :
リコンビナント欠損タンパクを用いた抗プロトロンビン抗体のエピトープ解析
第29回日本免疫学会総会・学術集会 (京都), 12月, 1999
- No. 75 北川 峰丈, 中村 洋, 住田 孝之 :
ヒト RA 滑膜細胞における CD154 および CD40 発現と IL-12 産生
第29回日本免疫学会総会・学術集会 (京都), 12月, 1999
- No. 76 慶野 博, 竹内 大, 鈴木 潤, 坂井 潤一, 白井 正彦, 西岡久寿樹, 住田 孝之 :
実験的ぶどう膜網膜炎 (EAU) における眼内 regulatory T cell epitope 反応性 T 細胞解析
第29回日本免疫学会総会・学術集会 (京都), 12月, 1999
- No. 77 清水谷尚宏, 慶野 博, 松岡 健, 坂本 透, 大塚 盛夫, 関沢 清久, 住田 孝之 :
特発性間質性肺炎の気管支肺胞洗浄液における T 細胞レセプターの解析
第29回日本免疫学会総会・学術集会 (京都), 12月, 1999

- No. 78 石毛 和紀, 杉本 孝示, 安達 佳宏, 村田 秀行, 鈴木 基博, 湯原 孝典,
竹村 博之, 赤間 高雄, 山根 一秀, 住田 孝之:
+ 8 トリソミーを伴う骨髄形成症候群に併発した腸管ペーチェット病の2症例
第10回日本リウマチ学会関東地方会 (東京), 12月, 1999
- No. 79 中西 裕之, 村田 秀行, 赤間 高雄, 安達 佳宏, 鈴木 基博, 竹村 博之,
湯原 孝典, 山根 一秀, 住田 孝之:
強皮症に伴った難治性多発関節炎にシクロスポリンが有効であった1例
第478回日本内科学会関東地方会 (東京), 12月, 1999
- No. 80 住田 孝之:
ヒト自己免疫疾患における NKT 細胞解析
平成11年度班会議 厚生省特定疾患対策研究事業
免疫学的手法の開発に関する研究班 (東京), 12月, 1999

2000年 (膠原病・リウマチ・アレルギーグループ)

原 著

- No. 1 Wang M., Keino H., Matsumoto I., Kurokawa M., Kato T., Nishioka K., and Sumida T :
A single cell analysis of Fas-ligand positive T cells in rheumatoid synovium
J.Rheumatol 27 : 311-318, 2000
- No. 2 Enomoto M., Takemura H., Suzuki M., Yuhara T., Akama T., Yamane K., and Sumida T :
Palmar Fasciitis and polyarthritis associated with gastric carcinoma: a paraneoplastic syndrome (Case report)
Int. Medicine 39(9) : 754-757, 2000
- No. 3 Yuhara T., Takemura H., Akama T., Yamane K., and Sumida T :
The relationship between serum immunoglobulin levels and pulmonary involvement in systemic sclerosis
J.Rheumatol 27 : 1207-1214, 2000
- No. 4 Tsutsumi A., Ichikawa K., Matsuura E., Sawada K., and Koike T :
Heterogeneous behavior of anti- β 2-Glycoprotein I antibodies on various commercially available enzyme immunoassay plates coated with β 2-Glycoprotein I
J.Rheumatol 27 : 391-396, 2000
- No. 5 Yin W., Hasunuma T., Kobata T., Sumida T., and Nishioka K :
Synovial Hyperplasia in HTLV- I Associated Arthropathy Is Induced by tumor Necrosis Factor- α Produced by HTLV- I Infected CD68+ Cells
J.Rheumatol 27 : 874-881, 2000
- No. 6 Suzuki M., Takemura H., Suzuki H., and Sumida T :
Light chain determines the fine specificity of anti-dsDNA IgG autoantibodies obtained by a phage-display method.
Biochem. Bioph. Res. Co. 271 : 240-243, 2000
- No. 7 Keino H., Sakai J.-I., Nishioka K., Sumida T., and Usui M :
Clonally accumulating ocular T cells in patient with Behcet's disease.
Am. J. Ophthal. 130 : 243-245, 2000
- No. 8 Yuhara T., Takemura H., Akama T., Yamane K., and Sumida T :
Necrotizing fasciitis caused by streptococcus pneumoniae in mixed connective tissue disease.
Mod. Rheumatol. 10 : 180-182, 2000
- No. 9 Kojo S., Adachi Y., Tsutsumi A., and Sumida T :
Alternative Splicing Forms of the Human CD1D Gene in Mononuclear Cells.
Biochem. Bioph. Res. Co. 276 : 107-111, 2000

- No. 10 Matsuura E., Inagaki J., Kasahara H., Yamamoto D., Atsumi T., Kobayashi K., Kaihara K., Zhao D., Ichikawa K., Tsutsumi A., Yasuda T., Triplett D., Koike T. :
Proteolytic cleavage of $\beta 2$ -glycoprotein I : reduction of antigenicity and the structural relationship
Int. Immunol. 12 : 1183-1192, 2000
- No. 11 Atsumi T., Ieko M., Bertolaccini M., Ichikawa K., Tsutsumi A., Matsuura E., Koike T. :
Association of autoantibodies against the phosphatidylserine- prothrombin complex with manifestations of the antiphospholipid syndrome and with the presence of lupus anticoagulant
Arthritis Rheum. 43 : 1982-1993, 2000
- No. 12 Takeuchi R., Atsumi T., Ieko M., Takeya H., Yasuda S., Ichikawa K., Tsutsumi A., Suzuki K., Koike T. :
Coagulation and fibrinolytic activities in 2 siblings with $\beta 2$ -glycoprotein I deficiency.
Blood. 96 : 1594-1595, 2000
- No. 13 Yasuda S., Tsutsumi A., Chiba H., Yanai H., Miyoshi Y., Takeuchi R., Horita T., Kasahara K., Atsumi A., Yasuda T., Triplett DA., Koike T :
 $\beta 2$ -glycoprotein I deficiency : prevalence, genetic background and effect on plasma lipoprotein metabolism.
Atherosclerosis. 152 : 337-346, 2000
- No. 14 Sasaki K., Tsutsumi A., Wakamiya N., Ohtani K., Suzuki Y., Watanabe Y. :
Mannose binding lectin polymorphisms in patients with hepatitis C virus infection.
Scand J Gastroenterol. 35 : 960-965, 2000
- No. 15 Okamoto K., Kobayashi T., Kobata T., Hasunuma T., Kato T., Sumida T., Nishioka K. :
Fas-associated death domain protein is a Fas-mediated apoptosis modulator in synoviocytes
Rheumatol. 39 : 471-480, 2000
- No. 16 Shibuya A., Sakamoto N., Shimizu Y., Shibuya K., Osawa M., Hiroshima T., Eyre HJ., Sutherland GR., Endo Y., Fujita T., Miyabayashi T., Sakano S., Nakayama E., Phillips JH., Lanier LL., Nakauchi H. :
Fc α/μ receptor mediates endocytosis of IgM-coated microbes
Nature Immunol. 1 : 441-446, 2000
- No. 17 Sumida T. :
T cells and autoantigens in Sjögren's syndrome.
Mod Rheumatol. 10(4) : 193-198, 2000

- No. 18 Morimoto S., Hashimoto H., Yamanaka K., Tokano Y., Nishioka Y., Sawada S., Kamatani N., Sumida T., Yoshizaki K., Nagasawa K., Miyasaka N. :
The multicenter cooperative study of HLA class II alleles in Japanese patients with systemic lupus erythematosus.

Mod. Rheumatol. 10(4) : 235-239, 2000

総 説

- No. 1 香城 諭, 安達 佳宏, 住田 孝之 :
GPI-anchored antigen に対する IgG 産生は CD1d 拘束性 NKT 細胞によって制御されている

臨床免疫 33 : 106-112, 2000

- No. 2 村田 秀行, 住田 孝之 :
強皮症とマイクロキメリズム

Modern Physician 20(1) : 53-57, 2000

- No. 3 湯原 孝典, 住田 孝之 :
混合性結合組織病

臨床医 26(増刊号) : 1434-1436, 2000

- No. 4 北川 峰丈, 住田 孝之 :
RT-PCR 法による抗原認識機構の解析

臨床検査 44(4) : 390-396, 2000

- No. 5 住田 孝之, 木村 文律 :
シェーグレン症候群と自己抗原反応性 T 細胞

リウマチ科 23(2) : 110-117, 2000

- No. 6 住田 孝之, 香城 諭 :
ヒト自己免疫疾患と NKT 細胞

最新医学 55(4) : 90-100, 2000

- No. 7 住田 孝之 :
慢性関節リウマチの診断基準・病型分類・重症度

内科 85(6) : 1448-1451, 2000

- No. 8 村田 秀行, 住田 孝之 :
診断メモー Felty 症候群—

内科 85(6) : 1486, 2000

- No. 9 安達 佳宏, 住田 孝之 :
診断メモー悪性関節リウマチ—

内科 85(6) : 1488, 2000

- No. 10 住田 孝之 :
シェーグレン症候群への対処の仕方

今月の治療 8(5) : 511-515, 2000

- No. 11 村田 秀行, 住田 孝之 :
結節性多発動脈炎, 処方計画2000

総合臨床 49 : 540-542, 2000

- No. 12 安達 佳宏, 住田 孝之:
Wegener 肉芽腫症, 処方計画2000
総合臨牀 49:543-545, 2000
- No. 13 住田 孝之:
NKT 細胞
分子細胞治療 1(3):304-306, 2000
- No. 14 香城 諭, 住田 孝之:
インテグリンを介する腺障害における CD 8⁺T 細胞の臓器特異性
炎症と免疫 8(4):397-402, 2000
- No. 15 住田 孝之:
シェーグレン症候群と TCR レパトア
炎症と免疫 8(4):428-435, 2000
- No. 16 海老塚岳彦:
抗糖鎖欠損 IgG 抗体
リウマチ科 24(2):197-200, 2000
- No. 17 住田 孝之:
Sjögren 症候群
Medical Practice 17(10):1693-1697, 2000
- No. 18 住田 孝之:
特集 内科医に必要なリウマチと骨・関節疾患の理解:病態と治療
日本内科学会雑誌 89(10):2064-2071, 2000
- No. 19 村田 秀行, 住田 孝之:
シェーグレン症候群の腺外病変
治療学 34(11), 55-57, 2000
- No. 20 香城 諭, 住田 孝之:
Single cell sorting RT-PCR 法
分子細胞治療 1(6) 604-608, 2000
- No. 21 住田 孝之:
シェーグレン症候群
免疫症候群(上巻) 日本臨牀 31:372-375, 2000
- No. 22 住田 孝之:
Sjögren 症候群と TCR レパトア
炎症と免疫 8:84-91, 2000
- No. 23 住田 孝之:
慢性関節リウマチの各細胞における骨関節破壊分子機構とその人為的制御-T 細胞
臨床免疫 35:44-49, 2000
- No. 24 Tsutsumi A., Koike T.:
Hepatic manifestations of the antiphospholipid syndrome.
Intern Med. 39:6-7, 2000

- No. 25 Tsutsumi A., Koike T. :
Antophospholipid syndrome in the elderly.
Intern Med. 39 : 529-30, 2000
- No. 26 堤 明人 :
自己免疫疾患における Mannose binding lectin 遺伝子多形性の解析.
臨床免疫 33 : 321-326, 2000
- No. 27 堤 明人, 小池 隆夫 :
抗カルジオリピン抗体/抗 $\beta 2$ グリコプロテイン I 抗体, ループスアンチコアグラント (LA)
検査値の見方 改訂 2 版(中外医学社) 744-746, 2000
- No. 28 堤 明人 :
血栓症を起こす不思議な自己抗体—抗リン脂質抗体と抗リン脂質抗体症候群—
免疫疾患のとらえかた(文光堂) 91-100, 2000

著 書

- No. 1 安達 佳宏, 住田 孝之 :
リウマトイド因子 (RF), 検査値のみかた
中井利昭編集, 中外医学社 736-738, 2000
- No. 2 住田 孝之 :
シェーグレン症候群の診断と治療
知っておきたい膠原病の新たな診療, 安倍 達, 槇野 博史 編著 165-173, 2000
- No. 3 Tsutsumi A., Koike T. :
Measurement of anti- $\beta 2$ -glycoprotein I antibodies. Hughes syndrome(Antiphospholipid syndrome). Kamashta MA ed.
Springer, London. 238-244, 2000

研究報告

- No. 1 住田 孝之 :
抗リン脂質抗体症候群における抗プロトロンビン抗体-B 細胞エпитープと機能
厚生省重点研究事業 SLE における難治性病態の早期診断と治療,
(平成11年度研究報告書) 25-33, 2000
- No. 2 住田 孝之 :
ヒト自己免疫疾患における NKT 細胞解析に関する研究
厚生科学研究費補助金 免疫・アレルギー等研究
(平成11年度事業研究報告書) 254-257, 2000

その他

- No. 1 住田 孝之 :
アレルギーの臨床「相談室 Q&A」 Sjögren 症候群の治療, 特に SS の特異的制御法について
アレルギーの臨床 20(4) 74-75, 2000

No. 2 住田 孝之:

Ch. Mouton Rothschild (シャトー・ムートン・ロートシルト)

～ワインチャンネル～

炎症と免疫 8(5), 103-104, 2000

No. 3 山本 一彦, 三森 経世, 住田 孝之, 加藤 智啓:

リウマチ性疾患の免疫・炎症異常をどう是正するか

内科 86(2), 367-379, 2000

No. 4 大平 洋, 堤 明人, 保田 晋助, 堀田 哲也, 竹内 理恵, 笠原 英樹, 三好 義範,
渥美 達也, 市川 健司, 小池 隆夫:

重篤な中枢神経症状と腸管穿孔をきたしたベーチェット病の一例

日本内科学会雑誌 89:1435-1437, 2000

学会発表

No. 1 北川 峰丈, 住田 孝之:

RA 滑膜における CD40-CD154相互作用を介した IL-12産生

第5回リウマチフォーラム(千葉), 1月, 2000

No. 2 関 正則, 安達 佳宏, 村田 秀行, 鈴木 基博, 竹村 博之, 赤間 高雄,
湯原 孝典, 山根 一秀, 住田 孝之:

治療に難渋している悪性関節リウマチの1例

第7回膠原病リウマチ懇談会(つくば), 2月, 2000

No. 3 古賀まゆみ, 村田 秀行, 安達 佳宏, 鈴木 基博, 竹村 博之, 赤間 高雄,
湯原 孝典, 山根 一秀, 住田 孝之:

血球貪食症候群の治療中に急激な低酸素血症を来した慢性関節リウマチの1例

第7回膠原病リウマチ懇談会(つくば), 1月, 2000

No. 4 住田 孝之:

抗リン脂質抗体症候群における抗プロトンビン抗体

—B細胞エピトープと機能—

厚生省特定疾患 平成11年度総会(札幌), 2月, 2000

No. 5 中西 裕之, 村田 秀行, 湯原 孝典, 安達 佳宏, 鈴木 基博, 竹村 博之,
赤間 高雄, 山根 一秀, 住田 孝之:

原発性副甲状腺機能亢進症を伴った全身性エリテマトーデスの1例

第479回日本内科学会関東地方会(東京), 2月, 2000

No. 6 村田 秀行, 住田 孝之:

全身性硬化症女性におけるマイクロメリズム定量解析

第3回強皮症研究会議(東京), 2月, 2000

No. 7 竹村 博之, 鈴木 基博, 安達 佳宏, 村田 秀行, 湯原 孝典, 赤間 高雄,
山根 一秀, 住田 孝之:

強皮症に対するシクロスポリン(CsA)の有用性: 自験4症例の解析

第3回強皮症研究会議(東京), 2月, 2000

- No. 8 遠藤 祐子, 古賀まゆみ, 安達 佳宏, 村田 秀行, 鈴木 基博, 湯原 孝典,
竹村 博之, 赤間 高雄, 山根 一秀, 住田 孝之:
大腿動脈瘤と浅大腿静脈血栓を認めた血管ペーチェット病の1手術例
第480回日本内科学会関東地方会(東京), 3月, 2000
- No. 9 秋本 崇之, 赤間 高雄, 斉藤 正博, 河野 一郎, 住田 孝之:
妊娠中毒症と流産患者における抗 prothrombin 抗体
第9回国際リウマチシンポジウム(神戸), 3月, 2000
- No. 10 香城 諭, 安達 佳宏, 住田 孝之:
自己免疫疾患患者末梢血 NKT 細胞の抗原応答不全
第9回国際リウマチシンポジウム(神戸), 3月, 2000
- No. 11 住田 孝之:
「膠原病の最新治療」について
全国膠原病友の会 茨城支部 医療講演(水戸), 5月, 2000
- No. 12 堤 明人, 佐々木 清貴, 保田 晋助, 三好 義範, 市川 健司, 片岡 浩,
深江 淳, 堀田 哲也, 竹内 理恵, 小椋 庸隆, 天崎 吉晴, 渥美 達也,
小池 隆夫: 北海道大学医学部内科学第二講座
各種膠原病患者における Mannose binding lectin 遺伝子プロモーター領域の多形性
第44回日本リウマチ学会総会(横浜), 5月, 2000
- No. 13 香城 諭, 北川 峰丈, 安達 佳宏, 住田 孝之:
ヒト末梢血単核球に発現している CD1d 分子のアイソフォームについての検討
第44回日本リウマチ学会総会(横浜), 5月, 2000
- No. 14 海老塚岳彦, 小林 茂人, 川野 照長, 田村 直人, 橋本 博史:
順天堂医院における高安大動脈炎の臨床解析
第44回日本リウマチ学会総会(横浜), 5月, 2000
- No. 15 堤 明人, 安達 佳宏, 中村 洋, 住田 孝之:
慢性関節リウマチの炎症性滑膜細胞に特異的に発現している遺伝子の解析
第44回日本リウマチ学会総会(横浜), 5月, 2000
- No. 16 竹村 博之, 鈴木 基博, 安達 佳宏, 村田 秀行, 湯原 孝典, 赤間 高雄,
山根 一秀, 住田 孝之:
膠原病特に強皮症患者血中に多く見いだされた抗 TGF- β 自己抗体について
第44回日本リウマチ学会総会(横浜), 5月, 2000
- No. 17 秋本 崇之, 赤間 高雄, 北川 峰丈, 木村 文律, 河野 一郎, 住田 孝之:
リコンビナントタンパクを用いた抗プロトロンビン抗体のエピトープ解析
第44回日本リウマチ学会総会(横浜), 5月, 2000
- No. 18 赤間 高雄, 秋本 崇之, 竹村 博之, 湯原 孝典, 安達 佳宏, 村田 秀行,
山根 一秀, 河野 一郎, 住田 孝之:
SLE 患者の抗 prethrombin-1 抗体
第44回日本リウマチ学会総会(横浜), 5月, 2000
- No. 19 香城 諭, 安達 佳宏, 住田 孝之:
自己免疫疾患患者末梢血 NKT 細胞における抗原応答不全
第44回日本リウマチ学会総会(横浜), 5月, 2000

- No. 20 湯原 孝典, 竹村 博之, 赤間 高雄, 村田 秀行, 安達 佳宏, 山根 一秀,
住田 孝之:
慢性関節リウマチ患者における血清免疫グロブリンの臨床的意義
第44回日本リウマチ学会総会(横浜), 5月, 2000
- No. 21 北川 峰丈, 秋本 崇之, 木村 文律, 住田 孝之:
ファージディスプレイ法を用いた CD40結合性ペプチドの探索・解析
第44回日本リウマチ学会総会(横浜), 5月, 2000
- No. 22 村田 秀行, 松村 竜太郎, 杉山 隆夫, 安達 佳宏, 末石 真, 小山 哲夫,
住田 孝之:
ループス腎炎における腎内浸潤 T 細胞の抗原受容体解析
第44回日本リウマチ学会総会(横浜), 5月, 2000
- No. 23 千野 裕介, 村田 秀行, 安達 佳宏, 鈴木 基博, 竹村 博之, 赤間 高雄,
湯原 孝典, 山根 一秀, 吉田 象二, 住田 孝之:
再生不良性貧血の経過中に発症した全身性エリテマトーデスの一例
第44回日本リウマチ学会総会(横浜), 5月, 2000
- No. 24 清水谷尚宏, 村田 秀行, 安達 佳宏, 慶野 博, 坂本 透, 大塚 盛夫,
関沢 清久, 松岡 健, 住田 孝之:
特発性間質性肺炎の気管支肺泡洗浄液における T 細胞レセプターの解析
第44回日本リウマチ学会総会(横浜), 5月, 2000
- No. 25 村田 秀行, 住田 孝之:
全身性硬化症患者における胎児性マイクロキメリズム解析
第44回日本リウマチ学会総会(横浜), 5月, 2000
- No. 26 木村 文律, 秋本 崇之, 北川 峰丈, 安達 佳宏, 住田 孝之:
シェーグレン症候群における α アミラーゼの T 細胞エピトープ解析
第44回日本リウマチ学会総会(横浜), 5月, 2000
- No. 27 Sumida T.:
T cell receptor and autoantigen in Sjogren's syndrome
9th Asia Pacific League of Associations for Rheumatology
Congress, (北京), 5月, 2000
- No. 28 Murata H., Matsumura R., Sugiyama T., Adachi Y., Sueishi M., Koyama A., and
Sumida T.:
T cell receptor repertoire of T cells in the kidney from patients with lupus
nephritis
9th Asia Pacific League of Associations for Rheumatology
Congress, (北京), 5月, 2000
- No. 29 Kojo S., Adachi Y., and Sumida T.:
Dysfunction of NKT cells in patient with Sjogren's syndrome
9th Asia Pacific League of Associations for Rheumatology
Congress, (北京), 5月, 2000

- No. 30 Shimizudani N., Murata H., Keino H., Matsuoka K., and Sumida T. :
 Analysis of Tcell receptor V β gene expression and clonality in bronchoalveolar
 fluid lymphocytes from patient with Idiopathic pulmonary fibrosis
 11th World Congress for Bronchology(WCB), 11th World
 Congress for Bronchoesophagology(WCBE), (横浜),
 7月, 2000
- No. 31 坪井 洋人, 竹村 博之, 菊地 教大, 海老塚岳彦, 安達 佳宏, 村田 秀行,
 堤 明人, 山根 一秀, 住田 孝之:
 シクロスポリン投与をおこなった大動脈炎症候群の一例
 第8回膠原病リウマチ懇談会(つくば), 6月, 2000
- No. 32 児玉 孝秀, 川島 玲, 安達 佳宏, 村田 秀行, 海老塚岳彦, 竹村 博之, 堤 明人,
 山根 一秀, 住田 孝之:
 BCG 膀胱内注入療法後に発症したライター症候群の一例
 第482回日本内科学会関東地方会(東京), 6月, 2000
- No. 33 林 太智, 村田 秀行, 竹村 博之, 安達 佳宏, 海老塚岳彦, 堤 明人, 山根 一秀,
 住田 孝之:
 広範な食道潰瘍を呈した消化管バーチェット病の一例
 第41回関東リウマチ研究会(東京), 6月, 2000
- No. 34 住田 孝之:
 リウマチ・膠原病—サイエンスに基づく診断と治療—
 日本内科学会関東支部主催
 第22回生涯教育講演会(東京), 7月, 2000
- No. 35 住田 孝之:
 リウマチ・膠原病—サイエンスに基づく診断と治療—
 東海炎症研究会研修講演会(名古屋), 9月, 2000
- No. 36 住田 孝之:
 シェーグレン症候群の特異的制御
 第3回九州皮膚免疫アレルギー研究会(福岡), 9月, 2000
- No. 37 石垣 太郎, 竹村 博之, 海老塚岳彦, 村田 秀行, 堤 明人, 山根 一秀,
 住田 孝之:
 ステロイド減量中に lupus panniculitis による皮膚梗塞が急速に出現した全身性エリテ
 マトーデスの1例
 第484回日本内科学会関東地方会(東京), 9月, 2000
- No. 38 住田 孝之:
 シェーグレン症候群の特異的制御
 第10回シェーグレン症候群研究会(シンポジウム)
 (長崎), 9月, 2000

- No. 39 香城 諭, 住田 孝之:
シェーグレン症候群患者抹消血における α -アミラーゼ反応性 T 細胞の共通エピトープ解析
第10回シェーグレン症候群研究会(シンポジウム)
(長崎), 9月, 2000
- No. 40 住田 孝之:
シェーグレン症候群の特異的制御
第28回日本臨床免疫学会総会(ランチョンセミナー)
(東京), 9月, 2000
- No. 41 住田 孝之:
発症機構における自己反応性 T 細胞と治療戦略
第28回日本臨床免疫学会総会(東京), 9月, 2000
- No. 42 Murata H., Matsumura R., Tsutsumi A., Sumida T. :
T cell receptor repertoire of T cells in the kidneys with Lupus Nephritis.
64rd ANNUAL SCIENTIFIC MEETING (Philadelphia),
November, 2000
- No. 43 Kojo S., Adachi Y., Tsutsumi A., Sumida T. :
Common T cell epitopes of α -amylase in Sjögren's syndrome.
64rd ANNUAL SCIENTIFIC MEETING (Philadelphia),
November, 2000
- No. 44 Murata H., Sumida T. :
Quantitation of microchimerism in Japanese women with systemic sclerosis.
64rd ANNUAL SCIENTIFIC MEETING (Philadelphia),
November, 2000
- No. 45 Tsutsumi A., Takao K., Sumida T. :
Polymorphisms of mannose binding lectin gene promotor regions in patients with systemic Lupus Erythematosus, Rheumatoid arthritis and Sjögren's syndrome.
64rd ANNUAL SCIENTIFIC MEETING (Philadelphia),
November, 2000
- No. 46 Kojo S., Adachi Y., Tsutsumi A., Taniguchi M., Sumida T. :
Dysfunction of TCR AN24AJ18⁺BV11⁺DN NKT cells in patients with autoimmune diseases.
64rd ANNUAL SCIENTIFIC MEETING (Philadelphia),
November, 2000
- No. 47 山本 祐介, 村田 秀行, 相原 英明, 海老塚岳彦, 安達 佳宏, 竹村 博之,
堤 明人, 山根 一秀, 住田 孝之:
両股関節炎, 仙腸関節炎を伴った全結腸型潰瘍性大腸炎の1例
第48回日本内科学会関東地方会(東京), 11月, 2000

- No. 48 Kojo S., Sumida T.:
Dysfunction of TCR AN24AJ18+BV11+DN NKT cells in patients with autoimmune diseases.
第13回内藤コンファレンス「難病の分子生物学[II]」(神奈川),
11月, 2000
- No. 49 清水 芳男, 寛山 隆, 渋谷 和子, 宮林 朋之, 坂野 誠司, 中内 啓光, 渋谷 彰:
マウス Fc α / μ レセプターのヒト相同遺伝子の同定とその解析
第30回日本免疫学会総会(仙台), 11月, 2000
- No. 50 渋谷 彰, 清水 芳男, 坂本 典久, 渋谷 和子, 遠藤 雄一, 藤田 禎三,
中山 審一, 中内 啓光:
マウス Fc α / μ レセプターによる IgM 免疫複合体の細胞内取り込み
第30回日本免疫学会総会(仙台), 11月, 2000
- No. 51 渋谷 和子, 四本 克巳, 中内 啓光, 渋谷 彰:
LFA-1 / DNAM-1 複合体による IL-12非依存性 Th 1 分化誘導
第30回日本免疫学会総会(仙台), 11月, 2000
- No. 52 香城 諭, 安達 佳宏, 堤 明人, 谷口 克, 住田 孝之:
ヒト末梢血単核球上の CD1d 分子アイソフォームと NKT 細胞反応性 T 細胞エピトープ解析
第30回日本免疫学会総会(仙台), 11月, 2000
- No. 53 吉田 佳世, 村田 秀行, 松村 竜太郎, 堤 明人, 住田 孝之:
ループス腎炎患者腎内浸潤 T 細胞の抗原受容体解析
第30回日本免疫学会総会(仙台), 11月, 2000
- No. 54 村田 秀行, 住田 孝之:
全身性硬化症患者における胎児性マイクロキメリズム定量解析
第30回日本免疫学会総会(仙台), 11月, 2000
- No. 55 清水谷尚宏, 村田 秀行, 慶野 博, 松岡 健, 住田 孝之:
特発性間質性肺炎の気管支肺胞洗浄液における T 細胞レセプター遺伝子の解析
第30回日本免疫学会総会(仙台), 11月, 2000
- No. 56 大西 康之, 堤 明人, 住田 孝之:
慢性関節リウマチにおける II 型コラーゲンに対する免疫応答の解析
第30回日本免疫学会総会(仙台), 11月, 2000
- No. 57 堤 明人, 安達 佳宏, 中村 洋, 吉野 禎一, 住田 孝之:
Differential display-PCR 法を用いた慢性関節リウマチ患者関節滑膜に特異的に発現している遺伝子の解析
第30回日本免疫学会総会(仙台), 11月, 2000
- No. 58 木村 文律, 香城 諭, 堤 明人, 住田 孝之:
シェーグレン症候群患者抹消血における α -アミラーゼ反応性 T 細胞のエピトープ解析
第30回日本免疫学会総会(仙台), 11月, 2000
- No. 59 四本 克巳, 岩間 厚志, 渋谷 和子, 中内 啓光, 渋谷 彰:
マウスマクロファージに発現する新規レセプター
第30回日本免疫学会総会(仙台), 11月, 2000

- No. 60 美崎 昌子, 村田 秀行, 海老塚岳彦, 安達 佳宏, 渋谷 和子, 堤 明人,
住田 孝之:
両股関節炎, 仙腸関節炎を伴った全結腸型潰瘍性大腸炎の一例
第6回茨城リウマチ(つくば), 11月, 2000
- No. 61 住田 孝之:
自己免疫疾患の特異的制御
第176回バイオサイエンス研究機構セミナー, 11月, 2000
- No. 62 住田 孝之:
NKT細胞と自己免疫疾患
第50回日本アレルギー学会総会シンポジウム(横浜), 11月, 2000
- No. 63 千野 祐介, 村田 秀行, 海老塚岳彦, 安達 佳宏, 渋谷 和子, 堤 明人,
住田 孝之:
治療抵抗性でDFPPが著効した悪性関節リウマチの一例
第11回日本リウマチ学会関東地方会(東京), 12月, 2000

2001 (膠原病・リウマチ・アレルギーグループ)

原 著

- No. 1 Kojo S., Adachi Y., Keino H., Taniguchi M., and Sumida T. :
Dysfunction of TCR AV24AJ18+BV11+double negative regulatory NKT cells in autoimmune diseases
Arthritis Rheum. 44(5) : 1127-1138, 2001
- No. 2 Akimoto T., Akama T., Saito M., Kono I., and Sumida T. :
Anti-prothrombin autoantibodies in gestational toxicosis and abortion.
Am.J.Med. 110 : 188-191. 2001
- No. 3 Keino H., Takeuchi M., Kojo S., Suzuki J., Sakai J.-I., Nishioka K., Sumida T., and Usui M. :
Identification of regulatory T cells among in vivo expanded ocular T cells in mice with experimental autoimmune uveoretinitis.
Clin. Exp.Immunol. 124 : 1-8, 2001
- No. 4 Tsutsumi A., Atsumi T., Yamada H., Hirayama E., Ichikawa K., Fujimoto S., and Koike T. :
Anti-phosphatidylserine / prothrombin antibodies are not frequently found in patients with unexplained recurrent miscarriages
Am J Reprod Immunol. 46(3) : 242-244, 2001
- No. 5 Tsutsumi A., Sasaki K., Wakamiya N., Ichikawa K., Atsumi T., Ohtani K., Suzuki Y., Koike T., and Sumida T. :
Mannose binding lectin gene : polymorphisms in Japanese patients with systemic lupus erythematosus, rheumatoid arthritis and Sjögren's syndrome
Genes and Immunity. 2(2) : 99-104, 2001
- No. 6 Oishi Y., Sumida T., Sakamoto A., Kita Y., Kurasawa K., Nawata Y., Takabayashi K., Takahashi H., Yoshida S., Taniguchi M., Saito Y., and Iwamoto I. :
Selective Reduction and Recovery of Invariant V α 24J α Q T Cell Receptor T Cells in Correlation with Disease Activity in Patients with Systemic Lupus Erythematosus
J.Rheumatol. 28 : 275-283, 2001
- No. 7 Kitagawa H., Suzuki H., Adachi Y., Nakamura H., Yohsino S., and Sumida T. :
Interferon-gamma enhances interleukin-12 production in rheumatoid synovial cells via CD40-CD154 dependent and-independent pathways
J.Rheumatol. 28(8) 1764-1771, 2001
- No. 8 Shimizudani N., Murata H., Kojo S., Adachi Y., Keino H., Tsuchida F., Sumida M., Kawamata M., Sumida T., and Matsuoka K. :
Analysis of T Cell Receptor V β gene Expression and Clonality in Bronchoalveolar Fluid Lymphocytes from a Patient with Chronic Eosinophilic Pneumonitis
Lung 179 : 31-41, 2001

- No. 9 Murata H., and Sumida T. :
Quantitative analysis of fetal microchimerism in Japanese women patients with systemic sclerosis.
Mod.Rheumatol. 11 : 259-260, 2001
- No. 10 Nishio M., Oda A., Koizumi K., Satoh I., Sato Y., Endoh T., Tsutsumi A., Fujihara M., Ikebuchi K., Ikeda H., Koike T., and Sawada K. :
Stem cell factor prevents Fas-mediated apoptosis of human erythroid precursor cells with Src-family kinase dependency.
Exp. Hematol. 29 : 19-29, 2001
- No. 11 Takahashi R., Shimazaki Y., and Endoh M. :
Influence of acidosis on PIE of UD-CG212 CI in dog heart.
J. Pharmacol. Experimental Therapeutics. 298(3) : 1060-1066, 2001
- 総 説
- No. 1 住田 孝之 :
T 細胞 一特集II 慢性関節リウマチの各細胞における骨関節破壊分子機構とその人為的制御—
臨床免疫 35(1)44-49, 2001
- No. 2 住田 孝之 :
シェーグレン症候群
治療 増刊号 83 : 780-785, 2001
- No. 3 住田 孝之, 香城 諭 :
NKT 細胞の臨床応用
組織培養工学 27(4) : 156-161, 2001
- No. 4 住田 孝之 :
自己免疫病の分子治療 膠原病・自己免疫疾患—分子治療の可能性
Molecular Medicine 38(4) 366-368, 2001
- No. 5 住田 孝之 :
T 細胞の自己抗原と分子治療 膠原病・自己免疫疾患—分子治療の可能性
Molecular Medicine 38(4) 378-384, 2001
- No. 6 村田 秀行, 住田 孝之 :
胎児細胞と分子治療 膠原病・自己免疫疾患—分子治療の可能性
Molecular Medicine 38(4) 432-437, 2001
- No. 7 住田 孝之, 香城 諭 :
NKT 細胞と自己免疫
現代医療 33(4) 138-147, 2001
- No. 8 住田 孝之 :
質疑応答, シェーグレン症候群の治療法と予後について
日本醫事新報 4016 : 107-109, 2001

- No. 9 堤 明人：
遺伝子発現異常 ―特集 慢性関節リウマチ 遺伝子異常とその修復―
最新医学 56(4)845-850, 2001
- No. 10 住田 孝之, 香城 諭：
病因T細胞エピトープと疾患の発症機構 ―シェーグレン症候群
臨床免疫 35(4)431-436, 2001
- No. 11 住田 孝之：
シェーグレン症候群, どんな時に病気を疑い, どう治療するか
毎日ライフ 6:34-39, 2001
- No. 12 住田 孝之：
最新の治療戦略 ―シェーグレン症候群
臨床と薬物治療 20(6)634-636, 2001
- No. 13 住田 孝之：
NKT 細胞と自己免疫疾患
内科 87(6):1391-1397, 2001
- No. 14 住田 孝之：
NKT 細胞
Medicina 38(6):936-939, 2001
- No. 15 村田 秀行, 住田 孝之：
強皮症の病因とマイクロメリズム
リウマチ科 26(2):184-189, 2001
- No. 16 住田 孝之：
膠原病の病態と治療 ―リウマチ
医学と薬学 46(2):155-162, 2001
- No. 17 香城 諭, 住田 孝之：
CD1d 分子, NKT 細胞と自己免疫疾患
医学のあゆみ 199(7):491-495, 2001
- No. 18 住田 孝之：
内科 ―この一年の進歩 リウマチ・膠原病
内科 88(6):1120-1124, 2001
- No. 19 住田 孝之：
2010年の臨床医学はこうなる アレルギー・免疫・膠原病
Mebio 18(1)128-129, 2001
- No. 20 住田 孝之：
シェーグレン症候群と免疫異常
アレルギー・免疫 9:32-38, 2001
- No. 21 住田 孝之：
専門医がすすめる最新処方128, シェーグレン症候群
今日の治療 9:S277-S278, 2001

- No. 22 村田 秀行, 住田 孝之:
マイクロキメリズムと疾患, 免疫疾患 Ver.2-state of arts
医学のあゆみ(別冊) 549-553, 2001
- No. 23 村田 秀行:
マイクロキメリズムと自己免疫疾患
組織培養工学 27(6):281-285, 2001
- No. 24 松本 功:
解糖系酵素により誘導される関節炎 —K/B×N マウス—
最新医学 56: 865-870, 2001

著 書

- No. 1 村田 秀行, 住田 孝之:
シェーグレン症候群
リウマチ・膠原病の治療と看護, 川合真一, 森脇美登里 編集, 171-176, 2001
- No. 2 住田 孝之:
抗リン脂質抗体症候群
今日の治療指針2001, 多賀須幸男, 尾形悦郎, 山口徹, 北原光夫, 総編集
医学書院, 635, 2001
- No. 3 村田 秀行, 住田 孝之:
抗 SS-A 抗体
リウマチナビゲーター, 中村耕三, 山本一彦, 原まさ子 編集,
メディカルレビュー社86-87, 2001
- No. 4 村田 秀行, 住田 孝之:
抗 SS-B 抗体
リウマチナビゲーター, 中村耕三, 山本一彦, 原まさ子 編集,
メディカルレビュー社88-89, 2001
- No. 5 堤 明人, 住田 孝之:
抗 Scl70抗体
リウマチナビゲーター, 中村耕三, 山本一彦, 原まさ子 編集,
メディカルレビュー社90-91, 2001
- No. 6 住田 孝之:
シェーグレン症候群
リウマチナビゲーター, 中村耕三, 山本一彦, 原まさ子 編集,
メディカルレビュー社194-197, 2001
- No. 7 村田 秀行, 住田 孝之:
リンパ球刺激試験(LST), 薬剤による LST(DLST)
臨床検査診断マニュアル, 古澤新平, 金山正明, 橋本博史編集,
永井書店, 314-317, 2001

- No. 8 安達 佳宏, 住田 孝之:
NK 細胞活性
臨床検査診断マニュアル, 古澤新平, 金山正明, 橋本博史 編集,
永井書店, 318-319, 2001
- No. 9 住田 孝之:
シェーグレン症候群
看護のための最新医学講座 第11巻 免疫アレルギー疾患,
日野原重明・井村裕夫監修, 山本一彦編集, 182-189, 2001
- No. 10 住田 孝之:
自己抗体の産生機構
膠原病・リウマチ学, 宮坂信之編, 朝倉書店, 35-40, 2001
- No. 11 住田 孝之:
Sjögren's syndrome.
CLIENT21, 野村恭也, 小松崎篤, 本庄巖編, 中山書店, 279-284, 2001
- No. 12 住田 孝之:
Sjögren 症候群と T 細胞
別冊医学のあゆみ 21世紀の神経免疫学 152-156, 2001

その他

- No. 1 赤座 英之, 戸井田 一郎, 鈴木 唯司, 内藤 誠二, 住田 孝之:
座談会『BCG 副作用対応について, 他科の判断と治療』
泌尿器外科 14(4):311-327, 2001
- No. 2 宮坂信之, 山本一彦, 住田 孝之:
CONTRIBUTOR 座談会
「リウマチ・アレルギー・免疫」領域の論文投稿 7:84-108, 2001

学会発表

- No. 1 住田 孝之:
慢性関節リウマチ疾患感受性遺伝子解析
厚生省特定疾患 平成12年度班会議(東京), 1月, 2001
- No. 2 吉田 郁雄, 海老塚 岳彦, 村田 秀行, 渋谷 和子, 安達 佳宏, 堤 明人,
住田 孝之:
肺胞出血を呈した SLE の一例
第10回膠原病リウマチ懇談会(つくば), 1月, 2001
- No. 3 住田 孝之, 吉田 佳世, 大西 康之, 堤 明人:
抗リン脂質抗体症候群における抗プロトロンビン抗体の T 細胞エピトープ解析
厚生省特定疾患 平成12年度班会議(北海道), 2月, 2001
- No. 4 堤 明人:
抗リン脂質抗体症候群～最近の話題～
第10回茨城県北抗リウマチ薬研究会(水戸), 2月, 2001

- No. 5 村田 秀行, 住田 孝之:
全身性硬化症女性における胎児性マイクロキメリズムの存続と HLA 解析
第 4 回強皮症研究会議(東京), 3 月, 2001
- No. 6 鈴木 豪, 平嶺 辰英, 海老塚 岳彦, 村田 秀行, 安達 佳宏, 澁谷 和子,
堤 明人, 住田 孝之:
腸管囊腫様気腫症を併発した慢性関節リウマチの 1 例
第489回日本内科学会関東地方会(横浜), 3 月, 2001
- No. 7 住田 孝之:
膠原病・リウマチ疾患のサイエンスに基づく診断と治療
茨城県西医師会学術講演会(下館), 3 月, 2001
- No. 8 Kojo S., Tsutsumi A., Sumida T.:
CD1D ALTERNATIVE SPLICING FORMS IN MONONUCLEAR CELLS
FROM PATIENTS WITH AUTOIMMUNE DISEASES.
The 4th KJCMR(東京), 3 月, 2001
- No. 9 Tsutsumi A., Yoshida K., Kojo S., Ebisuka T., Shibuya K., Adachi Y., Murata H.,
Sumida T.:
MANNOSE BINDING LECTIN GENE POLYMORPHISMS AFFECT SUSCE-
PTABILITY TO SYSTEMIC LUPUS ERYTHEMATOSUS IN THE
JAPANESE
The 4th KJCMR(東京), 3 月, 2001
- No. 10 住田 孝之:
リウマチの最新治療
水戸市医師会学術講演会(水戸), 3 月, 2001
- No. 11 香城 諭:
 α アミラーゼの T 細胞エピトープ解析
シェーグレン症候群市川セミナー2001(市川), 4 月, 2001
- No. 12 村田 秀行, 海老塚 岳彦, 安達 佳宏, 澁谷 和子, 堤 明人, 住田 孝之:
全身性硬化症患者における胎児性マイクロキメリズム定量解析
第98回日本内科学会講演会(横浜), 4 月, 2001
- No. 13 村田 秀行, 澁谷 和子, 堤 明人, 住田 孝之:
全身性硬化症患者における胎児性マイクロキメリズム定量解析
第45回日本リウマチ学会総会(新宿), 5 月, 2001
- No. 14 千野 裕介, 海老塚 岳彦, 村田 秀行, 安達 佳宏, 澁谷 和子, 堤 明人,
住田 孝之:
全身性硬化症の皮膚硬化に対するシクロスポリン A の有用性の検討
第45回日本リウマチ学会総会(新宿), 5 月, 2001
- No. 15 住田 孝之:
NKT 細胞によるリウマチ性疾患の特異的制御
第45回日本リウマチ学会総会(新宿), 5 月, 2001

- No. 16 村田 秀行, 松村 竜太郎, 杉山 隆夫, 末石 真, 澁谷 和子, 堤 明人,
住田 孝之:
ループス腎炎患者腎内浸潤 T 細胞の抗原受容体解析
第45回日本リウマチ学会総会(新宿), 5月, 2001
- No. 17 香城 諭, 堤 明人, 澁谷 和子, 住田 孝之:
自己免疫疾患患者における NKT 細胞と CD1d 分子アイソフォーム解析
第45回日本リウマチ学会総会(新宿), 5月, 2001
- No. 18 香城 諭, 堤 明人, 村田 秀行, 澁谷 和子, 住田 孝之:
シェーグレン症候群患者末梢血における α -アミラーゼ反応性 T 細胞のエピトープ解析
第45回日本リウマチ学会総会(新宿), 5月, 2001
- No. 19 大西 康之, 澁谷 和子, 堤 明人, 住田 孝之:
DR1, DR4陽性慢性関節リウマチ患者における II 型コラーゲンに対する免疫応答の解析
第45回日本リウマチ学会総会(新宿), 5月, 2001
- No. 20 堤 明人, 安達 佳宏, 吉田 佳世, 香城 諭, 海老塚 岳彦, 澁谷 和子,
村田 秀行, 中村 洋, 住田 孝之:
慢性関節リウマチ患者滑膜に発現している遺伝子の Differential display PCR 法と
TaqMan 半定量 PCR 法による解析
第45回日本リウマチ学会総会(新宿), 5月, 2001
- No. 21 清水谷 尚宏, 村田 秀行, 澁谷 和子, 堤 明人, 松岡 健, 住田 孝之:
間質性肺炎合併皮膚筋炎の気管支肺胞洗浄液における T 細胞レセプターの解析
第45回日本リウマチ学会総会(新宿), 5月, 2001
- No. 22 澁谷 和子, 村田 秀行, 堤 明人, 住田 孝之, 澁谷 彰:
LFA-1/DNAM-1複合体による IL-12非依存性 Th1分化誘導
第45回日本リウマチ学会総会(新宿), 5月, 2001
- No. 23 酒井 ふき子, 海老塚 岳彦, 村田 秀行, 安達 佳宏, 澁谷 和子, 堤 明人,
住田 孝之:
胸鎖骨異常骨化症に合併したクリオフィブリノーゲン血症の一例
第45回日本リウマチ学会総会(新宿), 5月, 2001
- No. 24 林 太智, 村田 秀行, 海老塚 岳彦, 安達 佳宏, 澁谷 和子, 堤 明人,
住田 孝之:
難治性腸管パーチェット病の経過中に併発した CD8陽性 T 細胞性悪性リンパ腫の一例
第45回日本リウマチ学会総会(新宿), 5月, 2001
- No. 25 住田 孝之:
ペプチドによる自己免疫病の治療
第3回つくば医療産業懇談会(HINT)(筑波大学), 5月, 2001
- No. 26 千野 裕介, 高橋 令子, 村田 秀行, 海老塚 岳彦, 澁谷 和子, 堤 明人,
住田 孝之:
顔面の浮腫にて発症, レイノー症状と四肢末端の潰瘍・壊疽を呈し, paraneoplastic
syndrome が考えられた一例
第11回膠原病リウマチ懇談会(つくば), 6月, 2001

- No. 27 高橋 令子, 海老塚 岳彦, 千野 裕介, 村田 秀行, 渋谷 和子, 堤 明人,
住田 孝之:
SLE にて肺胞出血を来した 1 例
第42回関東リウマチ研究会(東京), 6 月, 2001
- No. 28 渋谷 和子:
サイトカイン非依存性 Th1/Th2分化誘導因子の検討
文部省科学研究費補助金 特定領域研究(A)
平成13年度第一回斑会議(大阪), 6 月, 2001
- No. 29 四本 克己, 岩間 厚志, 大越 靖, 渋谷 和子, 中西 啓光, 渋谷 彰:
ITIM を有する新規の免疫グロブリン様受容体分子群 MAIR-1の同定
第11回 Kyoto T Cell Conference(京都), 6 月, 2001
- No. 30 Shibuya K, Anne O'Garra., Sumida T., Nakauchi H., and Shibuya A. :
LFA-1/DNAM-1 signal drives Th1 development independently on IL-12.
11th International Congress of Immunology (Stockholm) July, 2001
- No. 31 Sumida T., Tsutsumi A., Taniguchi M., and Kojo S :
Dysfunction of TCR AV24AJ18+BV11+DN NKT Cells in Patients with Autoimmune Diseases.
11th International Congress of Immunology (Stockholm) July, 2001
- No. 32 香城 諭, 堤 明人, 渋谷 和子, 住田 孝之:
ヒト CD1d アイソフォームと NKT 細胞反応性の解析
第38回日本臨床分子医学会(札幌), 8 月, 2001
- No. 33 Kojo S., Tsutsumi A., Sumida T.
CD1D Alternative Splicing Forms in Mononuclear Cells from Patients with Autoimmune Diseases.
20TH CONGRESS OF THE INTERNATIONAL LEAGUE OF
ASSOCIATIONS FOR RHEUMATOLOGY RHEUMATOLOGY FOR
THE 21ST CENTURY (Edmonton) August, 2001.
- No. 34 松本 功:
解糖系酵素により誘導される関節炎一組織特異性探索とヒト関節炎との関連
第 2 回リウマチ膠原病セミナー(東京), 9 月, 2001
- No. 35 住田 孝之:
リウマチ・膠原病 一免疫異常と制御一
第26回日本内科学会北海道支部主催教育講演会(札幌), 9 月, 2001
- No. 36 住田 孝之:
シェーグレン症候群一診断と治療の最前線一
埼玉医科大学学術講演会(埼玉), 9 月, 2001
- No. 37 Tsutsumi A., Yoshida K., Murata H., Shibuya K., Kojo S., and Sumida T. :
Analysis of T cell epitopes on prp thrombin in patients with the antiphospholipid syndrome
The 7th International Workshop on Autoantibodies and Autoimmunity(淡路島),
9 月, 2001

- No. 38 住田 孝之：
シェーグレン症候群の特異的制御
学術講演会 シェーグレン症候群 最近の話題(仙台)，10月，2001
- No. 39 住田 孝之：
リウマチの特異的制御
第2回運動器科学研究会(高知)，10月，2001
- No. 40 住田 孝之：
リウマチ・膠原病 —サイエンスに基づく診断・治療—
最近の医療 各科領域シリーズ 第209回研修会(下館)，10月，2001
- No. 41 添田 敦子，千野 裕介，高橋 令子，村田 秀行，松本 功，堤 明人，住田 孝之：
気腹症を呈した MCTD の一例
第7回茨城リウマチ(水戸)，10月，2001
- No. 42 千野 裕介，高橋 令子，村田 秀行，松本 功，堤 明人，住田 孝之：
肺血栓塞栓症・肺高血圧症を合併した SLE の一例
第7回茨城リウマチ(水戸)，10月，2001
- No. 43 Kojo S., Naito Y., Tsutsumi A., Sumida T. :
Analysis of common T Cell epitopes of α -amylase in HLA-DR B1 *0405 positive patients with Sjören's syndrome.
American College of Rheumatology 65rd Annual Scientific Meeting (SanFrancisco.), November, 2001
- No. 44 Tsutsumi A., Adachi Y., Kojo S., Shibuya K., Murata H., Nakamura H., Sumida T. :
Expression of GOS4 (Tristetraproline) gene is increased in synovial tissue from patients with rheumatoid arthritis.
American College of Rheumatology 65rd Annual Scientific Meeting (SanFrancisco.), November, 2001
- No. 45 Kojo S., Tsutsumi A., Shibuya K., Taniguchi M., Sumida T. :
Analysis of alternatively spliced CD1D isoforms and antigen response of NKT cells in patients with autoimmune diseases.
American College of Rheumatology 65rd Annual Scientific Meeting (SanFrancisco.), November, 2001
- No. 46 Murata H., Matsumura R., Shibuya K., Tsutsumi A., Sumida T. :
T Cell receptor repertoire of T cells in the kidneys from patients with Lupus nephritis.
American College of Rheumatology 65rd Annual Scientific Meeting (San Francisco.), November, 2001
- No. 47 住田 孝之：
シェーグレン症候群 —診断と治療の最前線—
学術講演会(福島)，11月，2001
- No. 48 住田 孝之：
シェーグレン症候群 —免疫異常と制御—
七隈シェーグレン懇話会(福岡)，11月，2001

- No. 49 香城 諭, 堤 明人, 渋谷 和子, 住田 孝之:
自己免疫疾患患者末梢血 NKT 細胞における抗原応答不全
日本臨床免疫学会(大阪), 12月, 2001
- No. 50 渋谷 和子, O'GARRA Anne, 中内 啓光, 住田 孝之, 澁谷 彰:
LFA-1/DNAM-1複合体による IL-12非依存性 Th1分化誘導
第31回日本免疫学会総会(大阪), 12月, 2001
- No. 51 大西 康之, 堤 明人, 村田 秀行, 渋谷 和子, 住田 孝之:
HLA DRB1*0101および*0405陽性慢性関節リウマチ患者におけるII型コラーゲンの T 細胞 epitope 解析
第31回日本免疫学会総会(大阪), 12月, 2001
- No. 52 Matsumoto I:
Exploration of joint specificity of arthritis due to reactivity to a ubiquitous enzyme
第31回日本免疫学会総会(大阪), 12月, 2001
- No. 53 堤 明人, 香城 諭, 安達 佳宏, 高橋 令子, 友尾 孝, 村木 祥文, 渋谷 和子, 村田 秀行, 住田 孝之:
慢性関節リウマチ患者関節滑膜における遺伝子発現異常の解析
第31回日本免疫学会総会(大阪), 12月, 2001
- No. 54 村田 秀行, 松村 竜太郎, 渋谷 和子, 堤 明人, 住田 孝之:
ループス腎炎患者腎浸潤 T 細胞の抗原受容体解析
第31回日本免疫学会総会(大阪), 12月, 2001
- No. 55 千野 裕介, 村田 秀行, 大西 康之, 渋谷 和子, 堤 明人, 住田 孝之:
全身性硬化症患者における胎児性マイクロキメリズム解析
第31回日本免疫学会総会(大阪), 12月, 2001
- No. 56 吉田 佳世, 堤 明人, 香城 諭, 大西 康之, 村田 秀行, 渋谷 和子, 住田 孝之:
抗リン脂質抗体症候群患者における抗プロトロンビン抗体の T 細胞エピトープ解析
第31回日本免疫学会総会(大阪), 12月, 2001
- No. 57 香城 諭, 堤 明人, 渋谷 和子, 谷口 克, 住田 孝之:
自己免疫疾患患者における CD1d 分子アイソフォームと NKT 細胞反応性の解析
第31回日本免疫学会総会(大阪), 12月, 2001
- No. 58 内藤 祐介, 香城 諭, 堤 明人, 住田 孝之:
HLA-DRB1*0405陽性シェーグレン症候群患者末梢血における α -アミラーゼ反応性 T 細胞の共通エピトープ解析
第31回日本免疫学会総会(大阪), 12月, 2001
- No. 59 住田 孝之:
NKT 細胞による慢性関節リウマチの早期診断・制御
平成13年度厚生科学研究費補助金研究発表会(東京), 12月, 2001
- No. 60 Matsumoto I., Benoist C., Mathis D. :
Exploration of joint specificity of arthritis due to reactivity to a ubiquitous enzyme.
Arthritis research conference (San Diego), 2001

2002年 (膠原病・リウマチ・アレルギー内科グループ)

原 著

- No. 1 Yasuda S., Tsutsumi A., Atsumi T., Maria L. Bertolaccini., Ichikawa K.,
Munther A. Khamashta., Graham R.V. Hughes., and Koike T. :
Gene polymorphisms of tissue plasminogen activator and plasminogen activator
inhibitor-1 in patients with antiphospholipid antibodies
The Journal of Rheumatology. 29(6) : 1192-1197, 2002
- No. 2 Matsumoto I., Maccioni M., David M. Lee., Madelon Maurice., Barry Simmons.,
Michael Brenner., Diane Mathis., and Christophe Benoist. :
How antibodies to a ubiquitous cytoplasmic enzyme may provoke joint-specific
autoimmune disease.
Nature Immunology. 3 : 360-365, 2002
- No. 3 Shimizudani N., Murata H., Keino H., Kojo S., Nakamura H., Morishima Y.,
Sakamoto T., Ohtsuka M., Sekisawa K., Sumida M., Sumida T. and Matsuoka T. :
Conserved CDR 3 region of T cell receptor BV gene in lymphocytes from bron-
choalveolar lavage fluid of patients with idiopathic pulmonary fibrosis
Clinical and Experimental Immunology. 129(1) : 140-149, 2002
- No. 4 Matsumoto I., and Sumida T. :
B cells and Immunoglobulins dependent mechanisms in rheumatoid arthritis.
Therapeutic Apheresis. 6(4) : 317-319, 2002
- No. 5 Tsutsumi A., Ebisuka T., Murata H., Takemura H., and Sumida T. :
An HLA-B27-positive patient diagnosed with ulcerative colitis 15 years after the
onset of arthropathy.
Modern Rheumatology. 12 : 349-353, 2002
- No. 6 Yagi K., Furuhashi M., Aoki H., Goto D., Kuwano H., Sugamura K., Miyazono K., and
Kato M. :
c-myc is a downstream target of the Smad pathway.
Journal of Biological Chemistry. 277(1) : 854-861, 2002
- No. 7 Murata H., Matsumura R., Koyama A., Sugiyama T., Sueishi M., Shibuya K.,
Tsutsumi A., and Sumida T. :
T cell receptor of T cells in the kidneys of patients with lupus nephritis.
Arthritis and Rheumatism. 46(8) : 2141-2147, 2002
- No. 8 Horita T., Tsutsumi A., Takeda T., Yasuda S., Takeuchi R., Amasaki Y., Ichikawa K.,
Atsumi T., and Koike T. :
Significance of magnetic resonance imaging in the diagnosis of regenerative
hyperplasia of the liver complicated with systemic lupus erythematosus: a case
report and review of the literature.
Lupus. 11 : 193-196, 2002

- No. 9 Yasukochi T., Ozawa K., Sato M., Tsutsumi A., Sumida T., and Shibana Y. :
 Evaluation of the improvement of IGCR technique
 Nucleic Acids Research Supplement. 2 : 199-200, 2002

総 説

- No. 1 住田 孝之 :
 Sjögren 症候群
 日本臨床 60(1)376-380, 2002
- No. 2 住田 孝之 :
 膠原病病態の分子機構の解明と治療への応用
 内科 89(2)203-209, 2002
- No. 3 住田 孝之 :
 シェーグレン症候群
 518-520, 2002
- No. 4 竹村 博之, 住田 孝之 :
 多発性筋炎・皮膚筋炎の診療
 リウマチ科 27(Suppl.1)681-690, 2002
- No. 5 住田 孝之 :
 シェーグレン症候群
 ドクターサロン 46(5)348-352, 2002
- No. 6 住田 孝之 :
 第18章 シェーグレン症候群の女性患者さんの妊娠：新生児の問題
 137-142, 2002
- No. 7 住田 孝之 :
 Sjögren 症候群
 小児科診療 Q&A 34 : 88-93, 2002
- No. 8 村田 秀行, 住田 孝之 :
 マイクロキメリズムと自己免疫疾患
 549-553, 2002
- No. 9 住田 孝之 :
 膠原病病態の分子機構の解明と治療への応用
 内科 89(2) : 202-209, 2002
- No. 10 香城 諭 :
 NKT 細胞と自己免疫病
 リウマチ科 27(3) : 305-312, 2002
- No. 11 松本 功 :
 GPI 抗体と関節炎
 Mebio 19(5) : 49-54, 2002
- No. 12 住田 孝之 :
 Sjögren 症候群
 臨床医2002 28 増刊号 : 1562-1563, 2002

- No. 13 村田 秀行, 住田 孝之:
膠原病とマイクログメリズム
アレルギー・免疫 9(9):1018-1027, 2002
- No. 14 住田 孝之:
自己免疫疾患の遺伝子学
臨床遺伝子学2002年9月増刊号:2113-2125, 2002
- No. 15 住田 孝之:
学会レポート「第8回国際シェーグレン症候群シンポジウム」
感染・炎症・免疫32(3):224-225, 2002
- No. 16 松本 功, 住田 孝之:
関節炎と解糖系酵素に対する自己抗体
リウマチ科28(4)374-381, 2002
- No. 17 住田 孝之:
シェーグレン症候群発症の分子機構 —T細胞と対応抗原—
リウマチ42(5)769-776, 2002
- No. 18 後藤 大輔, 住田 孝之:
Adalimumab
日本臨床60(12)2384-2389, 2002
- No. 19 住田 孝之:
シェーグレン治療薬
Medical Science Digest 29(2)50-51, 2002
- 著 書
- No. 1 住田 孝之:
シェーグレン症候群
TODAY'S THERAPY2003 今日の治療指針2002,
山口 徹, 北原光夫, 総編集 医学書院, 518-520, 2002
- No. 2 住田 孝之:
膠原病・リウマチの概念と歴史
EXPERT 膠原病・リウマチ
住田孝之編集 診断と治療社, 2-7, 2002
- No. 3 堤 明人:
貧血
EXPERT 膠原病・リウマチ
住田孝之編集 診断と治療社, 90-95, 2002
- No. 4 村田 秀行:
Raynaud 現象
EXPERT 膠原病・リウマチ
住田孝之編集 診断と治療社, 96-99, 2002

- No. 5 村田 秀行：
クリオグロブリン血症，クリオフィブリノーゲン血症
EXPERT 膠原病・リウマチ
住田孝之編集 診断と治療社，176-183，2002
- No. 6 堤 明人：
梅毒反応生物学的偽陽性
EXPERT 膠原病・リウマチ
住田孝之編集 診断と治療社，192-194，2002
- No. 7 住田 孝之：
Sjögren 症候群
EXPERT 膠原病・リウマチ
住田孝之編集 診断と治療社，264-271，2002
- No. 8 堤 明人：
リウマチ性多発筋痛症
EXPERT 膠原病・リウマチ
住田孝之編集 診断と治療社，342-345，2002
- No. 9 村田 秀行：
線維筋痛症
EXPERT 膠原病・リウマチ
住田孝之編集 診断と治療社，176-183，2002
- No. 10 堤 明人：
偽痛風
EXPERT 膠原病・リウマチ
住田孝之編集 診断と治療社，393-394，2002
- No. 11 堤 明人：
回帰性リウマチ
EXPERT 膠原病・リウマチ
住田孝之編集 診断と治療社，394-396，2002
- No. 12 堤 明人：
RS₃PE
EXPERT 膠原病・リウマチ
住田孝之編集 診断と治療社，396-397，2002
- No. 13 堤 明人：
反射性交感性ジストロフィー
EXPERT 膠原病・リウマチ
住田孝之編集 診断と治療社，397-398，2002
- No. 14 堤 明人：
Weber-Christian 病
EXPERT 膠原病・リウマチ
住田孝之編集 診断と治療社，398-399，2002

- No. 15 村田 秀行：
好酸球性筋膜炎
EXPERT 膠原病・リウマチ
住田孝之編集 診断と治療社，399-401，2002
- No. 16 村田 秀行：
色素沈着性絨毛性滑膜炎
EXPERT 膠原病・リウマチ
住田孝之編集 診断と治療社，401-402，2002
- No. 17 村田 秀行：
神経障害性関節症
EXPERT 膠原病・リウマチ
住田孝之編集 診断と治療社，403-404，2002
- No. 18 村田 秀行：
膠原病・リウマチ疾患の診断基準一覧
EXPERT 膠原病・リウマチ
住田孝之編集 診断と治療社，416-435，2002
- No. 19 堤 明人：
貧血
ESSENCE 膠原病・リウマチー診断へのアプローチ
住田孝之編集 診断と治療社，12-13，2002
- No. 20 村田 秀行：
Raynaud 現象
ESSENCE 膠原病・リウマチー診断へのアプローチ
住田孝之編集 診断と治療社，14-15，2002
- No. 21 堤 明人：
赤沈，CRP
ESSENCE 膠原病・リウマチー診断へのアプローチ
住田孝之編集 診断と治療社，34-35，2002
- No. 22 村田 秀行：
クリオグロブリン血症
ESSENCE 膠原病・リウマチー診断へのアプローチ
住田孝之編集 診断と治療社，44-45，2002
- No. 23 村田 秀行：
クリオフィブリノーゲン血症
ESSENCE 膠原病・リウマチー診断へのアプローチ
住田孝之編集 診断と治療社，46-47，2002
- No. 24 堤 明人：
梅毒反応生物学的偽陽性
ESSENCE 膠原病・リウマチー診断へのアプローチ
住田孝之編集 診断と治療社，50-51，2002

- No. 25 住田 孝之：
Sjögren 症候群
ESSENCE 膠原病・リウマチー診断へのアプローチ
住田孝之編集 診断と治療社，66-69，2002
- No. 26 堤 明人：
リウマチ性多発筋痛症
ESSENCE 膠原病・リウマチー診断へのアプローチ
住田孝之編集 診断と治療社，94-95，2002
- No. 27 村田 秀行：
繊維筋痛症
ESSENCE 膠原病・リウマチー診断へのアプローチ
住田孝之編集 診断と治療社，106-107，2002
- No. 28 松本 功：
変形性関節症
ESSENCE 膠原病・リウマチー診断へのアプローチ
住田孝之編集 診断と治療社，114-115，2002
- No. 29 後藤 大輔：
痛風
ESSENCE 膠原病・リウマチー診断へのアプローチ
住田孝之編集 診断と治療社，116-117，2002
- No. 30 堤 明人：
偽痛風
ESSENCE 膠原病・リウマチー診断へのアプローチ
住田孝之編集 診断と治療社，118-119，2002
- No. 31 堤 明人：
回帰性リウマチ
ESSENCE 膠原病・リウマチー診断へのアプローチ
住田孝之編集 診断と治療社，120-121，2002
- No. 32 堤 明人：
RS₃PE
ESSENCE 膠原病・リウマチー診断へのアプローチ
住田孝之編集 診断と治療社，122-123，2002
- No. 33 堤 明人：
反射性交感性ジストロフィー
ESSENCE 膠原病・リウマチー診断へのアプローチ
住田孝之編集 診断と治療社，124-125，2002
- No. 34 堤 明人：
Weber-Christian 病
ESSENCE 膠原病・リウマチー診断へのアプローチ
住田孝之編集 診断と治療社，126-127，2002

- No. 35 村田 秀行：
好酸球性筋膜炎
ESSENCE 膠原病・リウマチー診断へのアプローチ
住田孝之編集 診断と治療社，128-131，2002
- No. 36 村田 秀行：
色素沈着性絨毛結節性滑膜炎
ESSENCE 膠原病・リウマチー診断へのアプローチ
住田孝之編集 診断と治療社，132-133，2002
- No. 37 村田 秀行：
神経障害性関節症
ESSENCE 膠原病・リウマチー診断へのアプローチ
住田孝之編集 診断と治療社，134-135，2002
- No. 38 堤 明人：
全身性エリテマトーデス
難病の指針 第4版
茨城県医師会，186-190，2002
- No. 39 堤 明人：
抗リン脂質抗体症候群
今日の診断指針 第5版
医学書院，1180-1182，2002
- 研究報告
- No. 1 住田 孝之：
NKT 細胞による慢性関節リウマチの早期診断・制御に関する研究
厚生科学研究費補助金（感覚器障害及び免疫・アレルギー等研究事業）
分担研究報告書
- No. 2 住田 孝之：
自己免疫病における抗原特異的分子制御に関する研究
分担研究報告書
- その他
- No. 1 住田 孝之：
アレルギー・免疫・膠原病
免疫病を遺伝子のレベルで語るできるようになった
Mebio 18(1)128-129，2001
- No. 2 住田 孝之：
One Point Advice
21世紀のリウマチ治療は変わるか？ —Yes！
Medical Practice 19(7)1212，2002

- No. 3 住田 孝之：
診断基準
リウマチ基本テキスト591-634, 2002
- No. 4 住田 孝之：
座談会「シェーグレン症候群の臨床と研究・今後の展望」
シェーグレン症候群への Strategy 23-31, 2002
- No. 5 住田 孝之：
Research 最前線「第11回 シェーグレン症候群研究会」
内科90(3)552, 2002
- No. 6 住田 孝之：
膠原病・リウマチ科領域におけるシェーグレン症候群
診療手帳156(11)1-4, 2002
- No. 7 浅原 弘嗣, 住田 孝之：
はじめに (CREB とその周辺)
医学のあゆみ203(8)517, 2002
- No. 8 松本 功：
自己抗体依存性関節リウマチの病因論及びその治療戦略
(社)日本リウマチ友の会茨城支部36周年大会 (茨城), 10月, 2002

学会発表

- No. 1 松本 功：
解糖系酵素により誘導される関節炎-組織特異性及びヒト関節炎との関連
第7回リウマチフォーラムリウマチリーグ (東京), 1月, 2002
- No. 2 住田 孝之：
自己免疫病における抗原特異的分子制御に関する研究
平成13年度厚生科学研究費補助金 (特定疾患対策研究事業) (東京), 1月, 2002
- No. 3 住田 孝之：
リウマチ・膠原病 —免疫異常と制御—
第8回兵庫県リウマチ登録医の会 (リウマチ医の会)
学術講演会 (神戸), 2月, 2002
- No. 4 村田 秀行, 千野 裕介, 松本 功, 堤 明人, 住田 孝之：
全身性硬化症患者に合併した間質性肺炎の気管支肺胞洗浄液におけるT細胞レセプターの解析
第5回強皮症研究会議 (金沢), 3月, 2002
- No. 5 住田 孝之：
シェーグレン症候群 —免疫異常と制御—
第2回神奈川県シェーグレン症候群研究会 (横浜), 3月, 2002
- No. 6 住田 孝之：
リウマチ・膠原病 —免疫異常と制御—
第1回北陸膠原病研究会学術講演会 (金沢), 3月, 2002

- No. 7 住田 孝之：
リウマチ シェーグレン症候群の最新治療
日本薬学会第122年会ランチョンセミナー（幕張），3月，2002
- No. 8 松本 功，住田 孝之：
解糖系酵素により誘導される関節炎 ―ヒト RA との関連
第99回日本内科学会講演会（名古屋），3月，2002
- No. 9 住田 孝之：
リウマチの免疫異常と制御
第30回愛媛リウマチ研究会（愛媛），3月，2002
- No. 10 住田 孝之：
シェーグレン症候群 ―最近の知見―
北海道医師会認定生涯教育講座 シェーグレン症候群を考える会
（札幌），4月，2002
- No. 11 住田 孝之：
日本リウマチ対策開始50周年記念 リウマチ制圧10か年対策
国際会議（東京），4月，2002
- No. 12 村田 秀行，松村 竜太郎，杉山 隆夫，末石 真，松本 功，堤 明人，住田 孝之：
ループス腎炎患者腎湿潤 T 細胞の単細胞レベルでのサイトカイン解析
第46回日本リウマチ学会総会学術集会（神戸），4月，2002
- No. 13 林 太智，高橋 令子，千野 裕介，後藤 大輔，松本 功，村田 秀行，堤 明人，
住田 孝之：
膠原病の経過中に著明な肺高血圧を呈した3症例
第46回日本リウマチ学会総会学術集会（神戸），4月，2002
- No. 14 松本 功，村木 祥文，堤 明人，村田 秀行，Christophe Benoist，Diane Mathis，
住田 孝之：
解糖系酵素により誘導される関節炎―ヒト関節炎との関連
第46回日本リウマチ学会総会学術集会（神戸），4月，2002
- No. 15 堤 明人，香城 諭，大西 康之，松本 功，村田 秀行，住田 孝之：
抗リン脂質抗体症候群患者における抗プロトロンビン抗体の T 細胞エピトープ解析
第46回日本リウマチ学会総会学術集会（神戸），4月，2002
- No. 16 堤 明人，村田 秀行，松本 功，香城 諭，千野 裕介，高橋 令子，住田 孝之：
慢性関節リウマチ患者滑膜における G0S24遺伝子発現
第46回日本リウマチ学会総会学術集会（神戸），4月，2002
- No. 17 香城 諭，住田 孝之：
自己免疫疾患患者における CD1d 分子アイソフォームと NKT 細胞反応性の解析
第46回日本リウマチ学会総会学術集会（神戸），4月，2002
- No. 18 松本 功，Diane Mathis，Christophe Benoist：
抗 GPI 抗体と関節炎
第46回日本リウマチ学会総会学術集会（神戸），4月，2002

- No. 19 内藤 祐介, 香城 諭, 松本 功, 堤 明人, 住田 孝之:
HLA-DRB1*0405陽性シェーグレン症候群患者末梢血における α -アミラーゼ反応性
T 細胞の共通エピトープ解析
第46回日本リウマチ学会総会学術集会 (神戸), 4月, 2002
- No. 20 千野 裕介, 村田 秀行, 松本 功, 堤 明人, 住田 孝之:
皮膚筋炎に合併した間質性肺炎の気管支肺胞洗浄液における T 細胞レセプターの解析
第46回日本リウマチ学会総会学術集会 (神戸), 4月, 2002
- No. 21 大西 康之, 堤 明人, 住田 孝之:
DNA マイクロアレイ法を用いた関節炎モデルにおける遺伝子発現解析
第46回日本リウマチ学会総会学術集会 (神戸), 4月, 2002
- No. 22 村田 秀行, 松村 竜太郎, 杉山 隆夫, 末石 真, 松本 功, 堤 明人, 住田 孝之:
シェーグレン症候群に伴う間質性腎炎患者腎内浸潤 T 細胞の抗原受容体解析
第46回日本リウマチ学会総会学術集会 (神戸), 4月, 2002
- No. 23 堤 明人, 村田 秀行, 松村 竜太郎, 松本 功, 住田 孝之:
ループス腎炎患者腎湿潤 T 細胞の抗原受容体解析
第46回日本リウマチ学会総会学術集会 (神戸), 4月, 2002
- No. 24 高橋 令子, 堤 明人, 松本 功, 村田 秀行, 住田 孝之:
全身性エリテマトーデス患者における Mannose binding lectin 遺伝子の多型性
第46回日本リウマチ学会総会学術集会 (神戸), 4月, 2002
- No. 25 村木 祥文, 堤 明人, 高橋 令子, 住田 孝之:
日本人 SLE 患者における II-1 β 遺伝子多型と疾患の関連
第46回日本リウマチ学会総会学術集会 (神戸), 4月, 2002
- No. 26 倉沢 和宏, 後藤 大輔, 松本 桂子, 池田 啓, 森 由美子, 熊野 浩太郎,
縄田泰史, 岩本逸夫, 斎藤 康:
膠原病肺高血圧発症における抗 BMP レセプター抗体の関与
第46回日本リウマチ学会総会学術集会 (神戸), 4月, 2002
- No. 26 内藤 祐介:
ムスカリン受容体に対する自己免疫応答
シェーグレン症候群市川セミナー2002 (市川), 4月, 2002
- No. 27 Kojo S., and Sumida T.:
Dysfunction of TCR AV24AJ18+BV11+NKT Cells in Patients with Sjogren's
Syndrome.
The 8th International Symposium on Sjogren's (金沢), 5月, 2002
- No. 28 Muraki Y., Tsutsumi A., Takahashi R., Chino Y., Matsumoto I., Murata H., and
Sumida T.:
Polymorphisms of IL-1 β Gene in Japanese Patients with Sjogren's Syndrome.
The 8th International Symposium on Sjogren's (金沢), 5月, 2002

- No. 29 Takahashi R., Tsutsumi A., Muraki Y., Chino Y., Goto D., Matsumoto I., Murata H., and Sumida T. :
Polymorphism of the Mannose-Binding Lectin Gene in Japanese Patients with Sjogren's Syndrome.
The 8th International Symposium on Sjogren's (金沢), 5月, 2002
- No. 30 Murata H., Chino Y., Matsumoto I., Tsutsumi A., and Sumida T. :
Quantitation of Microchimerism in Japanese Women with Sjogren's Syndrome.
The 8th International Symposium on Sjogren's (金沢), 5月, 2002
- No. 31 Naito Y., Kojo S., Tsutsumi A., Matsumoto I., and Sumida T. :
Analysis of Common T Cell Epitopes of α -Amylase in HLA-DR B1 0405 Positive Patients with Sjogren's Syndrome.
The 8th International Symposium on Sjogren's (金沢), 5月, 2002
- No. 32 住田 孝之 :
リウマチ・膠原病 —サイエンスに基づく診断と治療—
第26回東海地区整形外科教育研修会 (名古屋), 5月, 2002
- No. 33 Tsutsumi A., Kojo S., Adachi Y., Takahashi R., Chino Y., Matsumoto I., Murata H., and Sumida T. :
Expression of G0S24 (Tristetraprolin) gene is increased in synovial tissue from patients with rheumatoid arthritis.
26th International congress of Internal Medicine (京都), 5月, 2002
- No. 34 林 太智, 村田 秀行, 高橋 令子, 千野 裕介, 後藤 大輔, 松本 功, 堤 明人, 住田 孝之 :
無菌性髄膜炎を合併した再発性多発軟骨炎の1例
第43回関東リウマチ研究会 (東京), 6月, 2002
- No. 35 高橋 令子, 堤 明人, 村木 祥文, 大谷 克城, 若宮 信隆, 住田 孝之 :
全身性エリテマトーデス患者における Mannose binding lectin 遺伝子の多型性
2002年免疫学サマースクール (淡路島), 7月, 2002
- No. 36 住田 孝之 :
シェーグレン症候群発症の分子機構—T細胞と抗原—
第12回日本口腔粘膜学会総会 (宇都宮), 7月, 2002
- No. 37 住田 孝之 :
今日的な自己免疫疾患発症機序の理解
第28回リウマチ中央教育研修会 (東京), 7月, 2002
- No. 38 堤 明人, 住田 孝之 :
関節リウマチの疾患感受性遺伝子解析
文部科学省科学研究費特定領域研究C「ゲノム」4
研究発表会 (神戸), 8月, 2002
- No. 39 住田 孝之 :
シェーグレン症候群の診断・治療の最前線
第2回千葉シェーグレン症候群フォーラム (幕張), 9月, 2002

- No. 40 Sumida. T, Yoshida. K., Ohnishi. Y, and Tsutsumi. A :
 Localization of T cell epitopes on prothrombin in patients positive for antiprothrombin antibodies
 10th International Congress on Antiphospholipid Antibodies (Sicily.) October, 2002
- No. 41 Takahashi. R, Tsutsumi. A, Muraki. Y, Ohtani. K, Wakamiya. N, and Sumida. T :
 Association of mannose-binding lectin gene polymorphism with disease occurrence, characteristics and progression of systemic lupus erythematosus
 The 15th Naito Conference on Molecular Biological approaches for intractable disease 【III】 (Tokyo.) October, 2002
- No. 42 坪井 洋人, 村田 秀行, 千野 裕介, 高橋 令子, 林 太智, 後藤 大輔, 松本 功, 長谷川 雄一, 堤 明人, 住田 孝之 :
 ASO 活性を伴った高ガンマグロブリン血症を呈した Multicentric Castleman's disease の一例
 第502回日本内科学会関東地方大会 (東京), 9 月, 2002
- No. 43 住田 孝之 :
 シェーグレン症候群の診断・治療の最前線
 第1回九州シェーグレン症候群研究会 (博多), 10月, 2002
- No. 44 住田 孝之 :
 変異ペプチドを用いた免疫難病の治療アプローチ
 厚生労働科学研究費補助金 免疫アレルギー疾患予防・治療研究事業 平成14年度合同班会議 (東京), 10月, 2002
- No. 45 Murata H., Matsumura R., Sugiyama T., Sueishi M., Matsumoto I., Tsutsumi A. and Sumida T. :
 Single Cell Analysis of T Cells in the Kidneys from Patients with Lupus Nephritis
 American College of Rheumatology
 66th Annual Scientific Meeting (New Orleans), October, 2002
- No. 46 Takahashi R., Tsutsumi A., Muraki Y., Ohtani K., Wakamiya N. and Sumida T :
 Association of Mannose-binding Lectin Gene Polymorphism with Disease Occurrence, Characteristics and Progression of Systemic Lupus Erythematosus
 American College of Rheumatology
 66th Annual Scientific Meeting (New Orleans), October, 2002
- No. 47 Naito Y., Matsumoto I., Muraki Y., Tsutsumi A. and Sumida T :
 Autoimmune Response against M3 Muscarinic Acetylcholine Receptor
 American College of Rheumatology
 66th Annual Scientific Meeting (New Orleans), October, 2002
- No. 48 Murata H., Matsumoto I., Tsutsumi A. and Sumida T. :
 Quantitative analysis of Fetal Microchimerism in Japanese Women with Sjögren's Syndrome
 American College of Rheumatology
 66th Annual Scientific Meeting (New Orleans), October, 2002

- No. 49 Chino Y., Murata H., Hayashi T., Takahashi R., Goto D., Matsumoto I., Tsutsumi A. and Sumida T :
T Cell Receptor Analysis Bronchoalveolar Lavage fluid of Patients with PM/DM
American College of Rheumatology
66th Annual Scientific Meeting (New Orleans), October, 2002
- No. 50 Tsutsumi A., Suzuki E., Goto D., Matsumoto I., Murata H., Nakamura H., Shiga. and Sumida T. :
Tristetraprolin Expression in Synovium of Patients With Rheumatoid Arthritis
American College of Rheumatology
66th Annual Scientific Meeting (New Orleans), October, 2002
- No. 51 Kojo S., Doto D., Tsutsumi A. and Sumida T. :
Low Expression of Soluble CD1d in Patients with Rheumatoid Arthritis
American College of Rheumatology
66th Annual Scientific Meeting (New Orleans), October, 2002
- No. 52 Muraki Y., Tsutsumi A., Takahashi R., Suzuki E., Hayashi T., Chino Y., Goto D., Matsumoto I., Murata H., and Sumida T. :
Polymorphisms of IL-1 β gene in Japanese patients with Sjögren's Syndrome (SS)
American College of Rheumatology
66th Annual Scientific Meeting (New Orleans), October, 2002
- No. 53 Rebecca A Morgan., Zgeng S., Bin W., Matsumoto I., Paul H Wooley. :
Immune reactivity to glucose-6-phosphate isomerase in collagen-induced arthritis.
American College of Rheumatology
66th Annual Scientific Meeting (New Orleans), October, 2002
- No. 54 Carol A Hitchon., Walther van Venrooij., Diane M., Matsumoto I., Christophe B., Hani S El-Gabalawy. :
Native american indians with early rheumatoid arthritis have a higher prevalence of autoantibodies.
American College of Rheumatology
66th Annual Scientific Meeting (New Orleans), October, 2002
- No. 55 松本 功, 高橋 令子, 千野 裕介, 林 太智, 鈴木 英二, 後藤 大輔, 村田 秀行, 堤 明人, 住田 孝之 :
メトトレキセート不応性関節リウマチに対するミゾリビン少量パルス併用療法の検討
第8回茨城リウマチ (つくば), 11月, 2002
- No. 56 住田 孝之 :
強皮症・皮膚筋炎/多発性筋炎・混合性結合組織病の最近の話題
難病医療講演会 (つくば), 11月, 2002
- No. 57 住田 孝之 :
関節リウマチの最新治療
第119回広島県臨床整形外科医会 (広島), 11月, 2002

- No. 58 内藤 祐介, 松本 功, 村木 祥文, 堤 明人, 住田 孝之:
M3ムスカリン性アセチルコリンレセプターに対する自己免疫応答
日本免疫学会 (東京), 12月, 2002
- No. 59 大西 康之, 堤 明人, 住田 孝之:
 α -galactocylceramide の関節炎モデルに対する抑制効果
日本免疫学会 (東京), 12月, 2002
- No. 60 村田 秀行, 松村 竜太郎, 千野 裕介, 後藤 大輔, 松本 功, 堤 明人,
住田 孝之:
ループス腎炎患者腎浸潤 T 細胞サイトカインメッセージの single cell レベル解析
日本免疫学会 (東京), 12月, 2002
- No. 61 千野 裕介, 村田 秀行, 林 太智, 高橋 令子, 後藤 大輔, 松本 功, 堤 明人,
住田 孝之:
間質性肺炎合併多発性筋炎/皮膚筋炎患者の気管支肺胞洗浄液における T 細胞の抗原
受容体解析
日本免疫学会 (東京), 12月, 2002
- No. 62 村木 祥文, 堤 明人, 高橋 令子, 鈴木 英二, 林 太智, 千野 裕介, 後藤 大輔,
松本 功, 村田 秀行, 住田 孝之:
日本人シェーグレン症候群 (SS) および全身性エリテマトーデス (SLE) 患者におけ
る IL-1 β 遺伝子多型と疾患の関連
日本免疫学会 (東京), 12月, 2002
- No. 63 高橋 令子, 堤 明人, 村木 祥文, 後藤 大輔, 松本 功, 村田 秀行, 大谷 克城,
若宮 伸隆, 住田 孝之:
全身性エリテマトーデス患者における Mannose binding lectine 遺伝子の多型性
日本免疫学会 (東京), 12月, 2002
- No. 64 渋谷 和子, 亀田 洋隆, 住田 孝之, 中内 啓光, 渋谷 彰:
レンチウイルスベクターを用いた CD4陽性ナイーブ T 細胞への遺伝子導入法の確立
日本免疫学会 (東京), 12月, 2002
- No. 65 亀田 洋隆, 渋谷 和子, 大西 康之, 松本 功, 住田 孝之, 渋谷 彰:
C57BL/6を用いたコラーゲン誘導関節炎 (CIA) の検討
日本免疫学会 (東京), 12月, 2002
- No. 66 松本 功, 村木 祥文, 林 太智, 郡 祐子, 後藤 大輔, 村田 秀行, 堤 明人,
住田孝之:
抗 GPI 抗体の日本人関節リウマチ患者における発現調整
日本免疫学会 (東京), 12月, 2002
- No. 67 後藤 大輔, 香城 諭, 堤 明人, 住田 孝之:
自己免疫疾患患者における CD1d 分子アイソフォームと NKT 細胞反応性の解析
日本免疫学会 (東京), 12月, 2002
- No. 68 堤 明人, 後藤 大輔, 松本 功, 村田 秀行, 住田 孝之:
関節リウマチ患者滑膜におけるトリステトラプロリン遺伝子発現
日本免疫学会 (東京), 12月, 2002

No. 69 Sumida T:

Immunological abnormality and regulation in Sjogren's syndrome

10th Asia Pacific League of Associations for Rheumatology

Congress (Bangkok.), December, 2002

No. 70 川村 龍, 橋本 明子, 林 太智, 村田 秀行, 千野 裕介, 高橋 令子,

後藤 大輔, 松本 功, 堤 明人, 住田 孝之:

低用量 MTX 投与中に汎血球現象を来し重症混合肺炎を併発した RA の一例

第13回日本リウマチ学会関東支部学術集会 (東京), 12月, 2002

No. 71 住田 孝之, 大西 康之, 内藤 祐介, 後藤 大輔:

NKT 細胞による関節リウマチの早期診断・制御

平成14年度 厚生労働科学研究 免疫アレルギー疾患予防・治療研究事業

リウマチ関連三班合同発表会 (東京), 12月, 2002